SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

一週年記念號

四月號

第十二號

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可大正三年四月一日發行（毎月一回一日發行）大正三年三月二十八日印刷納本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察 月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電話（本）八八八八（病院用）
　　　　八九八八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長 醫學士高田畊安

相州高座郡茅ヶ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四月の松屋

大正博覧會紀念福引付

春衣大賣出し

◉特製大島セル陳列

◉新柄ネルセル陳列

現代大家新作 裾模様圖案展覧會

東京今川橋

松屋呉服店

電話本局五〇〇〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

四月號目次

口繪 賤の詞　さわらび
友人的なる夫婦　高島平三郎
里子問題　法學士 高田愼吾
この頃　むらさめ
天才の女の日記（一）　高安月郊
エリーダの夫とカンディダの夫と　鳥林あぐり
五月雨　白百合
故石井十次氏
人種改善學的思想の歷史　西川光次郎
婦人に對する注文　大江卓
養育院　玉露女
書翰（二）　座古愛子

婦人論反對說に答ふ（三）　オリブシユライネル　高野重三譯
幼年の追懷　瀨沼夏葉
幼な顏　すみ子
狸　伊藤あさ子
ゴム鼻と千代結びの髮　小口みち子
母に別れた時　近藤なほ子
戀愛の經驗　西川文子
婦人論八ツ當り　八方醜婦
新眞婦人俳句　すみ子選
新眞婦人和歌　小口みち子選
第三回蛙聲會の記
おあきさんの仕事振り　みち子
東西南北
春のお化粧さま〴〵　遠藤はつ子
婦人解放論に對して

四月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新特價提供知

現代哲學 —(2)—

早稻田大學講師 本間久雄譯

ヒルン氏 藝術之起源

（脊皮上製全壹册 紙數四百六拾餘頁）

●邦譯『藝術之起源』の原書『オリヂン、オブ、アート』は最近美學の世界的名著の隨一也。●藝術を其起源に逆つて、人種學的、社會學的事實に徵し、之を心理學的に說明せるは本書也。●從つて本書は所謂美學書としての以外に、其意味に於て、隱れたる人種學的事實及び古代文明史上の、隱れたる、而かも最も興味ある一面を展開す。●最近美學の到達せる最新境地を窮めんとする者は本書を讀め。●藝術と生活との如何に密接せるかを學理的に知らんとする者は本書を讀め。●譯文は流暢平易である。

正價壹圓八拾錢
特價金壹圓五拾錢
郵稅拾貳錢

現代哲學（1）

金子馬治
桂井當之助 譯

ベルグソン氏 創造的進化

（好評再版）

正價金貳圓廿錢
特價金壹圓八拾錢
郵稅拾貳錢

近世文學 —(3)—

早稻田大學講師 吉江孤雁譯

ゴーリキー作 三人

（總布製美本全壹册 紙數五百七拾頁）

田園から都會へ、自然から人間へ——此趨勢は近代文明の一特色である。而して土壤を離れ、群集の一人となつた彼等は幾多の刺激幾多の誘惑の爲に混亂し分裂した生活を送らせられる。彼等は新しい生活を望み、世界を望み、朧氣ながら理想を持つてゐても、其實現が困難である。苦惱と煩悶と、斷行と衝突と、狂亂と滅絕と、其步に世界共通の一般近代人の慘苦の色が漂つて來る。作者ゴーリキーは放浪の間に有らゆる至難な經驗を味つた天才である。其天才の筆が艱苦の間に磨かれて、燦たる黑耀の光を放つたのが此作である。三人三樣の特殊な數奇な運命は、近代人の切實なる生活の好個の見取圖である。

正價壹圓四拾錢
特價金壹圓廿錢
郵稅拾貳錢

近世文學（1.2）

相馬御風譯

トルストイ作 アンナ・カレニナ

（好評再版）

全貳册金參圓
特價金貳圓五拾錢
郵稅金拾貳錢

發行所 東京牛込早稻田 振替一一二三番 早稻田大學出版部

賣捌 神田東京堂 日本橋至誠堂 京橋北隆館 大阪盛文館 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝一週紀念號

太平生命保險株式會社

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二〇〇、二一〇一番
振替貯金口座東京一八、九〇〇番

社長 中村靜嘉
專務取締役 楠秀太郎
取締役 村井貞之助
取締役 内野五郎三
取締役 前川善平
取締役 倉知誠夫

取締役 左右田棟一
取締役 舟木錬太郎
監査役 潮田方藏
監査役 左右田信二郎
監査役 中田敬義

短期大特賣

締切 四月廿一日限

（詳細圖書目錄御端書乞御申込往復）

柳川春葉作 生さぬなか

上卷・中卷・下卷・後篇 合本

五號活字 菊判美本 貳圓廿錢 短期特賣四月廿一日限 特賣價壹圓拾五錢（小包十六錢）

合本發賣

分本四冊

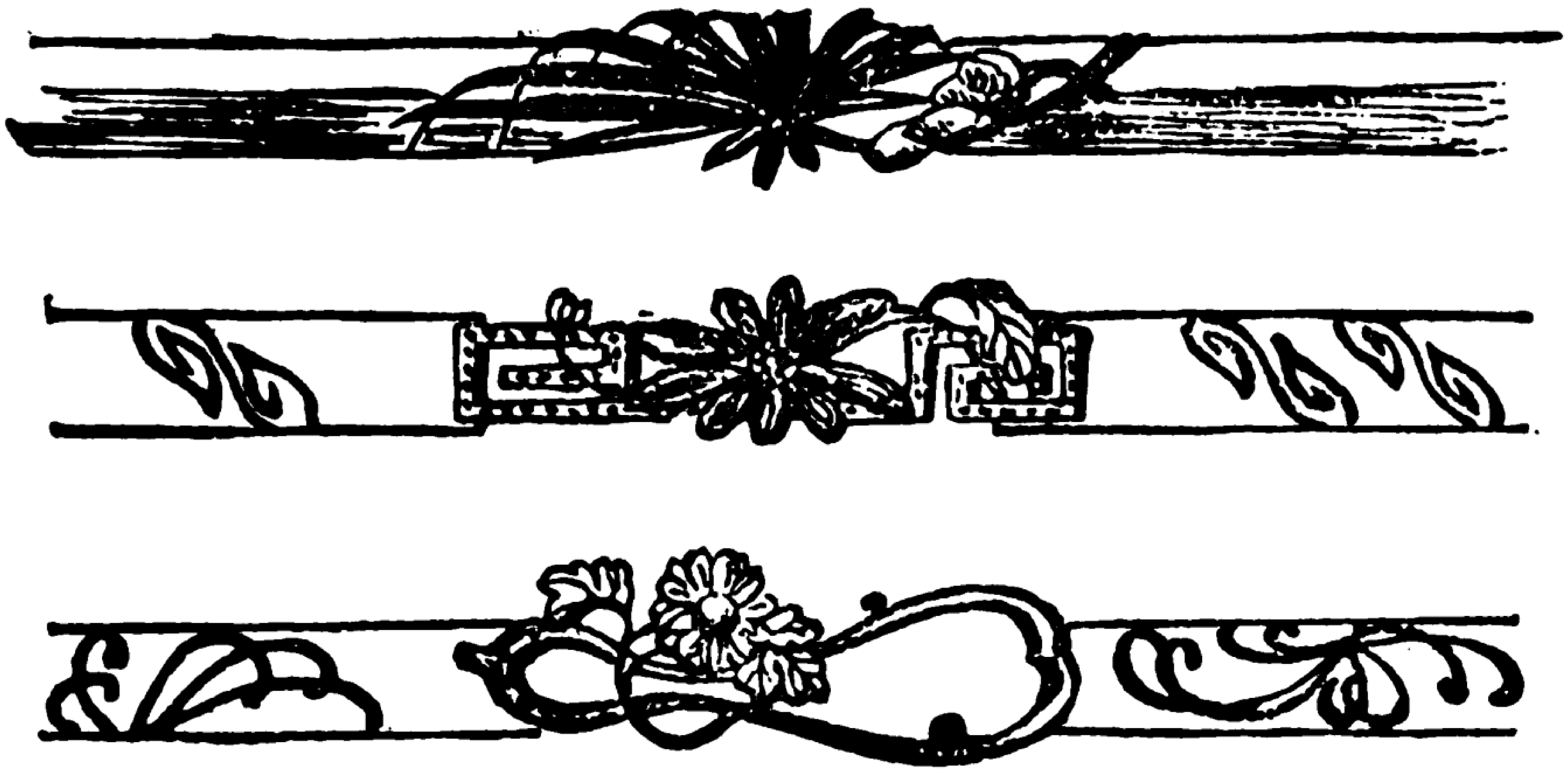
上卷中卷下卷後編各篇木版極彩色畫二葉及コロタイプ版四葉入 一冊九拾五錢宛 短期特賣一冊七拾五錢 小包八錢

著者	書名	定價	特賣價	小包
柳川春葉	かたおもひ（一卷）	、九五	七十五錢	八錢
菊池幽芳	百合子（前）	一、二〇	九十錢	八錢
	百合子（中）	一、〇〇	八十錢	八錢
	百合子（後）	一、二〇	九十錢	八錢
鏑木清方	百合子畫集（二冊）	各一、二〇	各九十五錢	各八錢
菊池幽芳	秘中の秘（二冊）	各、九五	各七十五錢	各八錢
森鷗外譯	寂しき人々（一冊）	一、〇〇	八十五錢	八錢
島村抱月	故郷（マグダ）（一冊）	、九〇	七十錢	八錢
晶子女子	新譯源氏物語（四冊）	各三、〇〇	各二圓十錢	各十二錢
晶子女子	春泥集（一冊）	一、〇〇	八十錢	八錢
晶子女子	夏より秋へ（一冊）	一、八〇	一圓四十五錢	八錢

著者	書名	定價	特賣價	小包
菊池幽芳	月魄（二冊）	各一、〇〇	各八十錢	各八錢
柳川春葉	母（二冊）	各、九五	各七十五錢	各八錢
柳川春葉	女一代（三冊）	各一、〇〇	各八十錢	各八錢
柳川春葉	花賣（一冊）	一、二〇	九十五錢	八錢
佐藤紅綠	富と愛（一冊）	一、〇〇	八十錢	八錢
正宗白鳥	礎（二冊）	各、九五	各七十五錢	各八錢
白鳥	生靈（一冊）	一、〇〇	八十錢	八錢
碧梧桐著	三千里（一冊）	三、〇〇	二圓十錢	十二錢
碧梧桐著	續三千里（上卷）	二、〇〇	一圓四十五錢	十二錢
遠藤博士	理想の人物（一冊）	一、二〇	一圓	八錢

發兌 東京市麹町平河町五ノ五
（特電話番町二〇九三番）
（振替東京三八一七番）
金尾文淵堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



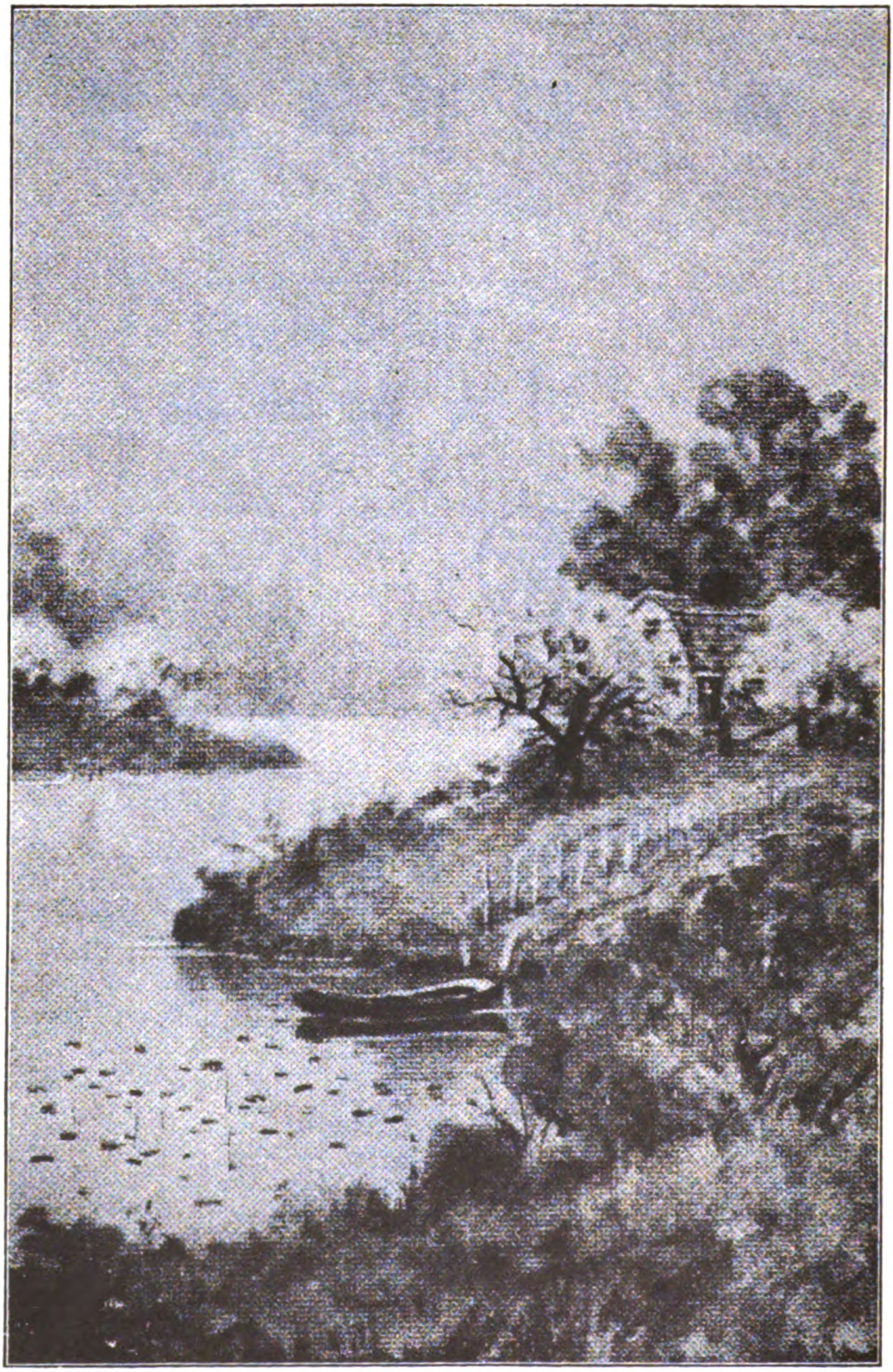
▲春模樣金製帶留

大正博覽會の開會と共に、花の春の御婦人裝身具中、御輕裝用の新調品も數多く有之候內、爰に當白牡丹本店特製寶石入帶留の粹なるを選び候。上揭(一)廿金白金製棕梠模樣彫刻價廿三圓。(二)十八金製菊模樣に新樣式圖案折衷ダイヤ入價二十八圓。(三)十八金製瓢形透し彫、菊花模樣眞珠入價十五圓。皆一々に相應しき紐を添へたる、尙ほ數多く新製品有之、御高需類に御座候間、相變らず御用命の程奉希上候。

東京銀座尾張町

白牡丹本店　松田幸治郎

電話新橋五四五番・五五五番・振替口座四三九七番



春　の　鄙

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝一週年紀念號

三階・二階・階下
大陳列場

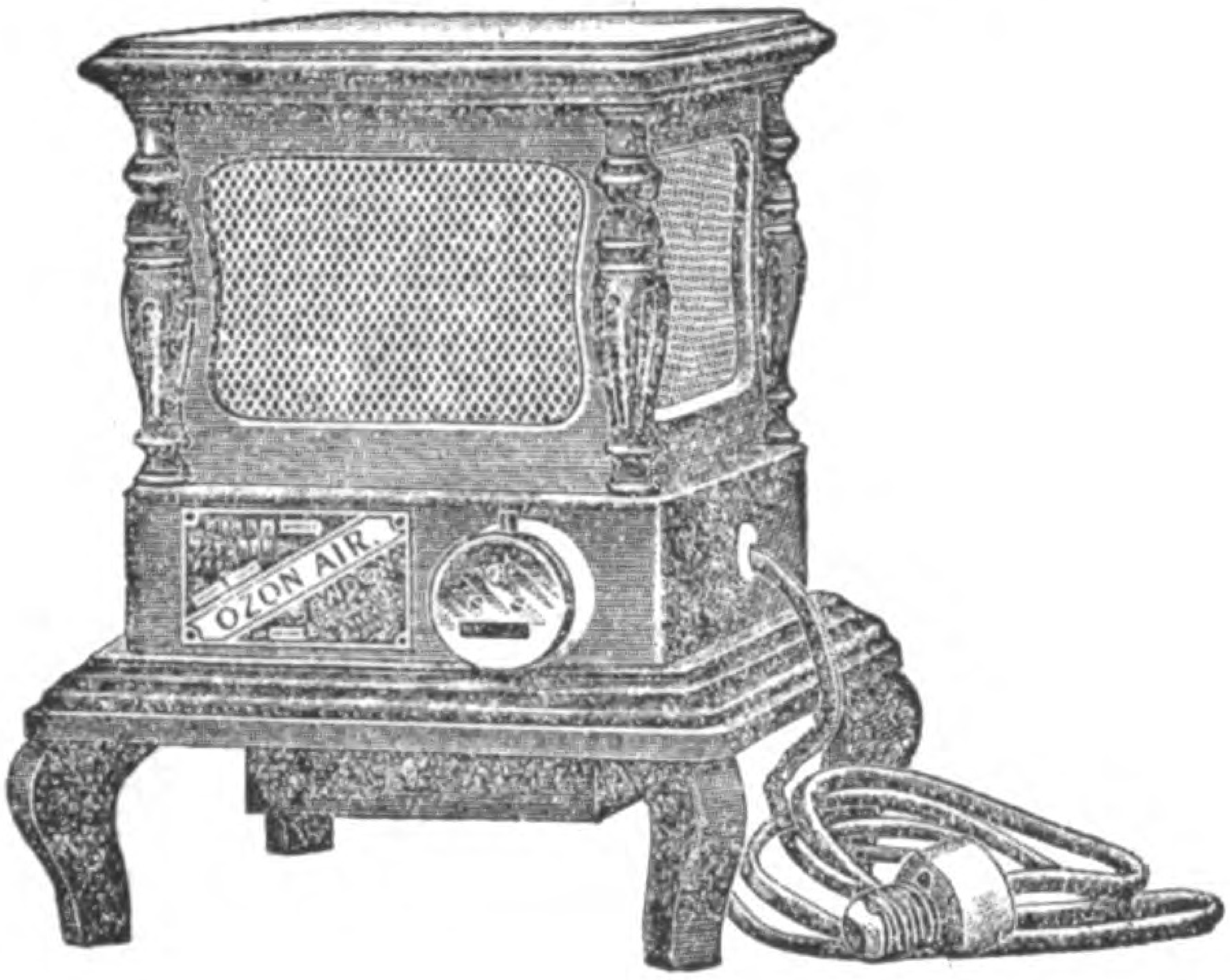
向島第一工場
府下向島隅田村一三六九
電話本所 五百二十六番

東京市京橋區金六町角
(清)
鷲塚高等簞笥店
電話京橋 五百七十一番
三千四百五十五番
振替東京 一九三七〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

特許

オゾーン發生機



●健康ヲ増進スル唯一ノ方法「**オゾーン**」ヲ吸入スルニアリ

▲本機ハ室内常用ノ電燈線ニ連接シテ單ニ開閉器ヲ一轉セバ『**オゾーン**』ヲ放散シ滿室ノ空氣ヲ清淨ナラシメ諸種ノ呼吸器病及肺病等ニ偉大ノ効果アリ

說明書進呈

サンデン電氣商會

●本店（東京市京橋區尾張町二丁目
電話新二四二三番…振替口座東京一八四七三番

●支店（大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側
電話南二二〇五番…振替口座大阪七三四四番
（橫濱市吉田町一ノ二九……電話一九三一番

大正博覧會御見物之節は

是非大西白牡丹へ御越し願上候

一 寶石寶玉陳列會

特に内外各地より珍石奇玉を汎く蒐集して陳列仕り候

一 明治大正髪の寫眞陳列

明治より大正に至る髪の結ぶりを寫眞にて陳列致し候

一 髪の結ぶり開催

日々出張の髪結師は御馴染の名手七名にて結上げ申候

四月一日より

東京南傳馬町

大西白牡丹

振替口座東京九二九三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正三年
文壇劈頭の
一大傑作
製本出來

尾島菊子女史新著

紅あざみ

小寺書伯裝幀
四六版約四百頁
高尚優美函入
正價一册金壹圓
送料同　金八錢
郵券代用一割增

中年の女の戀は、黝める紅芍藥の花片の如く、又月光の野に咲く白き蕺草(どくだみ)の花の如し。折にして濃艶、折にして冷愴。著者は現代女流作家中の一大權威、罕に見る芳烈なる官能慾と燃犀なる批評眼を以て常に生の秘奥を探求して倦まざる者。茲に數年來の創作力を傾注して糜爛せる年增女の悲しき愛の心理を描く。著者が洗練と彫琢とを以てせる秋の水の如き技巧及び其熱切なる藝術的良心の披瀝は本書に於て眞に其最高調(クライマックス)に達したる觀あり。

幾度か過去を顧みて涙すれども永久にかの若うして温柔なる心に返り得ざる頽廢の女が胸奥の苦悶を聽け。一度心に受けし其若き日の痛傷の癒えがたきまゝに次第に寂しき自毀に遁れんとする**近代的年增女の恠しき戀の秘密を見よ。**赤き月は團々として丘にのぼれり。**紅あざみの野に抛出されし一塊の腐肉ぞ**如何なりゆくべき。大正三年度劈頭の一大逸作として敢て斯書の一讀を普ねく大方の諸賢に薦む。

發賣元　**ニコく倶樂部代理部**
東京市京橋區南金六町十五番地
振替口座東京一四九四八番

大賣捌　東京堂、東海堂、北隆館、至誠堂、良明堂、上田屋、籾山書店

出版元　東京日比谷書院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内村鑑三先生
畔上賢造先生
共著

平民詩人

■綠色の表裝■
■寫眞版六個■
■定價五十錢■
■郵税六錢■

歟ある歐米の詩人中、最も淸高の匂を有し而かも最も平民的色彩を帶びたる、**ホヰッ トマン、テニスン、ローエル、ホヰッチヤ、ウヲルヅオス、ブライアント**等六大詩人の生涯と思想と共重なる詩とを紹介す。柳櫻桃李の色美しき春の讀みものとして、蓋し本書の如きは尤もふさはしかるべく、俗塵を避けて此六詩人を侶とせば、いかに樂しく、いかに心はのび〳〵すべき。

アンリ ベルグソン教授著

ベルグソンの哲學

文學博士 桑木嚴翼先生序
文學士 錦田義富先生譯

■定價七十錢
■郵税八錢
■四六判クロス

七版

ベルグソンの哲學は一種の詩歌であります。音樂であります。されば婦人の哲學と稱せられてゐます。本書は『直觀』、『流動』の哲學を說いてあります。譯文は流麗で且つ平易、而かも正確です。今度訂正第七版を發行いたしました。

發兌 東京尾張町 京橋 警醒社書店 振替東京五三番

婦人解放の眞意義は果して如何？

平塚明序　伊藤野枝譯　（新刊發賣）

婦人解放の悲劇

菊半裁三百頁
二女史肖像挿入
定價金六拾錢
送費金六錢

婦人解放の悲劇とは果して何を意味する乎

歐米先進國に於ける第一歩の解放は婦人をして以前に増したる悲境に陥らしめたり。即ちその結果は悲劇に終りたり。婦人はより完全なる解放に入らざるべからずと説く。本書、エンマ・ゴルドマン、エレン・ケイ二女史の論文四種を譯輯せるものにして、最も健全にして理解ある兩性問題の解決を與へたり。あらゆる羈絆を脱して女性本然の光輝ある生活に入らんとする勇氣ある女性の一讀を切望す。

■附錄■エンマ・ゴルドマン小傳■エレン・ケイ小傳■

茲に健全なる兩性問題の解決あり

發行所　東京市日本橋區檜物町九（振替東京五六一四）　東雲堂書店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通（電話京橋 八一五 八一六）

飯倉支店	飯倉三丁日
赤坂支店	赤坂表町
四谷支店	四谷大通り
本郷支店	本郷一丁目角
神樂坂支店	牛込神樂坂上
吾妻橋支店	淺草花川戸
須田町支店	神田須田町
米澤町支店	兩國米澤町
品川支店	南品川一丁目
横濱支店	横濱吉田町

代理店 日本橋坂本町 田中銀行

●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

株式會社 東海銀行

本店	日本橋呉服町
堀江町支店	日本橋堀江町
本郷支店	本郷三丁目
赤坂支店	赤坂田町
本所支店	本所龜澤町
京橋支店	京橋尾張町
三田支店	芝三田一丁目
淺草支店	淺草並木町

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

諸官省各學校用筆

登錄商標

書きおろ

本品は凡ての書方に適し理想的製筆なり

水筆　眞書　習字筆

東京市神田區多町一丁目八番地

製造元　武居江南堂

振替口座東京一九三二五

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院

○樂牛園
牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

産婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

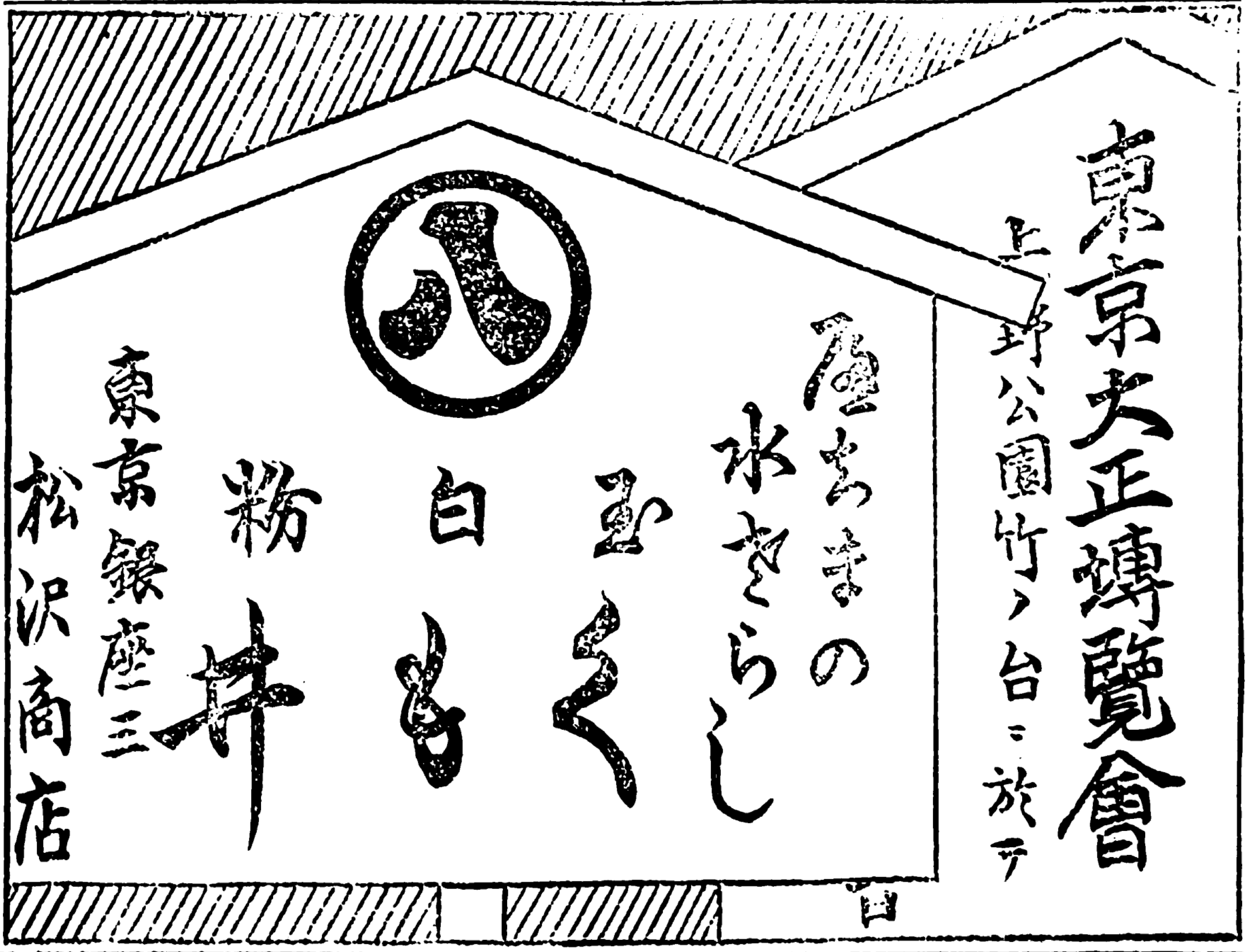
東京衛生園 産婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 産婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

産婆部 大崎支局



ロハで東京見物する秘訣

地方から出て來た觀光客二人、如何にも物珍しそうに銀座通りを見まはしながら話して行く――

甲『吾等抔は心掛が違ふ!!』

乙『なぜ??』

甲『なぜつて、今度東京見物に來るたつて、金がイラねエ』

乙『金がイラねエとは變だね』

甲『ナーニ保險金を取つたからよ、有隣生命には『祝壽養老』といつて割增金付の保險がある。ソノ割增金で東京見物に來た譯だ、どうだな心掛は』

乙『ウム、それは甘い事をした、どうれ己も一つ保險を附けて行べイ、ソシテその會社はドコだな?』

甲『日本橋の南茅場町さ』

日清生命保險株式會社

二重の配當を得られよ

詳細は保險案內にあり

東京丸の內

社長 中野武營

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一定期預金　六ヶ月以上年六分五厘

一當座預金　日歩百圓ニ付九厘

一特別當座預金　日歩百圓ニ付壹錢貳厘

東京市日本橋區坂本町七番地

合資會社 田中銀行

電話浪花 壹九九〇番 貳四九〇番

イプセン作
森林太郎譯
人形の家（ノラ）三幕

マアテルリンク作
秋田雨雀譯
アグラウエーヌとセリセット　五幕十五場

有樂座

四月
十三（月）
十四（火）
十五（水）
十六（木）
十七（金）
十八（土）
十九（日）

七日間

毎夕五時開演

近代劇協會八回興行

顧問 文學博士 醫學博士 森林太郎　主宰 上山草人

舞臺監督 上山草人　背景圖案 岡本歸一

出演俳優
女優 山川浦路　女優 中山歌子　女優 若山椿
同 衣川孔雀　同 松良靜緒　同 小村珊瑚
笹本甲午　武田正憲　高山貫一郎　櫻田忠
村雲毅一　小澤得壽　其他

此の脚本が「新しい女」といふ言葉を生んだ獨り作者イブセンの代表作のみでなく近代社會劇の代表として不滅の權威がある臺帳は鷗外博士の新譯によるノラには孔雀が、リンデは浦路が扮する、昨年末之を關西に演じて自然に徹せる新演技として識者の激賞を買つた、目下更に練磨を積んでゐる、

入場料

特等（ボックス）一圓五十錢
一等（土間二階）一圓
二等（三階）四十錢

申込所
電本五二二〇 五二二一 有樂座
電新三四〇五 芝日陰町一ノ一 近代劇協會
電新二八九 芝新櫻田町十九 同後援會

此の脚本がマアテルリンクの作物の中で最高の藝術である事は等しく認く所である、戀愛死、あわれな性の戦ぎは金箔のひらめく如く、銀糸の慄える如く如何に細に如何に微かに五幕十五場と轉換する夢の樣なフレームの寫映り出る事であらう、演出者はその技藝に於ても、舞臺装置に於ても在來の此の種の演劇を拔出せん事を期してゐる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

木の目

●でんがく用（向附）

▲三銀製の田樂入は横長の組重にてお坐しきに珍無類

豫約品

長サ六寸五分 巾サ三寸五分……｛壹個五十錢 五個揃二圓｝

送品は四月始

申込におくれ升と品切

會費毎月 金壹圓

｛壹年○景品○ 三圓｝

地方送料卅錢

（電新千六卅）

三銀好の珍陶器を毎月配達致升當會は實益と興味を兼た趣向送品が御不用の節は進物用に仕上て有升

自製美術陶器舖（東京銀座通一丁目）（申込順）

●番茶道具 ●酒器道具 進物用

新橋 三銀

▼本月の配附品は花時に因み十人揃 皿

支店）京城 大阪 仙臺

出張所）京都・廣島・名古屋・金澤・九州・臺灣

東洋生命保險株式會社

東京市日本橋區本町一丁目十一番地

電話本局 四五一〇番・四五一一番・四五一二番・四五一三番

振替貯金口座一七九一番

奥田前文部大臣　手島東京高等工業學校長序
二條公爵夫人　中川東京女子高等師範學校長書翰

修訂増補

模範家庭

鳩山春子譯

菊判全一册
クロース美装
定價金六拾錢
郵税金八錢

（一名西洋家事讀本）

英國の模範的家庭を小説に仕組み、面白可笑しく讀み行く間に、宅地の撰擇法、家屋内外の掃除法、衣服の洗濯法より料理法、育兒法、看護法、救急療法、園藝法、家庭教育法等に至るまですべて家政に關する有らゆる事柄をよく解かる樣に説明したもので、英國では女學校教科書として何百版を重ねたと云ふことです。世界羨望の中心となつて居る英國家庭の眞相を知らんとするもの、及び取つて以て我が國家庭の參考に供せんとするものには是非一讀を御勸めします。此のたび全部に亘りて修訂増補を施し、かつ總振假名附としたので一層讀みよくなりました。

發行所
東京市京橋區銀座壹丁目
振替口座東京二一九番
大日本圖書株式會社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲オモチヤ　オモチヤといふ物オモチヤは何でもない物はありませぬ

▲御手紙一本　くはしく丁寧に御答致します

▲お電話　御呼付下さいますれば御伺致します

店内はオモチヤの山、銀座へ御越の節は御立寄を願ます

東京銀坐三丁目　伊東屋玩具店

電話京橋二五二三番・振替東京二〇四四五番

わきが

治療好期

實驗の結果病勢の減退したる今時が最も治り易ひ直ちに治されよ

本院新研究自療法を數百名に實驗するに効顯的確全快の禮狀感謝狀續々來れり

同情に堪へず紹介し且新式わきが根本療法書無代呈す東京本所中ノ郷元町三一（電話本所三三四二）東京新療院藥品部宛ハガキ申込め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭改善の絶好著書

石田孫太郎先生著

菊版二百六十頁最美本　定價金七拾五錢　送料八錢

▲最新刊▲

家庭紛爭の研究

和氣靄然たるべき家庭の裡面に暗影絶えざるもの人生の不幸之に過ぎたるはなし、家庭の圓滿を缺くが爲めいまはしき悲劇頻々として演出せらる、著者多年痛嘆の末新たに筆を執り諸種の方面より家庭紛亂の根源及び結果を研究し最も穩健なる解決の方法を論斷せり、理論明快才氣縱横に奔り一讀卷を放たざらしむるもの、一家の幸福を増進し煩悶ある家族の悲嘆を除かんとせば速かに來りて本書を讀まれよ。

▲品切の時は直接弊店へ御申越被下度候

（內容目次）

一　外父外母論
二　姑舅論
三　小姑論
四　奴僕論
五　伯叔父母論
六　親子論
七　繼母繼子論
八　媳道論
九　婦道論
十　夫婦喧嘩論
十一　悋氣論
十二　嫡子論
十三　離婚論
十四　平和論

再版

◉佐藤仁之助先生著

女子書簡文講話

菊版三百八十頁總クロース美本　定價金壹圓貳拾錢

あらゆる類書中の內容の完備せるものなりとの世評を受けたるは本書也

大阪每日新聞記者　齋藤溪舟先生著

青山御所之陛下

再版

四六版上製箱入　總クロース　金文字入頗美本　寫眞挿入

定價金壹圓貳拾錢　送料八錢

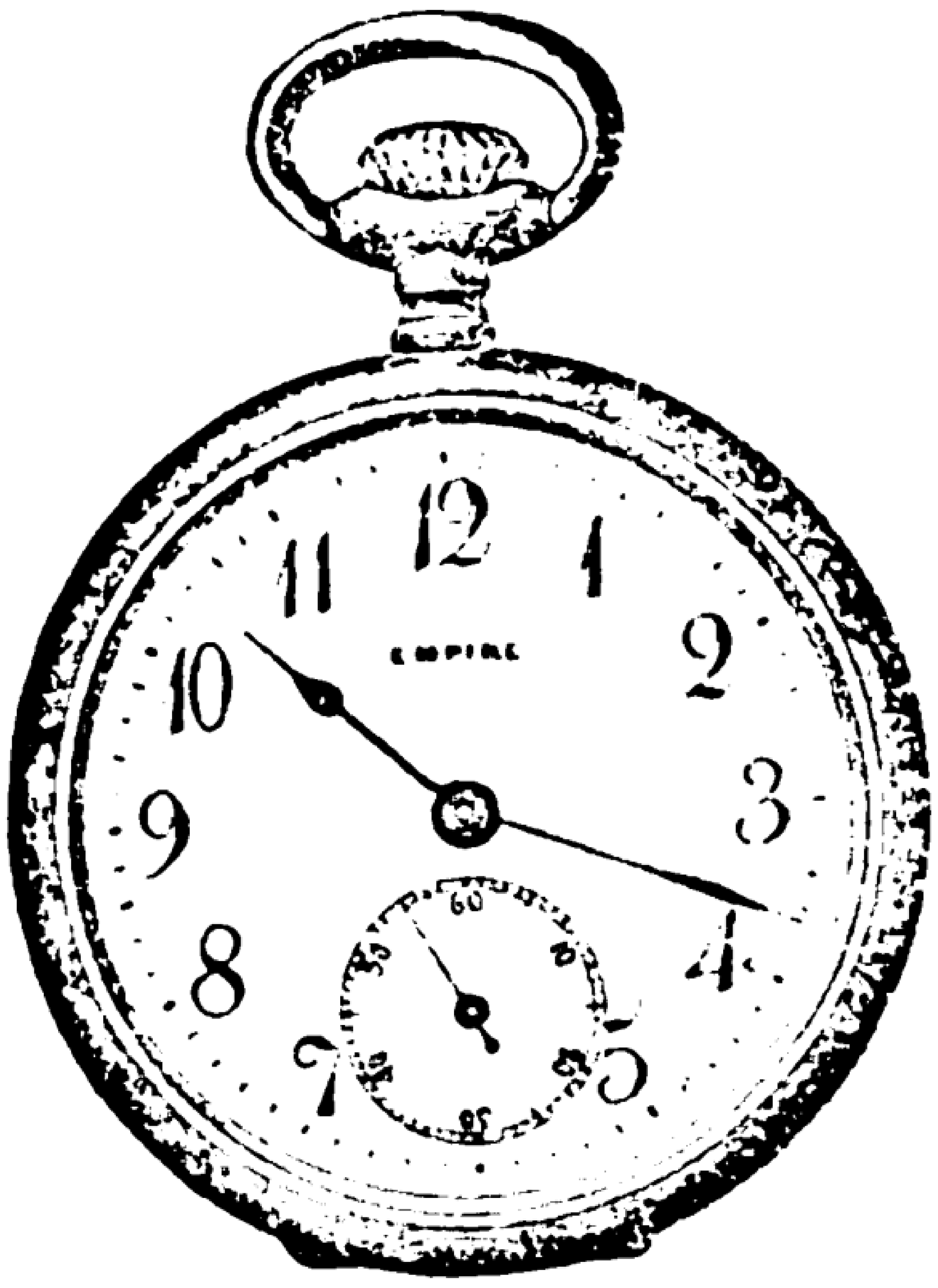
女官物語

五版

四六版上製美本　紙數二百六十頁　高級女官肖像入

定價金七拾錢　送料八錢

東京市本郷一丁目大通　日東堂　電話下谷四三六二　振替東京一二五五八



營業品概要

精工舎製懷中時計
歐米製各種時計類
雙眼鏡及各種眼鏡
測量用諸器械一式
製圖器度器及附屬
氣象用航海用器械
プラチナ地金及製品
ダイヤモンド及諸寶石
貴金屬製諸美術品
寶石入各種装身具

東京銀座四丁目

服部時計店

電話京橋 一三〇〇 一三〇一 一三〇二 一三〇三 一八〇〇

振替貯金口座東京二九八〇番

營業一覽御申越次第御郵送可致候

新眞婦人各位に告ぐ

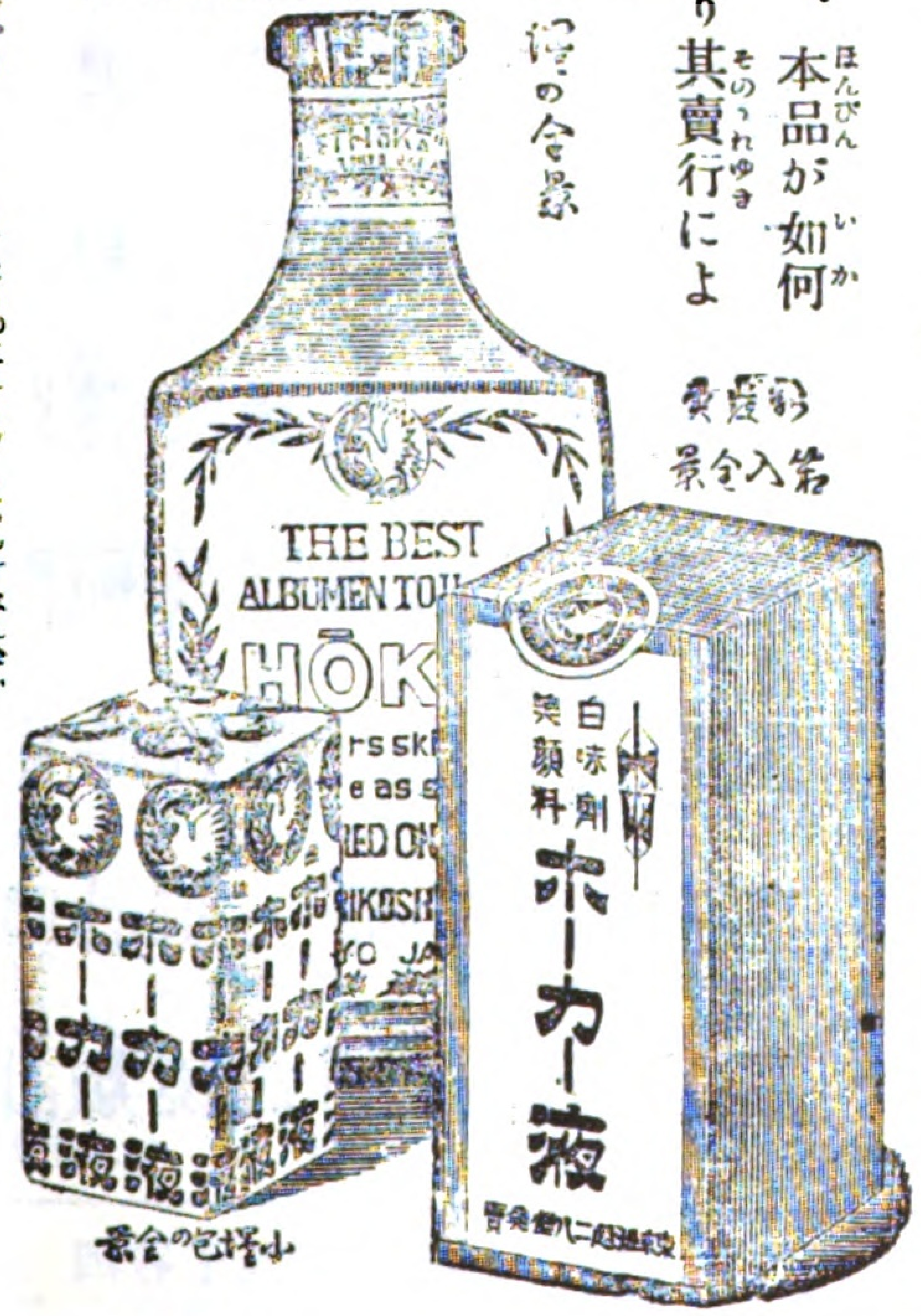
これは東京で一番よく賣れる美人となる化粧料ホーカー液です

春の化粧は何と云ふてもホーカー液に限ります、本品が如何に品質善良にして効果の偉大なるかは其高評により其賣行により愛用各位の明かに證明せらるゝ所、實に本品は東京名物、世界唯一の高等美顔化粧料なることを茲に保證致します

●美人となるホーカー液はアレを防ぎキメを細かに色を白くツヤを麗はしくし子供衆を初め婦女子方の肌を丈夫にし、紳士方の剃刀まけを防ぎスベ／＼とした美顔となります、朝な夕な本品を御使用あらばいろ／＼の吹出物等を未然に防ぎ、顔の小ジワを防ぎ、美人は花の如く、老人は若返る様其他種々の効果あり未た御試用なき諸君は今スグ御試みあらんことを希ふ

●定價小二十錢中四十錢大八十錢送費四錢海外卅錢

到る處の勉強せらる、小間物店等に取次販賣す



美顔料ホーカー液 本舗

東京日本橋區馬喰町四丁目

堀越二八堂商店

振替東京二四一一八番

新眞婦人第十二號

賤の詞

來ても見よかし鄙の春　水清らかに山青く
霞に浮ぶ富士のねは　衣ほすせどの軒のつま
日影に匂ふ菜の畑や　そのはなびらの精うけて
飛ぶか胡蝶のいくつがひ　うすくれなゐの豆の花
ゆかり色濃きつぼすみれ　勿忘草のはなの畔
みどりの空にいや高く　のぼる雲雀の調べはも
佐保姫たゝふ春の詞か　庵にそひし竹やぶは
玉敷く庭にうとしてふ　その鶯のとはの宿
葎の門な流れゆく　小川はうたふ愛の曲
河沿ひ柳かげかすむ　おぼろ夜にゆくあぜづたひ
千里なごむる花の香の　やさしくゆらぐそよ風は
束ねの髪にむつるゝよ
いざ來て見ませみやこ人
おのづからなる鄙の春べな

さわらび

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友人的なる夫婦

夫の友たり得る妻

本誌の一月號に夫婦論を書いて、日本では尚ほ夫婦が主從的であるから困る、早く友人的にならねばならぬと論じた。すると或人が之れを見て色を變へ、大變、大變、ア、大變だ、女房に友達だなぞと思はれては大變であると、如何にも驚いたと云ふ顔して話された。

私は之れを聞いて、私には當前のことが、此の人にはコウも驚くべきことであるかと、未だ經驗したことの無き程に驚きました。

併し靜かに考へて見ると、『妻君を友人と見よ』と云はれて驚くのは此の人ばかりではない。云ふと云はざるとの差こそあれ、日本の男子の中には尚ほ其の妻君を家來視し、奴隷視し、『女は何んと云ふてもハイハイと云ふて居るのがよい』と云ふ方で、妻君に友人なんぞと思はれては困ると云ふ人達が多い。

南部の首領リー將軍

斯かる日本男子と西洋の男子とを比較して、私は其の妻君に對する態度に非常の相違があるのに驚き、早く日本男子も斯なる樣にと希望せざるを得ぬ。ソレは西洋にでも妻君に對して暴君の樣な男子もあらうが、其の中には眞に妻君を友として見て居る男が多い。

私は此の頃、米國南北戰爭の時、南方の主將として健闘したリー將軍の傳を讀みましたが、將軍は一面、『夜中眞暗な自分の室へ、其の儘這入て行て、其の必要とする書類でも何でも、直ちに持ち出すとが出來た』と云ふ程に何時も物の置場を定めてあつた正確な人であつたと共に、他面に於ては其の母に『彼は私には

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

息子であつて、又娘である』と云はれた程に溫情な人であつた。而して其の夫人に對しての如きは特にやさしく、夫人は十年間リユマチを病みて死んだのであるが、將軍は實に十年一日の如く夫人を慰められた。此の間には南北戰爭もあつて、將軍は實に多忙を極められたが、其の如何に多忙な時でも、陣中每日必らずペンを執りて手紙を夫人へ出された。私は夫れを讀みて、將軍が夫人に對して如何に親切なりしかを知ると共に其の夫人を見ることの、東洋の男子の其の夫人を見るのと、如何にも違ふて居ことを、切に感じたのです。

英國の政治家ジヨン・ブライト

私は又此の頃ジヨン・ブライトの傳を讀みましたが、彼も其の夫人を眞の友人として愛した理想的の人物である。

彼の第一の妻は結婚後三年にして千八百四十一年に死し、其後七年間彼は獨身で居て、千八百四十七年に第二の妻と結婚した。彼は此の第二の妻とは三十餘年間夫婦の生活を續け、其の間に七人の子を爲したのである。彼は貧乏な上に家族が多いので、其の故鄉ロオチダルと倫敦とに一つづつ家をもつことの出來ざりし所から、議會開會中は一人で倫敦へ出て行て下宿し、妻子は故鄉に留めて置いた。其の爲め三十年の夫婦生活中半は別居して居た次第であるが、其の別居して居る時には彼は每日必らず手紙を夫人へ書いた。如何程忙しい時でも書いた。而かも義務として書いたのではなかつた、夫人を慰める爲めにのみ書いたのではなかつた、每日ミルトンの詩を讀むのと夫人へ手紙を書くのとが彼の慰藉であつたのである。

夫人はドチラかと云へば無學な方であつたが、絕へず手紙で敎へられて、後には夫の政治上の意見に對しても充分の理解と同情とがあるに至つて居たとのことである。『內のなぞは駄目だ』と、妻君の愚と無學を罵倒してお客への御馳走と心得て居る樣な日本男子は、大にジヨン、ブライトにあやかつて欲しいものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

里子問題

（一）

高島平三郎

里子と云ふことは、随分古くからあつたものでしやう。人口集中、都會が出けかけるとからあつたもので、少なくとも足利時代よりあつたものでしよう。

昔から京都の公卿さんは、其の子を里子に出したものである、之れは元より公卿は概して貧乏で、乳母を雇ふよりは、里子に出すを便とするより起りしものであらうが、二には里子に出すことによりて、其の子をして下情に通せしめんとの考もあつたものであらう。

公卿は京都近在の中百姓の中、堅實な家を見立てソコへ小供を預け、其の百姓家で六つか七つになるまで育てさしたものである。大抵六つか七つまでに人の一生の土臺は出來てしまうものであるから、此の間百姓家で育てられ、百姓の子と同じものを食べて背門の小川で目高を掬ふたり、或は彼方の森の中で鳥の巣を探がし廻はつたりして、自然の幼稚園で育つたことが、ドレ丈け、彼等の身體を壯健ならしめ、又下情に通じ得るの素地を其の心に養はしめたかも知れぬ。

公卿の中から割合に利口な人の多く出たのには此の里子が大關係がある樣に思はれる。大名は其の子を里子には出さなかつた、大名の中からは利口な人がソウ出て居らぬ。今の　皇后陛下も、昔の習慣に從て、堀内の百姓家で、四五年育てられ、お歸りになつてから學習院の女子部へ御入學になられたのである。

德川時代に、武士も年子が生れたとか、產後母が病氣だと云ふ樣な場合に、小供を里子に出したものであるが、預けた家のよかつた場合には大抵良成績を示し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たものである。石井十次君も孤兒院の小供を里子に出した經驗からして、十數代も一つ所に居る堅實な百姓家を見立て小供を托すると、ホントに可愛がつて育てて呉れて、小供の爲めに實によいと云つて居られた。佛蘭西には近年、里子と幼稚園を一緒にした樣なクレシイ(育兒所)と云ふものが盛んになつて來てソレが英吉利などへも波及しつゝあるとのことである。

併しながら里親の選定を過つた場合には恐ろしいことになるから、注意せねばならぬ。私の叔父は里子に行つたことのあるものであるが、叔父の親は里親の選定を過つて、里扶持を目的にする樣なものに其の子を托した、始めの程は、小供が親の元へ歸つた時に、何んで御飯食べると聞くと、鯛とゝでなどと云ふから、アンナ田舍で居て鯛まで買ふて食べさせて呉れるかと悦こんで居た。所が或時小供が歸つた時に鯛とゝ呉れ〳〵と云ひ出したので、鯛を買つて來た、之れでないと承知しない。色々樣々の魚を買つて來ても、コレでない、之れでないと云ふて承知しない。其の中に小供がお爺さんのお膳の上に味噌があるのに目を付けて、茲に鯛とゝあると云た、ソコで始めて里親が實の親に知れぬ樣に、食物の名をかへて小供に敎へてあるのぢやと云ふことが分つた。コンナことが間々あるから注意を怠つてはならぬ。

(二)

法學士 高田愼吾

△里子取締の法規

日本では今の處、里子の取締に就て、別に何んの法規もない。たゞ私生兒の場合に、里子に出して里親の子として屆けることがあるが、之れは戸籍法違犯として、戸籍法

第二百十五條　自己又は他人の利を圖り、若しくば他人を害する目的を以て身分又は戸籍に關し詐僞の屆出若しくば申請を爲したる者は十一日以上四年以下の重禁錮又は二圓以上百圓以下の罰金に處せらる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

によりて取締ることが出來るのと、同じく私生兒などの場合に、其の子を里子に出し、數ヶ月間のみ約束通りの養育費を送り、突然行衛を晦らまして養育費を送らなくなる者がある、斯かる時には、民法の遺棄の條文によりて之れを取締ることが出來るのとのみである。

其他の場合には何んともすることが出來ない。戸籍法違反の場合でも、亦た民法の遺棄の條文で取締れる場合でも、私は未だ曾て此等の條項が活用されたのを耳にしたことがない。

英米獨佛共に、今日は里子に就ての特別の法規が制定されて居るが、大同小異であるから一例として紐育では、ドンナにして里子の取締をして居るかを、お話しましよう。

紐育州の法律に

親戚の小供とか、見習徒弟とかでなく、扶養料を取て個人が他人の小供を預からんとする場合には、豫じめ官の許可を得て置かなくてはならぬ。若し許可を受けずして他人の小供を預からば、罰せらる云々

との條項がある。此の條項を土臺として、紐育市では、市の衛生局中の兒童衛生課へ、里子を預からんとする個人には、前以て出願せしむることにして居る。願書が出ると、其の課の醫員が出張して、出願者の家の室内の廣さを量り、臺所から寢臺の具位をいちいち調べる而して善いと認めると早速出願者に許可書を與へる。此の許可書は有効期限一年間で、一年以内でも移轉すると、其所でまた醫者の試驗を經て、許可書を得ねばならぬ、許可書を得ていよ／＼小供を預かりて後は、一ヶ月に一回づつ巡回看護婦が來て、小供の發育狀態を見て行く、若し發育不完全であれば、直ちに小供を取り返すことが出來るのである。

法人組織の孤兒院などが、其の院兒を里子に出す場合には、個人の場合の樣に豫じめ許可書を得て置くには及ばぬが、預けてから後は直ちに屆け出でねばならぬ。而して預けて後巡回看護婦が月に一回づつ其の發育狀態を見て行くのは同じことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△私生兒に對する保護

紐育では右の如く、里子取締の法律があるばかしでなく、此の里子と密接の關係ある私生兒の保護に就て、ソレ〳〵手を盡して居る、此の事がドレ位、里子の數を減らす上に力となつて居るか知れぬ。

さて私生兒の母たらんとする妊婦を保護する所があつて、彼女等をして腹の子の所置に窮して恐ろしき犯罪を敢てするに至らしめざると共に、既に生れて後は、成るべく母と子を分離せぬ樣、小供をつれて奉公に行かしめたりして居る。之れは一には小供を母と離してはドウしても惡いのと、二には小供を母と離すと、母をして再び罪を重ねしめ易いからであるソウな。日本では小供をつれて下女に行くと云ふ樣なことは殆んど絕對に出來ぬが、向ふでは家屋の構造が彼の樣であるから、ソレには差支へない樣である。

又日本の法律では、私生兒の父に認定權があつて父が認定せぬと、小供は母の家に入ると云ふことになつて居るが、米國イリノイ州の法律には

私生兒の母が父を證明することが出來ると、父に小供の養育費を請求することが出來、父は小供の生れた年に百弗以上、其後の九年間毎年五十弗以上づつ、十年間に都合五百五十弗以上の養育費を拂ふ義務がある

と規定してあり、ボストンでは

兒童の養育に必要なる額云々

マサチユセエツでは

裁判所の命ずる額云々

又紐育では

小供の養育に必要なる額を云々

と規定してある。

斯く私生兒保護の方法の完備して居ることが、ドレ丈け里子問題の暗黑面を縮少するに至らしめて居るか知れぬ。日本に於ても早く此の樣にしたいものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

この頃

岩崎あい子

明日はきつと癒ると云ひて青き顔にうす笑ひする妻よいぢらし。
病む妻に蜜柑をかひて歸る夜の雪となりけりなんだかかなし。
電燈もわれも寂しき妻の留守流しをよびて寢ころびてきく。
のみさしの茶碗に言葉かけて見る机の上の寂しき夜は。
友人の出產のたよりそつと讀み妻にかくしてひきさきにけり。

むらさめ

子が欲いと不圖云ひ出すあしらはであればいつ迄もうつむきし儘。
これでも息子とおもふか少し熱があれば聽診器もて來よと母より。
わが呼吸と隣りの呼吸と一緒になりまた別になり寢つかれぬかな。
櫻さく隣のむすめ肩上げをおろして少し瘦がみゆるかな。
白酒をのみつゝ妹にメルヘンを語りきかせる春の夜の雨。
陶器の店の隅なる青き顔ふと眼にうつり夜の町をゆく。
一軒の外に灯のない町はづれその揚戸いま眼の前にとづ。
誰かゐる終電車待つわがうしろにいと微かなる嘆息をする。
掌を夕日にかざせば紅し紅しまだ若き日は過ぎさらぬかな。
いままでは唄にまぎらせしもう唄もうたへずなりぬ淚こぼるゝ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才の女の日記（一）

高安月郊

天才は月の桂と茨とで編んだ冠である、女の天才は殊に血より涙の垂る冠である。サッフォ、小町の昔から近代になる程愈〻多く出るにつけて愈〻苦しくなる中に殊に苦しい心の畫はマリイ、バシカアトセフの日記である。

彼は千八百六十年、ロシアのポルタワに生まれた。父はトルストイのアンナ、カレニナにあるオブロンスキイの樣な富裕な地主で、母は古い韃靼人の系統を引いてゐる美人であつた、しかし其間柄は不和であつたから、母はマリイをつれてチエルニアコウカの里へ歸つた。マリイは其時極華奢な姿で、皆にかあいがられ、卜者に見て貰ふと、「息子さん達は世間の人の樣になるが、此孃さんは星になる」と。

四の年から豪い者にならうといふ幻が見え出し、玩弄品も王に女王であつた。十から外國漫遊につれて行かれ、オーストリヤから、ドイツを過ぎ、バアデンバアデン、モントカアロ、パリなどに逗留しては浮世の榮華は早く目に染み、「天下第一の舞踏家にならう！　第一の聲樂家にならう！　第一のピアニストにならう！　美聲で萬人を魅してやらう！　帝王に嫁入しやう！　國民を惠んでやらう！」

此夢想的覇氣は昔の女に無かつた所、女性の中の男性は複雜になつた近代の女の一傾向である。

日記はいつからつけ出したか、始の方は自燒いて、今殘つてゐるのは千八百七十三年一月、即彼の十二の時から始まつてゐる。ロシア語は却つて不十分であつたから、フランス語で書いてある。先序文に

「何故嘘をついたり、見えを張る事があらう。さうだ、私は何であらうと、私の力にあるもので此世に殘りたい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

望で無くば意思を持つてゐる。若死なければ大藝術家として生殘りたいと思ふ、しかし若早く死んだら、私の日記を公にしたい、これは屹度興味がある」。

興味ばかりか生命があるのである、其藝術より價値があるのである。

彼は先ナイスにゐる。伯母がピアノを彈くのを聞いて國の家を思ひ、祖母を思ひ、泣いて又神に祈る、

「私は幸である爲に茲にゐるので無いか。あゝ幸であらしめたまへ。」

彼の幸はもう戀であつた。それは某の侯爵に對して、しかも云ふ事も出來ず、云てもかまふまいと悶えて、

「私は感情に成功につくられた、それ故聲樂家になるのが何よりだ。神若私の聲を續け、強め、增し給はゞ望通りに成功しやう、人に知られ、感服され、名高くなり、それで愛する人を捉へられやう。今のまゝでは彼が私を愛する見込は少ない、私の存在すら知らぬから。しかし私が有名になるのを見るなら、成功！」

覇氣は愛と一になつて、しかも尙己が姿を顧みる女心。

「私は美しいか、誰かに（若い男に）問ひたい。人生は美しい、しかし短い」

眞に美しくて又短いのは其一生であつた。されば何と無く心がせいて、次の年には、

「私は十三になる、若も時を失ふたら、どうなるだらう。私の血は沸く、私は靑くなる、血は俄に頭へ上る、頰は燃える、動悸は打つ、一寸の間も同じ所に止まられぬ。淚は心を壓へる、引止め樣としても尙悲しくなる。これは私の健康を損ねる、氣性を亂す、性急に激し易くする」。

彼は英語を習ふ、伊太利語を習ふ、獨逸語を習ふ、羅甸語を習ふ、希臘語を習ふ、畫を習ふ、音樂を習ふ、同じ年パリへ行つて、

「たう／＼私は知らずに望んでゐたものを見出だした。活きるといふ事はパリの事である。パリは活きるといふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事である。私は何を要してゐたか知らなかつたから私自身を犧牲にした。今私は明に見る、何を要してゐるかを知る。……何を要してゐるか知るのは幸だ、しかし一つ苦しい事がある、私は平凡な樣だ。これは恐ろしい!」

これは虚榮ばかりでない、激しい神經に適當な刺戟があるからである、これからナイスへ歸ると放逐された樣に思ふ、泣き度なる。六月ウキーンへ行つて、また

「人生は短い、人は出來る丈多く笑はねばならぬ。涙はおのづと出る、我々はそれを避けねばならぬ、世には避ける事の出來ぬ悲がある――死と別、別すら望のある悶は美しい、しかしつまらぬ悶で生を損ふのは、いや!」

しかし大な悶は忽來た、戀人は他と結婚するといふ、私は火の樣に熱く感じたから本を私の顏につけた。鋭い小刀が私の心を貫く樣だ。私は本が持てぬ程顫ひ出した。氣を失ひ相になつたが本が助けた。靜になる爲數分間確な場所を見る振した。課業をくりかへしたが、聲は不平均の息で顫へた。――」

「あゝ私は彼を憎む! 私は彼が彼女とつれ立つのを見まい、見やう! 彼等はバアデン、バアデンにゐる――私があんなに好きなバアデン、バアデンに。いつも彼を見た道に、亭に、店に!」彼はまた祈らなかつた、それは殺される程つらかつた。妬、愛、羨、失幻、自負の毀損、人生の醜を一時に味つて、殊に惱んだ一事は、數年の中にそれを失ひ忘れるかといふ事、しかし二年後そこを見て笑ひもせず、忘れもしなかつた。

翌年は反動的に恐ろしく自尊になつてゐる、

「幸か不幸か私は自身で誰も相當の價の無い寶と思ふ、此寶に望をかけるものは憐の價すらない私自神と思ふ、どうしてジイの樣な男が私を喜ばさうと夢みたか分らない。私は一の玉も私と同等には取りあつかはない、それで好い。私は男をこんな高い所から見下す、愛嬌を蒔くのは遙下にあるものを嫌ふのは好くないから。私は彼等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を猫が鼠を思ふ様に思ふ。」

彼はまた社會に入り、有名になり、鏡を見て美しいと思ひ、總に成功すると思ひ幸であると書いてゐる。

其年イタリイへ行つて、きたない町の中でダンテ、メデイシ、サボナロラの思出に「私が女王であつたら」といひ、ラフワエルのマドンナを彼女の様なと思ひ、チ、アンのマグダレンを喜んで尚、「しかし——いつもしかしがある」とは批評眼が稍鋭くなつて來た。

次の年またナイスで、

「神は私が願つた事をしてくれぬ、私は棄權する（實はせぬ、私は待つ）あゝ待つて、唯待つて何もせぬのは何といふ退屈！こんな事は女を破滅する、こんな外部の事情の矛盾は！」

失意はまだ彼を悩ましてゐる。十六でローマへ行つたが、そこで第二の赤心の喜劇をやつた。即ち相手はロシヤの貴族で、隨分熱心であつたが、寧眼下に見て彼は「其自分に對する愛を愛した。」

されば又失望、不愉快、愛！私はかつてこれを知らなかつた」愛より覇氣は激昂して

「ローマの美と古跡は私を醉はせる私はシイザアに、オーガスタスに、マアカス・アウレリアスに、カラカラに、惡魔に、法王になりたい！」

何といふ興奮！ しかも全く醉興にも入らず、

「虚榮！ 虚榮！ 虚榮！

總ての始、終、總ての唯一の永久の原因、虚榮から出ぬものは情熱から出る。情熱と虚榮とが世の主人である」。

理智と情熱は同時に發展して、ネーブルスで、

「ネーブルスを見て死ね！ 私はどちらも望まぬ。」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は自ら閉込めて幾度も泣いた。
私が嘆くのは私の不幸な運命である、辛うじて始まつたかと思ふと失望ばかりの哀な生活である。
神はドイツ的棄權を要求する、そして私にはそれは出來ぬ。
そこも厭になつてポンペイへ行く途中、母が結婚の話をすると、
「結婚前の妻は破裂前のポンペイです、結婚後の妻は破裂後のポンペイです」。
「結婚して子供をもつ！　それは洗濯女にでも出來る。
何を私は要求するか、あゝ能く分つてゐる、私は光榮を要求する」。
光榮はパリに輝く、彼はまたそこへ行て、
パリ、さうだパリ、天才、光榮、總ての湊合地、光、虚榮、眩暈！
「あゝ神、私に當然の生命を與へたまへ、でなくば死なしめたまへ！」

（つゞく）

エリーダの夫とカンデイダの夫と

鳥林あぐり

イプセンの『海の夫人』とシヨオの『カンデイダ』に　は何處か通ふところがあつて照し合せて考へて見ると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

微笑を誘ふものがある、女主人公の性格は全然異つた方面を各代表してゐるかの様に見えるが其夫といふ人物の感情の動き方に共通の點が少くない、といふのは、つまり似た境遇に置かれてある爲なのであらう。性格は大分異つてゐるらしい、即あゝした立場に立つた時の男といふものを作者があらはさうとした處におのづから一致する處があるので、女主人公の性格の差は即イプセンとショオの差であると思ふ、どこまでも温か

鳥林あぐり

く感情的で女らしいエリーダと冷靜で理智的で男らしい處のあるカンデイダがその選び處の夫にそれ丈の差のあることも又自然の結果であらう、海の夫人エリーダの夫、醫師のワングルには先妻の子、しかも年頃になつた娘が二人もある、カンデイダの夫、ジエームス、メーヴアー、モーレルといふ牧師にはさういふものはない、子供はカンデイダの生んだ子である、エリーダはワングルを知る以前に既に精神的の男に征服されてゐる（よしそれがエリーダの空想が生んだ夢であつたにしても）カンデイダにさういふ事があつたとはショオが云つてゐない、後から出て來る青年詩人に對しての彼女の心理狀態も純戀といふ事は出來ないと思ふ。エリーダとカンデイダの共通の點はたゞ女といふ事と自由の意志と自己の責任といふ事を何よりも重くしてゐるといふにある、エリーダの夫はエリーダより一段役者が上である、といつてもそれが偉いといふ意味ではない、惡くいへばカンデイダの夫より擦れてゐる、若しカンデイダがワングルの妻であつたらエリーダ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の樣に容易に納まりがつく事はあるまいと思ふ、又エリーダが牧師の妻であつたとしたら……恐らくば青年詩人と一緒に闇の中に沒してしまつたかも知れない、それが青年詩人をして幸福より高尙な生活を滿足して營ませるかどうかは別問題として。

『海の夫人』と『カンデイダ』を讀み合せて見て一寸面白く感じたのは、エリーダの夫ワングルがつきませて持つてゐる性格の一面づつをカンデイダの夫ジエームスと青年詩人マーチバンクスとが分けてもつてゐる事である。いひかへれば單純な牧師と複雜な詩人と二人の心を一つに合せて、エリーダの夫ワングルが持つてゐるといふ事になる、それ丈彼には混りものがある。女敵といふ點に於て『カンデイダ』の青年詩人と同じ樣な役になつてゐる『海の夫人』の怪しき男はイプセンがエリーダの空想の人、夢裡の俤としてあらはした男丈に實際に出て來ては消し難いほどの個性の印象といふ樣なものもない、イプセンが例の抽象的な筆法であらましの輪廓を先にこしらへてしまつて人物をおとで點じてゆく樣にしたのからたるみが出來てさうなつたのか、或ひは故意に、空想家がみづからはぐくむ戀の實體はこうしたものと象徵して見せたのか、私は後者であつてほしい否無論後者であると信ずる、兩脚本の中の類似の點共通の點又は同じ場合に異つた解決をしてゐる處、一方を讀んで他の一方が連想される處など、心に浮んだ丈をあげて見る。

『海の夫人』の第三幕の終り近く、怪しき男に對して——

ワングル『話があるなら私にお話なさい、妻にでなく簡單に——御覽の通りの場合です——何の用事です、何の爲に、此處へ來て妻に何御用ですか。

怪しき男『時機を得次第尋ねて來るからと私エリーダに約束があつたのです。

ワングル『エリーダ、又！』

怪しき男『而してエリーダは私の來るまで待つてゐると堅く語を番へたのです。

ワングル『あなたは妻の名を呼び捨てになさるそんな無躾は此處ぢや流行ません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

怪しき男『疾くに承知です併し何を措いても此婦人は私の物ですから―。

『カンディダ』第三幕目のはじめころに、青年詩人に向つて―。

牧師『何が私に話がありますか』

マーチ『私が此處で內密で自分を馬鹿にしてゐたといふ事位です、あなたが公然御自分を馬鹿にしていらしやる間に。

牧師『それを同格といへますか』

マーチ(熱烈に飛び起きて)え丶全く同格です、私は全くあなたと同樣善人の眞似をしてゐたんです、あなたが先刻英雄ぶつて私をカンディダと一緒に殘して出かけましたらう―。

牧師(思はず)カンディダ!。

マーチ『え丶さうです、私はずつとのりこみました、英雄主義は傳染的です云々。

ワングルは『あなたは妻の名を呼び捨てになさるそんな無躾は此處ぢや流行しません』と殘りなく云ひ牧師はたゞカンディダ!とばかりで前の意味をきかせしゐる、怪しき男は『疾くに承知です』といひマーチバンクスは『え丶私はずつとのりこみました』と云つてゐる。

カンディダの夫の牧師は何處までも謙遜な語調で其妻に―。

牧師『カンディダ飛んでもない事をいひなさる、私は自分の愛嬌なんか考へた事はない私はたゞお前の貞節―純潔と云ふ事のみを思つて居たそれを私が信賴してゐるのだ』といふ樣な人であるが、エリーダの夫ワングルはその妻の心を長い間なやましてゐた、前の許婚者怪しき男が尋ねて來るといふ事を聞いて。

ワングル『そしてそれが又お前の病的の妄想を消す、だから實在物が出て來たのは結構なのさ。

エリーダ『結構!結構な事だとおつしやるの?』

ワンゲル『さうだ、それが出現たのは卽お前を救ふ事になるだらう』などと客觀的な沈着いた事を云つてゐる。

不用意のうちにイブセン自身の觀念が五幕目を待ちか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ねて幕の穴からのぞいてゐるのならばまだ赦す事も出來るが實際アングルその人丈の考への表白とすればエリーダは食べられて居る、人形の家で自覺以前にヘルマーが見てゐたノラと大した差はない事になる、又ワングルが自分の妻を連れて來た怪しき男に——。

『妻は選擇の必要を認んです、此事件では妻の爲に選擇し保護するには私がこゝにゐる、保護する人です、もしあなたが此處を立去つて——此國を逃亡して再び歸ることのない樣にしなければあなたはどんな目にあふかしつてゐるか』と云つてゐるのは『カンディダ』の牧師が青年詩人に向つて——。

『馬鹿な！お、若し彼女が己をすてゝお前を取るほど本心を失つた時には誰が彼女を保護するか、誰が彼女を助けるか、誰が彼女の爲に働くか、誰が彼女の子供等の父になるか？』と云つてゐるのによく似てゐる、又カンディダがその夫に——。

『……私があなたの所謂貞節と純潔をまもつて彼の人を惡い女の手に打任してしまつた事を！あゝジェームス、あなたは殆んど理解してゐないのです、私の貞節と純潔に信賴するなんていふのは、私は悦んでそれを二つともあのユージンにやつちまいたいのですよ凍へて死かゝつてゐる乞食にショールを呉れてやる樣に。もし外に私をとり抑へるものがなかつたなら、あなたに對する私の戀に信賴なさい、ジェームス、ね、もしそれがなくなれば私はあなたのお說教なんかは殆んど何とも思つてやしませんよ、あなたが每日自分をも他人をも欺していらつしやるその空な言葉、口先ばかりの御說教なんかは、』といふのは、エリーダがその夫に——。

『それをお妨げなさる事は出來ません、あなたでも誰でも、それは私が彼の人と行くのを、彼の人と一緒になるのを、私がさうしやうとしたら——あなたはお禁なさる事は出來ませう、私の心にそむいて此處へ私を無理にとめて置く事は出來ませう、それは出來ますが、けれど私の胸の底でする選擇、——さうしなければならない場合、——あなたぢやなくて彼の方の心の奥で

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

撰りどる、それをお妨げなさる事は出來ないので御座いますといふのと等しく何者も不可抗の、心の自由と自己の權威を、心ゆくまでいひあらはした言である。
それに對して又ワングルが。
『それはさうだ、お前のいふのが尤だ、それは私に妨げられない。』と答へてゐるのは。
牧師がマーチパンクスに向つて、
『さあ眞實の事をいひなさい、あれは私の妻だ詩人の腐つた囈語なんかきゝたくはない、若し私が妻の愛を失つて、君がそれを得たなら妻を束縛する一つの法律もないといふ事は承知だ。』といふのと一筋、通つた脈がある。
又怪しき男が――。
『さうだらうと思つたから用意がある、護身用具として是がある』と衣兜から拳銃を取り出した時に、エリーダはワングルの前に身を投て――『いけません〳〵射つてはいけません、殺すなら私を』と云つたが、カンデイダも牧師と青年詩人とあらそうてゐる室の中へ知らずに入つて、心づき。
『あなたジェームスをいぢめてゐたのですね、？いけませんよユージンさん解りましたか』と青年詩人を非難してゐる、この『カンデイダ』は勿論喜劇と云ふ衣を着て居るのだから上の形式は輕妙であるけれどその下にかくされた赤裸々の人生には『海の夫人』に勝ればとて劣らぬほどの悲哀がある、こういふ時に臨んでは女らしいエリーダも男らしいカンデイダも同じく純女性の美くしい正しい高尙な眞の面目を明らかにいひあらはしてゐる、冒すべからざる權威をもつて臨んでゐる、こうした處に眞の女性は描かれてゐる。
『海の夫人』の五幕目の終りに近く、
ワングル『さうなつちやならん他に仕方がない――、お前を救ふ道はない少くも私にやないからだから私は――私は今即座にお前と取引の帳消する、お前勝手に――充分自由にとるべき道をえらぶがよい、』
エリーダ『そ、それは、それはあなた眞實ですか、――お胸の底からさうおつしやるのですか？』

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ワンゲル『苦しい胸のどん底からさういふのだ！』
エリーダ『それがお出來ですかあなたそれが出來ますか』
ワンゲル『出來る、出來る、深く〳〵お前を愛するから』
といふ處があるが『カンディダ』の終りちかくにマーチバンクスが去らうとして――。
マーチ『私は最早幸福は望みません、人生はもつと高尚です、牧師さん、私は私の幸福を甘んじてあなたに差上げます、私は私が愛した婦人を滿足させて下さつたからあなたを愛します、左樣なら』と云つてゐ　のに大分似てゐる、立場も朧月夜の樣なカンディダは詩人の胸中の秘密のうちに生き、怪しき男はエリーダの心のうちに恐ろしい程暗黑な影をとめてゐた、私はそれをワンゲルの言の通り――心の自由を覺醒して生長させるものであつたのだ、――といふのであるが、カンデイダの夫とエリーダの夫の著しく異る點は、カンデイダが牧師と詩人の愛の入札のねだんづけを聞いて私は弱い方へつきませうと云つたのを牧師は思ひ違へて詩人が選まれたと失望したのを反對に自分であつたと聞いて『私だといふのかへカンディダ』と驚き、その妻の責任を重んじた愛の言を聞いてその脚下にひざまづき。
『その通りだ全く、私のこうしてゐるのは全くお前のお蔭だ、お前ひとりの骨折りだ、お前の愛情の賜だ、お前は私の妻でもあり、母でもあり、姉でもあるお前は私にとつてはあらゆる、心づくしの〆高なんだ』と心から眞面目に謙遜にたゞ感謝してゐるのにひきかへてエリーダの夫ワンゲルは、怪しき男を退けた妻が―『あなたには私とつて名醫で御座いました、あなたは私のおひ藥を發見して飲ませて下さつたのです、』といふのに答へて――。
『生死の境に臨めば吾々醫者は隨分冒險を行ふ、――併しもうお前は私のものだ、さうだらうねエリーダ』と云つてゐる、男らしく大きいといへば云へない事もなからうが心かしこい關守のすゑである、戀の關所では、ちと申分がないでもない、何となくその間に妙な自信がある樣でカンディダの夫ほど眞劍でない樣に見える處が私たち女のめからはなつかしくみえない、あらかじめ此幕ぎれを、想像して三分の不安はまづかけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て一狂言かいたものかと邪推すれば出來なくもない。それにつけてもワングルが。

『お前の考へは別な方向をとつてゐるのだ、併し今は、今は全く私の心にも身にも關係ない自由の軀だ、今こそお前は眞のお前の處へかへるのだ、だから自由に、且つお前自ら責任を帶びて如何でもするがよいと云ふ

とエリーダが。

『自由に、――そして私自ら責任を帶びてゝすか責任も……………それぢや事情が一變して來ます』といふのは何だかあまり早計な樣で感心出來ない、尤傍から怪しき男が――。

『エリーダさん最後のベルです同行しますか』

と急ぐからでもあらうが。

エリーダ『かうなつては最早決して同行は出來ません』

と云ふのはいかにも龍頭蛇尾の感がする。前にも云つた觀念を先にするイプセンの筆のぬけめか或ひは又はかない戀の象徴として夢のさめぎはをかいたものか

男といふものに囚はれてゐるワングルが作り飾らぬ心をそのまゝに出した言はエリーダが先妻の娘二人を私共の娘たちと云つたのに對して『私共のとお前云つて呉れる？……私共の子供、あゝ何より其一言が有難いよエリーダ』と云つた事である、こゝで思ひ出すのは前にエリーダがワングルに云つた中に。

『それに又此處の家には私をひきつけて縛りつけておく物は何も御座いません、私あなたの家には全く根が生へてゐないんです、娘達は私のでは御座いません――娘達の心がと申すのです、娘達の心が一度も私のものとなつた事は御座いません』といふ言のあつた事である、而して最後にワングルが眞實に『私共』のとエリーダの云つたのをよろこんだのでエリーダも又『まだ私のものにはなつてゐませんが屹度私の子供にしてお見せ申ます』と誓つてゐる、絶對の愛は確にすべてを自分のものにする、こゝに至つて『人形の家』のリンデン夫人や『ヘッダカブラー』のテアを借りて、そこには男の僞もあらぬ、誇もゆるさない私たち女の心の世界に實現して鑑定を乞ふてゐるイプセンの理想もなつかしくゆかしくなつて來るのである、女の美や優しさや働きや要求を知つてゐる男はあつても絶對の愛正義の權威を藤紫のうす衣に包んで抱えた眞の女を解して、心から憧憬され得る男は少い、好きとか嫌ひとか我儘な言を用ふる事がゆるされるならば私はカンディダの夫は好きでエリーダの夫は餘り好きではない。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五月雨

白百合

恨むまじ恨まじ黒いあの煙り君と我とを引さき行く。

別れては思ふともなくうちしづみたゞあのきしる汽車を恨みぬ。

井上すみ子氏

別れてはただなつかしさいやまさりあのうつしゑをいだきて泣きぬ。

行末はたとへ海山へだつとも月をあふぎて共に泣きなん。

永久の別れと知らすいそいそと見おくる笑顔もあはれ悲しや。

あの言葉いかにひゞきしこのむれに死れよと聞きぬ今日の別れに。

いなづまの光るかやうに電車行く戀し／＼の君のみすがた。

この心何日までつゞかんこの思ひゆめなら醒めよ一ときもはやく。

君を思ひ思ひは思ひをさそひ来てたかき山へと上りて泣きぬ。

ある人の身の上を聞きて

いとけなきわが子の寝がほうちながめ四とせの秋を思ひ泣くらん。

故ありて名もかたられぬ父親の在ますと聞いてなほ慕しく。

はらからとやさしき言葉聞くたびに云ふに云はれぬ母を忍びぬ。

ちゝはゝに可愛いがらるゝよその子の有さま見ては忍び泣きする。

ながらへて悲しき月日を送るよりつめたき石の下へといそがん。

五月雨るる今日此ごろの悲しみを行きにし君は知るや知らずや。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

故石井十次氏

○

過日日向の茶臼原で永眠された石井十次氏の事は諸雑誌に記載されたが、私は其の中六合雑誌に載つた星島二郎さんの文を最も面白いと思つた。

石井氏は岡山にありし其の孤兒院を日向の茶臼原に移し、孤兒と共に玆に土着して開墾に就事し、此の荒野の中に一個の理想村を建設せんとせられて居たのである。此の理想村の宗教は彼自からの創設にかゝる信天教で其の信天教の憲法は左の如くである。

一、天は父なり人は同胞なれば互に相信じ相愛すべき事

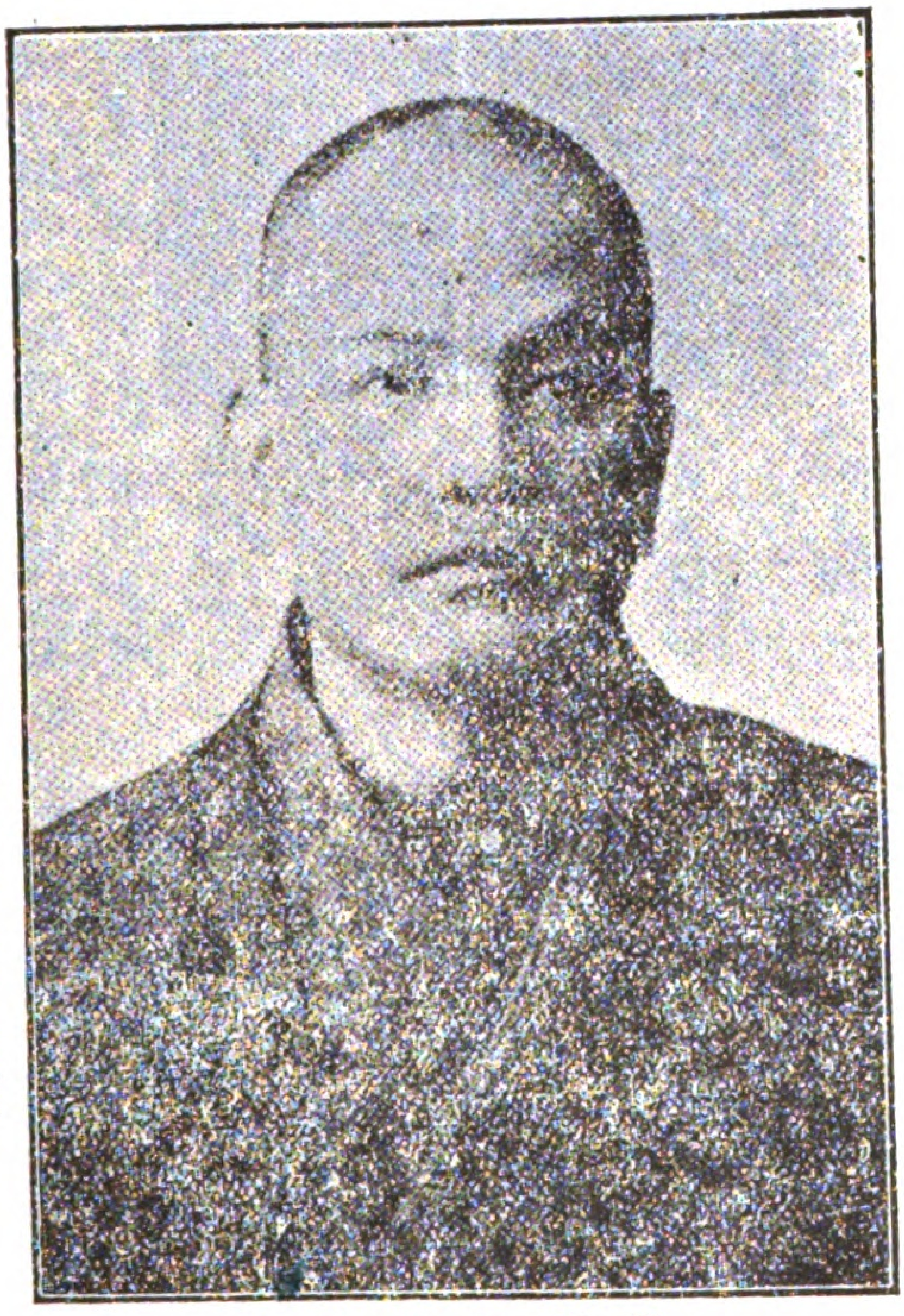
二、天父は恒に働き給ふ我等も倶に勞働す可き事

三、天恩感謝のため我等禁酒禁烟を實行し収入の十分の一を天倉に納むる事

（附言）十分一は茶臼原天國民の擧税にして小作制度を廢せり、天倉にては公税、衛生費、教育費、土木費、宗教傳道費、養老費、救濟費等を出すものなり。（星島氏の文中より借用）

私は此の簡單な憲法の中に、石井氏が活躍して居ると思ふ。

星島さんの文中、私の特に面白いと思ふたは石井氏の山上の垂訓の講義を聞いたものは實に活ける基督の説教を聞く樣であつたと云て居る。人情的で最も振つた說は、ユダが何故基督を賣つたか、あれ程堅きユダが僅々三十金で基督を賣る筈はないあれは戀敵のためだと隨分思切つた事を云はれた事が有つた、卽ち、エスの足に千金の價する香膏を塗つたベタニヤのマリヤにユダは戀して居たのであらふと云ふ說である。穿ちすぎた處もあらんが、此樣な調子の約翰傳の解說などは、兎ても專門家の企て及ばぬ生きたものを捕へて居られた



故石井十次氏

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樣であつたのである。

尙ほ聞く所によると星島さんは、アンゼルスの鐘から思ひ付いて茶臼原へ一個の鐘を寄附する考へで、石井氏の生前から其の爲めの金を集むる計畫をして居られるソウである。アンゼルスの鐘の話が面白いから玆に附記して置きたい。

佛蘭西では、毎日夕暮に、寺々の鐘がなるスルト野にあるものも、家にあるものも、乃至は工場にあるものも、皆、一齊に仕事を止めて暫時默禱する。道を歩めるものも歩を止めて默禱するソーである。畫家ミレーは何んとかしてこれを繪にしたいと考へ或日ヒントを得て描いたのが則ち玆に挿入せる繪である。遠く向ふに見ゆる寺院より、默禱の田園の夫婦に、鐘の音が如何にも聞えて來て居るかの如く見えるではないか（光）

○

私が崇拜した最初の人は石井さんです、私に社會の爲めに働こうと云ふ樣な氣分の幾分でもあるのは、全たく石井さんの賜です。故人に對して感謝致します（文）

アンゼルスの鐘

知人の死

二月三月は私供の知己友人の間に不幸の多い事でした。坂井義三郎氏の愛兒長男義雄さん（八才）が鎌倉で二月御不幸になられ、彦根育太郎氏の愛兒も房州にて靜養中三月中旬御亡くなりになり、小島信三郎氏も先ほど内外出版協會の山縣悌三郎氏御夫人も御死亡になり、岩藤新三郎氏の夫人も先頃御亡くなりになりました。私どもの知人間でさへ二月三月の中にかく五六人もあるのですから、廣い社會では幾人の人が親に別れ子を失ない夫婦死別れしてなげいて居られる事かとつくづく感じます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人種改善學的思想の歴史

西川光次郎

人種改善學の定義

人種改善學のことに就ては、既に本誌に一二度掲載したことがあるから、今更此の學問の定義などを書く必要はなからうが、萬一を慮かりて念の爲に、人種改善學的思想の歴史を述べんとするに先き立ち、人種改善學の定義を一寸述べて置きませう。

人種改善學の創設者たるガルトン氏、人種改善學に定義を下して曰く

次の時代の人種の性質を改善し、若しくば改惡する力あり、此の力の何んたるを研究するのが、即ち人種改善學であると

此の定義よりも分り易きはワーレスの定義である。ワーレスは

結婚を通して人種の改善を圖る學問である

と云ふてある。

人種改善學の先驅者

さて人種改善學と云ふ言葉は新らしい言葉であるが人種改善學的の思想は昔からあつたものである。紀元前六世紀頃の希臘の一詩人の詩の中に此の思想が現はれて居る。プラトーの著『共和國』の中に

戰爭の際に殊勳を立てたものには、國家は他人よりも多くの妻を持ち得る特權を與へ又他人に先き立ちて其の妻を選ぶの權利も與ふべきである。之れ勇士の子孫を多からしめん爲めである云々

と云ふ樣なものや、獨身說に就てや、乃至は、酒精と結婚と云ふ樣な事に就ての意見が出て居る。『共和國』の後に世に出た、プラトーが七十四歳の時に書いたものであると云ふ其の著『法律』の中には

將に結婚せんとする者は、時を定めて、男女共に丸裸體になつて一緒に踊らして見るとよい。ソウすれば體格の惡いものと結婚する樣な事はなくなる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

などと云ふ樣な意見が出て居る。

アリストオトルの『政治學』の中にも、人種改善學に就ての考が出て居る。下ては伊太利のカンパネラの著『太陽の都市』の中にも、此の思想が出て居る。ハバロック・エリスは此の人を『近世人種改善學の豫言者』と稱して居る。

人種改善學の創設者

以上は此の學の先驅者とも云ふべき人々で、此の學の創設者は、英國のサア・フランシス・ガルトンである。彼の略傳と彼が此の學說を創設するに至つた次第とは本誌二月號に於て露子君の述べた通りであるから略して、たゞ彼に就ては左の事丈けを述べて置きたい。

ガルトンが初めて人種改善學の思想を發表したのは千八百六十五年で、彼の說が眞に世に認めらるゝに至つたのは千九百〇四年からである。而して彼の說が世に認めらるゝに至るに與かりて最も力ありしは敎授カール・ピヤーソンである。

千九百十一年卽ち今より四年以前にガルトンは永眠したのであるが、臨終に際して、彼は其の遺產の中一片にても建物などに費してはならぬ悉く之れを人種改善學の講座を維持するの資金とせよと遺言した。此の遺產によつて維持さるゝ講座の擔任者には今、其の親友カール・ピヤーソンがなつて居る、

人種改善學の普及

先是千九百〇八年に人種改善敎育協會が設立された此の協會は云ふまでもなく、此の思想の普及を圖る爲めに起つたもので、時々集會を開のと、人種改善學評論てふ雜誌の發行を其の事業として居る。初め此の會の名譽會長はガルトンで、名譽書記としてゴットー夫人が實際の働きをしたものであるが、現今の會長はガルトンの從弟マヂョア・レオナアド・ダアウキンである今や此の會の支部は、英國內では、ベルファアスト、バアミングハム、グラスゴー、ハスレメヤー、リバプール、マンチエスタア等に設けられ、英國外ではニユチランドに五支部と、濠洲に一支部と設けらるゝに至

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて居る。

尙ほ英國には公德公民會があつて、小冊子の發行によりて此の思想の普及を圖りて居る。千九百十二年には倫敦大學で第一回萬國人種改善學大會が開かれて米國、獨逸、佛蘭西、白耳義、丁抹、諾威、伊太利、西班牙等の學者が之れに出席した。

米國では、ジヨルダン博士を會長とせる會などがあつて、此の思想の普及を圖り、獨逸では。人種衞生てふ名で此の思想の普及を圖り、佛、伊、白、丁等に於ても、ソレ／＼此の思想の普及を圖つて居るものがある。和蘭には結婚前、男女の健康診察を勵行しやうと云ふ目的の會が出來て居る。

人種改善學的思想の歷史は、大略右の如くである。次號以下に於ては、此の學の內容に這入つて論じて見ませう。

人種改善學協會

今回「第三帝國」の石田友治君と小生とが發起人になつて、人種改善學を研究し、又人種改善學の智識を普及する目的で、人種改善學協會を起す事に決定しました。近い中に發會式を擧ぐる筈ですから入會御希望の方は、豫じめ申込んで置いて下さい、さすれば發會式の日と場所の定まり次第御知らせを致します。

（東京本郷駒込林町二〇六西川光次郎）

東北 北海道 救濟金募集決算報告追加

東北救濟の爲めに寄附金を募集いたしました事や、その結果は先月號で、報告いたしておきましたが、其の締切後に寄附して下さいました方は

金參拾圓也　神田淡路町の某夫人
金貳拾圓也　右御夫人方に出入の髪結さん　佐藤あき子氏
金拾圓也　日向氏御友人

右合計六拾圓也
總計參百貳拾貳圓五拾六錢五厘也

尙右神田の某夫人は本誌購讀料としても、昨年同様金拾圓寄附して下さいました、並に厚き御同情に對し感謝の意を表します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人に對する注文

大江卓氏談

マア男は勝手なことを云ふと怒らずに聞いて呉れ玉へ、

夫の惡口を云ひたがる妻君

私も家庭の治らぬ一人、婦人を虐待した方の一人です、私の友人の中には私同様家庭の治らぬ人が多い。ソレで居て私共至極懇意なものばかり集まりまして、打明け話をする時にも、未だ曾て妻君の惡口をした樣な覺はないが、世の妻君達の集まつて話をして居るのを聞くに、先づ髮の話である。次に衣服の柄に就ての話である。而して其の次は夫の棚卸である。極言すると、妻君達は夫の惡口を世間へ對する挨拶と心得て居るとも云へる程である。私は之れは第一に改正して貰ひたいと思ふ。夫は妻の惡しき所を隱くし妻は又夫の惡しき所を隱くす樣であつて欲しい

夫の月給高さへ知らぬ妻君

夫が外で何にをして居るかを知らぬ妻君が多い。官吏の妻君の中には、自分の夫が何省の何官であるかを知らないものがある。甚しきは、自分の夫の月給高さへ知らず月々家の會計が立つ丈けを呉れると、ソレで滿足して夫がイクラ取つて、イクラ内の會計に出し、イクラ外で費ふて居るかを知らうとしないものさへあるのである。コンナことでは駄目である。妻君方はモット夫の事を知るに熱心でなくてはならぬ。

艶のない妻君

嫁に來た當時は非常に仲がよい、妻君に如何にも艶があり愛嬌がある俗に云ふ色氣がある。然かるに一二年して小供が出來ると、急に妻君の色氣がなくなり、艶がなくなつて、夫が一寸羽織を出してと云つても「乳を飲ましてますよ」と答へて動かなかつたりオイ足袋を出してと云つても「小供が離しませんよ」と云つて動かなかつたりする樣になる。コンナ場合に子供が泣いても飛び出して來る樣であれば、夫の方でも小供が泣いてろ、己れが探がすからよいと云ふ樣になる。西洋婦人を見ろに五十になつても六十になつても、夫の外出は必らず門前まで送つて出て接吻して分れる。夫が歸ると笑顏で迎へて玄關へ這入ると直ぐ接吻する、如何にも歸りを待ちかねたと云ふ風情を示すのである。日本婦人も西洋婦人に學びて何時までも此の樣に艶があり、愛嬌があれば、ドレ位日本男子の不品行を防ぐことが出來るかも知れぬと思ふ。

夫の嗜好を知らぬ妻君

我が夫が何々を嗜むか、ソレさへ知らぬ妻君が多い、不注意も甚だしいではないか。少し注意をすれば夫が何を嗜しむか位は分る筈である。又夫が何にが甘いものを食ひたいと云ふと、何にを上りますかと問ふ妻君があるが、コンナことでは仕樣がない、今朝は何々は何であつたから、今食べたいと云ふものは何々ぢやと直ぐ氣が付く樣でなくては駄目である。此の注文を悉く實行し得る夫人は、其の夫がドンナ人であつても、必らず其の夫を引つけ得るに違ひないと、私は保證する。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

養育院

玉露女

私の家の後に夫婦暮しの貧しい傘張りが住んで居ましたが此冬水道の共同栓も氷るやうな或る日の曉妻は折から病んで居る老ひたる夫の世話と食事も足らぬ貧乏の生活に堪えかねて首をつつて死んでしまつたのです。

其後半身不隨の老夫はたゞ近隣の人々の僅かの慈善のお蔭で數日を過したが遂に此程養育院へ入いりました。

人知れず何くれと世話をしてやつて居た私は此頃の夜寒の風にふと其老夫の事を思ひ出すと今頃はどうして居るかと氣になつてたまらないので今日は〇〇さんに賴んでひそかに見舞つて來てもらひました。

此世の人間の掃溜の樣は〇〇さんの口から細やかに復命されました。限りある財寶を以て限りなき欲を逐つて居られる方々の爲めに左に其大略を御紹介申上ませう。

小石川大塚　小石川病院に隣つた廣やかな建物の門を入いると受附の所へ行きます。

受附は面會人の名を聞いて

それは何日に入いつた人ですからまだ病室の方に居るでせう、あなたは御親類ですか

と云ふ、只一つの賴りもない人々のみを集むる此處に親類でも尋ねて來たらといふ疑の爲めに巧みに如斯聞いたのです。

イ、エ親類でも何でもありません養育院へ入いる迄の少しの間食物などを惠んで居た或る夫人からの使ひですが、其後どうなつて居るか見て來てくれと賴まれて來ました、僅かの日用品と着代へとを差入れるやうに持つて參りました。

と答へると其旨すべて紙切れに記し

それぢやこれを持つて入らつしやい、歸りに又此處へ置いてお歸りなさい。

と云ひながら日附迄して渡されました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

長い廊下を案内されて行く傍に官舍のやうな建物が並んで居ました大かた役人の住居なのでせう、室毎に役人が附いてそれ〲事務を取つて居る樣子でした。

やがてとある粗末なせまい一室に待つ間程なく彼の老人は出て來ました、來意を告げ持參の品々を出しました。

木綿綿入及單衣一枚　きざみ煙草二袋　端書二十枚
手拭三筋　紙十帖

外に長い胴巻のやうな物の中へ白銅二十個を一々紙に包んで糊付けにして巻込んだもの見るより老人ははらはらと淚を流しました。着せて寄こした瓦斯織の綿入や紬無羽織はなくて乞食のやうな破れ衣服に細帶一つの姿を見ると哀れさ胸に迫つて

何故着物を代へられたかと尋ねました、永く居ると定まれば此暮にでも再び返して下さるでせう退院するやうな場合にも勿論着せて歸して下さるでせうが一先づ此衣服に代へられたのだと云ふ。

朝は麥の粥　お晝と晩とは麥飯で菜や芋の煮つけたのも付くと云ふ、二布半の敷布團に四布の掛布團の隅に各自の印をつけて貸してくれる、それを毎日のべたり藏つたりして呉れる人があつて其世話代が一人前一ケ月五錢だと云ふ、其外ストーブもあつて片ばかりの火がたかれ、飲湯の設があるがこれ等もすべて若干の費用を拂はなければ其恩に預る事もかなはぬと云ふ、地獄のさたも金次第、こんな所でも其僅かの金錢も無い人が幾人もあると云ふ、院内に煙草店もあつてきざみ煙草一袋を賣ると云ふ一袋五錢のを七つに分けて一錢で賣るのださうで性來非常に煙草好きの人でも時折一錢のお金もなくて袂ごみでもきせるにつめて呑みたい程に思つては

どうか皆樣の中で一服ふるまつては下さらぬか

と泣くやうに賴んでは一つまみの煙草の粉をもらつて居る事もある。

かの老人は前に渡した煙草を入院の翌々日出して見ると思ひもよらず減じて居るので驚いて取締の役人に話すと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それは院内のよからぬ人が盗んだのであらう新らしい人は勝手がしれぬ故夜など枕の下に物を置くとひそかにさぐつて持ち去るのだ、お金など見當れば何より喜んで入れ物には手をつけず中の幾分を盗み去るを常とす、汝は名古屋の者と聞いたが自分も名古屋の奥田町に永年住める者、同國のよしみに目をかけてあげつう金などは私が預つて置く

とて其人が預られたと云ふ、奥田町と聞けば素性いやしき種類の人のみ住む所と老人は語つて入院の折悪んだ金は少しも無いのに今又賜りしうれしさを謝した。

老人はなやめる手に麻糸つなぎを引受けて毎日麻をつないで居る、巻く時は少し骨が折れるけれどかくすれば賃金も得られ氣もまぎれて却て宜しい、たゞ何より悲しいのは今迄貧しくとも夫婦暮しのさまで不潔にはして居なかつたを此所のシラミの多きは堪えがたき思ひがする。

と云ふ、然乞食三日すれば忘られぬのたとへの如く住めば都の此院内にあんま業を習ひおぼえ毎日市中へ出稼ぎしては何年かの間に五百圓許の金を貯めて院内で高利を貸して居る人があつて院でも出さうとしても本人が去るを好まず一生を此所に暮すと云て居るさうです

入浴は一日おきに室々の人を一組一組一所にしてごたく〳〵と入れるさうだ、麻つなぎは天井から一束の麻が下つて居て皆して寄り合つては精出してつないで居るか、病室などは見るも悲惨な光景である。其代り工藝室などは丈夫な人達ばかり勢つけて働いて賃錢も得られ少しは目も當てられるとの事です。

猶聞き度い事もありましたが餘り長く面會しても如何かと情けなげにすがる袂を振り放して

また暑さ寒さの變り目には一度づつは來て衣服の一枚位は差入れてやる程に躰を大切に何事もあきらめて人々に憎まれぬやう其の爲には先立つものは金錢故與へたものは大切にして失さぬやう人知れず秘め置くやうとくれ〴〵云ひ聞かせて品々を渡して歸つて來ました

あゝなつて迄生きて居る人々!!

と染み〴〵胸に感じました。奥様もう私は美しい衣服も要ませぬ。面白い物を見たく御座いません、エゝもうもう何にも食き度は御座いませんから………

と○○さんはねぎらひの晩食をとゝのへよと女中に命する私の言葉をさへぎつて、そこ〳〵に部屋に入いつて行きました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書翰（二）

座古愛子

返書

初野さん。先日は御書面有り難う御座いました。あの御書面を拜見致しましては、誰れでも泣かずには居られますまい。至つて感情の深い私には、堪へられませんでした。最う胸が一杯になつて來て、涙に文字も見分かぬ程でありました。あれを公けにします事は、何んだか人樣の秘密を素ッ破抜くやうな氣がして、忌やでたまりませんでしたが、世には貴女と同じ嘆きに沈んで居られる方も多くありませうから、さういふ方達に對して慰藉ともならうかと思ひ、お言葉もあります事ですから、強いて『新眞婦人』に投書したのであります。

この事を私がもつと早やく知つてゐたら、と申しました所で、恁やうな結果になると斷言し得る丈の、先見の明もありませず、よしまたあつたにしても、水の出ばなの青年男女が、燃えるやうな戀の焔に、忠告の水一ト柄杓掛けたとて、却つて火力を増さす原ともなつたでせうし、迷ふてゐる時には致し方もなかつた事でせうと思ひますが。併し「信者と未信者と添ふ勿かれ」と、聖書にあるのは、大いに注意して讀み、また考ふ可き事であると存じます。それは同主義、同趣味でなくては、家庭の平和が保たれぬからでありませうまづ貴女の失敗は、これが第一不注意でありました。若し先方が信者でありますなら、一夫一婦の道を守られませうから、それ程に眞心を盡くして自分を慕ひ、また祈つて呉れるものを振り棄てゝ、仇し女と婚結など出來る筈はありますまい。と存じます。よく聞く事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ですが、未信者と結婚する婦人が、私が嫁けば何よりも良人を導きます。といはれる事であります。あれは甚だ冒険な事と思ひます。如何に細君が才物でも、さう良人がいふやうになつて下さるものぢやありますまいし、行爲を以つて導くなど申しましても、一家の中に住んで居れば、さう／＼毎日三ツ指もので、正月言葉ばかり遣つて暮らされるものではありますまいし、遂々過失も出來れば、我が儘も出る。よし長所があつても、苟も信者ともいはれるものが、あれ位は當然だといはれ。また若し缺點が見えれば、信者の癖にと直さんを打たれる。仲々どうして／＼、良人を導くどころか、御自分の信仰までが、知らず識らずの間に失せて仕舞つて、不平不滿が遂顔色にまで出るやうにもなる。それを見る良人も、また不愉快でたまらないから苦い顔してブツ／＼いふ。家の内が面白くないから、遂外出をするといふ事になりますと、最う家庭も何もあつたものぢやありますまい。敵同士の寄り合ひのやうなもので、陰氣臭く、殺風景な、忌やな所となつて仕舞ふでありませう。その結果は推して知る可く、誠に寒心に堪へない次第ですが、現にこんな話しは度々耳にする所であります。

初野さん。私がこんなに申しますと、何んだか保守的な、世間狭い事をいふやうですが、實際の事なんですから、他山の石としてまあ聞いて置いて下さいませ。最う懲り／＼したとおいひでも、まだお若い身空の事ですもの、此後どんな誘惑がないとも限りませんから。

私の最も尊敬してゐる人の亡き奥さんは、熱心な信者でありましたが、未信者に嫁がれたので、數年間の苦勞といつたら、口にも筆にも盡くされない程でありましたが、或る雪降りの晩に、御主人は酩酊して、何時もの癖で、奥さんを散々打ち打擲し、その上着物を脱がして椽から下へ蹴り落とし、ピッシャリ戸を締めて、床に這入つて仕舞つたのであります。所が何時もは奥さんが詫びて、どうぞお赦し下さい。私が惡う御座いましたといふたのが、その晩に限つて、何んの音もしないので、生酔本性違はずで、不思議に思ふと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

同時に、ちと恐ろしくもなつて參り、殊によると蹴り所が惡くて、死んでゝもゐるのぢやあるまいかと、心配の餘り、そつと窓から覗いて見ると、何んの死ぬどころか、裸體のまゝに雪の中に坐わつて、何卒ぞ良人が酒を禁めて、神樣の僕となりますやうと、涙乍らに一心不亂に祈つてゐたのであります。流石に大酒家の良人も、その晩限り禁酒をして、クリスチャンとして日本では屈指の人となられました。未信者に嫁ぐからには、この位な決心と、實行とがなければなりますまいと思ひます。

數年前に讀んだ短篇小說に、こんなのがありました或る田舍の水呑み百姓に、お君といふ娘がありまして鄙には稀な美人でありましたから、新田の吉ちやんや藪際の太郞作などが、野良仕事の一服休みにも、噂は何時もこの娘の事で持ち切りといふ有り樣で、引く手數多のその中に、大地主の息子殿に思はれて、親の貧乏を幸ひに、金の威光でとう／＼嫁に貰はれねばならぬ事となりました。嫁いだ一年が程は、何が偖大事の大事の戀女房、蚤にも喰はさぬといふ程大切にされましたが、變はり易いは男心と、相場が決まつて居ります通り、そろ／＼鼻に付いて來て、虐待し始めたのみか、まだ若々しい父の後妻と姦通して、或る日お君の留守中に、二人の相談は、今は邪魔物のお君を、殺して仕舞はうとの事でありました。それを誰れも知るまいと思つたのが油斷大敵。何時か餘所から歸つて來て背戶に立つてゐたお君に聞こえましたから、さあ大變日頃の虐待の怨みまで一時に發して、前後無差別になり、よし／＼私を殺す心算なら、私が彼れ等を殺して遣ると、恐ろしい決心をして、團子汁の中に毒藥を入れて喰はせたからたまりません。二人は血を吐いて、七顚八倒の苦しみをして、とう／＼死んで仕舞ひました。お君は見苦しき死體を見て、善い氣味とニッコリ凄笑つた所へ、巡査が踏み込んで來て捕縛し、遂に入獄の身となりましたが、その後間もなく發狂して、取り止めもない事をいつては、笑つたり泣いたりして居るのを、看守の一人が哀れんで、出來得る限り痛はつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て遣りますと、狂人ながらも始めて同情の曖昧を知つて、その看守殿が戀しい人となりました。それもその筈、戀がなくつて結婚し、罪もないのに虐待され、將に殺されやうとまでした口惜しさに取り上せて、恐ろしくも二人まで人殺しをしたといふ不幸な身の上に、眞に同情して呉れる人を得たのですから、戀しく思ふも無理もない事であります。でお君が始終唄つた俗謠に、

土手の草、人に踏まれて一ト度枯れて
　露の情に蘇生る。

といふのでありました。

茲に認めました二人の婦人の話を、善く考へて見て下さいませ。貴女には信仰があります。友人も御座います。苦しい胸を打ち明ける事が出來る丈、御幸福であります。私も弱信ながら祈つて居ります。出來得る事なら私の宅へ來て頂いて、共に粥の湯を啜るとも、その悲しい思ひのある村に、貴女を置きたくはありません。が時節を待つて下さい。私は泣禱してゐます。そして考へてゐます。何んとか善い方法はないかと。萌え初めた戀の若草は、無情の男子に散々踏み躙られても、この度は信仰に復活して下さいよ。不幸にして不具者となつたものは、天よりせられたる寺人と思つて、出來得可くば、獨身で居つて下さいませ。そして家庭を作つて、良人や子やに盡くす誠心と、愛とを世の不具者、病者の上に注いで、彼れ等の爲に泣き、彼れ等の爲に盡くし、彼れ等の爲に祈つて下さい。基督は自分の周圍の人々を指して、これ我が母、我が兄弟也といはれました。あれですよ。不幸な人の母となり、妻となり、友となり得て、其所に始めて我が世界は廣くなり、良人も子もなき淋しさも、慰められるのであります。

この事は春江さんも、御同感であると思ひます。何卒ぞ私共二人が流す同情の涙に、甦つて下さいませ。ねえ初野さん。

かへし

迷ふとはげにことわりや花の山、香に引かれつゝ君は入りけむ

○月○日　　座古愛子

愛する
初野様　御許に

（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論反對說に答ふ（三）

（オリブ・シユライネル女史の『婦人と勞働』紹介の九）

高野重三

第五　新らしき女と新らしき男

（八）　モウ一つ、少數なれども有力なる識者の間に唱へらる〻、以上の諸說よりもズウット抽象的で、利害に關係のない立場よりの反對說がある。ソレは婦人が精神上にも亦た肉體上にも非常に發達して來ると、兩性の間の同情が次第に薄らぎ、遂には婦人には男子が何等情愛の目的となるなく、又男子には婦人が可愛くも何んにもなくなるだらうとの說である。之れは、男子は今日の進步の程度に止まり、婦人丈けが殆んど夢想することも出來ぬ程の修養と智識の高點に進み過ぎると想像するので、手足の勞働で生活せる男子、普通の官吏たる男子、乃至は小百姓に過ぎざる男子が、偉い天文學者を妻にしたり、有名な古典學の敎授を妻とせねばならぬ樣になる。之れでは男女の間に同情の起りようがないと云ふ說である。私は此の說に對しては斯く答へたい。若しも人類の各半分が、互に全く違つた種類の生物の如くに、異なる方面に向て變化發達して行くと云ふ樣なことになつて來て、而かも夫れが數百年數千年續き、各〻遺傳によりて益々其の異なれる方向へ進んで行くと云ふことにならば、男女の關係は今日とは變り、否全く隔離するに至るべきは爭はれぬことである。現に今日に於ても異人種或は異階級の間に於ては、男女の間に男女としての情が起らぬ事實が間々あるのである。最も高尙な感情を持て居る男或は女と、純然たる動物的の感情しかない、女或は男との

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

間に調和を得ることは難いことである。例へばジョーヂ・サンドだとか、或はソフイヤ、コヴハルヴスキーだとか云ふ様な高尚な婦人が、何にかの事情で、南洋の食人種島に打ち上げられ、而して髮を束ねた、下顎の凸出した野蠻の男子等が人を殺す道具を振り廻はしながら大聲を擧げて彼女等を歡迎したとする。此の場合に彼女等と此の野蠻の男子との間に同情の心の動くと云ふことは思ひもよらぬ。若しコンナ男子に此等の婦人達が戀をされたとせば、寧ろ死を望むであらう。又右とは反對に、例へばダーウヰンの如き學者、シルレルや、キヰツの如き詩人が、阿弗利加に連れて行かれて眞黒な油で光る身體をして、目ばかりギヨロつかせ而して獸類の腹綿か何んかをムシヤ／＼食べて居る野蠻の婦人に會されたとする。此の場合に彼等と此の樣な婦人との間に戀愛を催すと云ふことはトテも想像の出來ぬことである。

右の樣な極端な例は別としても、手近な話が、最も進んだ敎育を受けて居る高尚な男子と、少しも敎育のない百姓の娘、若しくば町をブラ／＼して居る下等な婦人との間に、永續的な神聖な戀愛の情の起らぬのは明かなことである。眞の戀愛は趣味に於て、敎育に於て、道德に於て、乃至は物質上の境遇に於て略ぼ其の程度を同じくして居る男女の間に於てゞないと起らぬものである。故に若し婦人が新しき種類の勞働に這入ると共に、男女の間に理想、修養、又其の趣味の上に異なる傾向起るに至るとせば、以上に述べたるが如き杞憂は尤至極である。併しながら人生の實際を吟味して見ると、たゞ一見した丈けでもソウ云ふ想像をすることは出來ないのである。

男女は貨幣の兩側の如し

抑々男女は二つの全然異なれる人種ではない。各々一つの全き人格の半分であつて、互に交はり、遺傳によりて始終相影響して居るのである。婦人は二つの方面に於て己が住する社會の男子に有機的に關係して居る。一には男女一緒になる事によりて關係し、二には續いて來たる時代の男子の母として、之れを生み、之

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れを哺育し、且つ之れに自分の人格を印することによりて關係して居るのである。例へば同一社會に住せる男女は、二匹の牛が一の車を引いて居るのに能く似て居る。或瞬間には甲の牛が、乙の牛より一歩先きにあり。又其の反對の時もあらうが、要するに如何なる場合にも甲の牛が乙の牛よりも其の共に繋がれ居れる軛の長さ以上に前後することは出來ないのである。二匹は何んと云ふても一緒に止まるか、或は一緒に前に進むかの外、しようがないのである。或時代の婦人は遺傳と教育とによりて、精神上又肉體上次の時代の男子となるのである。一性に起る所の運動だとか變化だとかは、直ちに他性に影響せねば止まぬのである。明日の男子は今日の婦人の鑄型から生れ出るのである。一時代の婦人の頭に起る新らしき理想、新らしき德義の觀念、若しくば新らしき活動の方法は、其の卅年後の男子の理想、道德上の觀念、及び其の活動の方法となりて再現するのである。

或一個の男子と彼を生み、又彼を育て上げたる母との非類似點を發見する以上に、或社會の男子と同社會の婦人との間に、非類似點を發見しようと想像するのは、人類の遺傳の法則に反して居ることである。

以上はヤ、抽象的な議論であつて、更に進みてこれを今日存在せる男女の實際の狀態に照して吟味して見たい。今日の婦人運動は第一に今日の社會と懸隔れて無關係に突發したものではないのである。第二に今日の婦人運動は男女の間を疎隔する爲めの運動でなく、兩性の關係をヨリ密接ならしめんとの運動なのである現今『新らしき女』に就ては、色々と議論があつて、或者は之れを褒め、或者は之れを誹り、或者は之れを嘲笑し、又或者は之れを崇拜し、云ふ所は區々であるが兎に角、其の存在は充分の注意を以て世間から見られて居るのである。之れと同時に社會にとつて同じ樣に重要なる、根本的なる、而して現代及び將來にヨリ以上に廣く觸るゝ所の現象があつて社會の各所に現はれつゝあるのであるが、餘り世人の注意を惹いて居ない夫れは丁度、一本の木が年々生長するにも係はらず、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其の近所に住めるものが其の生長に氣付かざるが如くである。其の現象は則ち新らしき男の發生である。此の新らしき男と新らしき女とは、恰かも一つの貨幣のの兩側の如くである。其の表面と裏面との模樣は違ふて居るが、兩者は同じ大さで又同じ價格である。

何故に新らしき女の方が世人の注意を惹くか

斯く新らしき女と共に、新らしき男が生じつゝあるのであるが、新らしき男は新らしき女程世人の注意を惹かない。ソコで何故かとの疑問を起すものがあらうが、私の夫れに對する考へは極めて簡單である。婦人は過去に於て男子に比して活動の獨立と云ふものが少なかつたのであるから、新らしき境遇に適應する爲めに變化して行くには、男子が變化して行くのよりは、ヨリ以上の抵抗に會はざるを得なかつた。其の爲めに實際に行はるゝ變化の數量よりも、ヨリ以上に抵抗の音も聞え、摩擦も生じ、ソレが世人の注意を大きに促したのである。之れ恰かも春が來てアルプス山の谷川の氷が一時に解けて其の解た水が氷に附着して居た岩や石と諸共に非常な勢で途中の障害物を排除しつゝ落下する時には大に世人の注意を惹くが其後は夫れに數倍するの水量の流れ來ることありても、世人の注意を惹くこと少なきが如くである。卅餘年前に英國に於て三人の婦人が始めて醫者になつた時には、世間から非常な注意を拂はれ、又大に批評も受けたものであつたが、今は年々何十人と云ふ女醫が出來つゝあるにも係はらず、世人は更に何等の注意も批評も之れに對して與へないのである。されば其の内に、婦人に關する改良進歩が、其の形、其の性質、又其の數量に於て今日よりも遙かに甚大であつても、更に何等の響も生せぬことになるであらう。

變化は男女相互的なり

昔の婦人は夫が主君であつて妻が家來であり、夫が所有主であつて妻が所有物であることに對して不平を懷かなかつたが、今日の夫人は夫婦は一種の友人でありたいと希望して居るのである。夫れと同じく今日の

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男子の婦人に對して望む所も、昔の男子の考とは異なつて、婦人に消極的の從順を望むよりも、寧ろ其の活動的の伴侶たらんことを望んで居るのである。今日の新らしき婦人の親と云ふことに就ての思想が、理窟の分らぬ婦人の理想と異なつて居る樣に、今日の最も新らしき男子の子孫を生むと云ふことに對する道德上及び社會上の義務に關する觀念は、昔の男の考とは違ふて居るのである。今日の新らしき婦人は、最早や物質上如何程富めりとも粗野にして動物的なる、且つ大酒を飲みて暴言を吐く、不品行な男子を、其の伴侶とすることを好まざるに至つて居るのであるが、ソレと同樣に現今の最も進歩せる男子の彼自身に對する理想は此等の賤しむべき型とは違つて來て居るのである。成程今日尙ほ淫賣屋だの、競馬場だの、乃至は賭博場だのと、男子の肉體上の娛樂を充たす機關は數多く存在して居るのである。けれども此等のものの社會の制度若しくば慣習に於ける位地が、昔より餘程下て居ると云ふことは一見して明かに分るのである。政治家にしても、僧侶にしても又或は法律家にしても右の如き惡習に深く染ることは彼等の社會的地位を高むる所以の道ではないのである。友人と大酒を飲む、多くの婦人と正しからざる關係を持つ、其の上に絕へず賭博場へ出入すると云ふ樣では、縱ひ一國の帝王と雖も其の名譽を高めない。普通の人にありては斯くては凡ての成功の道を塞がれて了ふのである。新らしき婦人の思想が、昔の婦人の粗野なる單純なる肉體的の思想とは違ふて、ヨリ精神的、ヨリ智識的なるが如く、新らしき男子の思想も、其の今日の代表的の文學及び美術に現はれて居るのに見ても、昔の男子の思想とは違つて來て居ることが知れるのである。則ち今日の新らしき男子は既に昔風の弱々しい、チョイと愕かされても氣絕し、ツマラヌ事にも泣き崩るゝ樣な婦人を其の伴侶とすることを、好まぬに至つて居るのである。壯健なること、自由なること、力强きこと、ものに動せざること、而かも其の上に優しきことが、今の婦人の理想であるを發見すると同時に其の樣なる婦人を悅こぶ感情

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が既に今の新らしき男の心にもあることを發見するのである。

婦人運動は男女の間を疎隔せんとするものにあらず

されば若しも今日の婦人運動を、たゞ男子に反抗し男子より離れることを求めての運動だと云ふ人あらば其人は此の運動の最も美しき最も重要なる方面を看過した人と云はなければならぬのである。私は曩きに、近代の婦人運動なる者は、婦人の爲めに新らしき勞働を發見して、彼女等を寄生的生活、卽ち生殖上の受動的の働きのみをして滿足せる位地より救ひ出す運動であると說いたが、又一方より觀察して見ると、今日の婦人運動なるものは男女の間に共通せる職務、共通せる利害、及び共通せる理想等を發見して、男女の關係をヨリ深く結ばしめんが爲めの、大なる運動の一部分であると稱することが出來るのである。

若しも新らしき男子と、新らしき婦人との間に其の樣な密接な關係があるものとせば、何故に現今の社會に於て、男女の間に、吾々の屢々目擊するが如き、苦悶、苦痛、不安、不調和等が存在して居るのであるかと問ふ論者もあるであらうと思ふ。私の見る所を以てすれば、此の不調和、此の爭鬪は、決して男女間夫れ自身にある不調和ではない。新らしき理想と、古き理想の、一般的なる動搖若しくば衝突の一部分に過ぎないのである。卽ち其の動搖なり衝突なりは男女間ソレ自身の動搖若しくば衝突よりは、寧ろ人類若しくば個人の進化の過程に於て起る所の一現象に過ぎないのである。

私共は人類社會は絕へず變化し進步するものであると云ふことを、屢々繰り返して說いたが更に夫れを茲に繰り返して說かざるを得ないのである。今日の社會に於ける常に變化しつゝある物質上の狀態は、私共の智識的、感情的、及び道德的の方面に少なからぬ影響を及ぼして、世界に未だ曾てあらざりし最も複雜なる而かも最も動搖しつゝある一定せざる狀態に、私共の社會を爲しつゝあるのである。此の變化の速かなるこ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、及び其の復雜なることとの結果として此の社會に少なからぬ不調和を生じ、從つて苦痛を限りなく生ずるに至らしめてるのである。

變化の少なき社會に於ては、或種類の調和、統一、及び靜謐が行はれて居るのである。併しながら今日私共の見るが如き社會に於ては、十年毎に、否年毎に、否々毎日の如くに社會上の勢力若しくば狀態に變化を起し、從つて甚しき苦痛と社會上の疎隔とを釀して居るのである。而して此の一般的の情勢は、勿論個人に影響を及ぼすこと大に、男女間の理想及び關係にも甚大の影響を及ぼしつゝあるのである。

幼年の追懐

瀬沼夏葉

故郷を出る時

幼年時代の追懐や、記念ほど懐しく、快いものはない。ドストエフスキイの言であつたか、『追懐、記念と云ふものは、すべて嬉しいことにつけ、悲しいことにつけ、同じく苦しいものではあるが、然し、又快いものである。憂きことに心を懊惱され、悲しさに堪へぬ時は、この追懐、記念なるものが、何れ位心を洗ひ去るものであるか、酷い暑い夏の日の暮れた夕に、露の滴が、晝の暑に燒け萎れた哀れな花を、復活させると同じやうに』と、恁う云つてあつたが、私は其言は何と云ふ好い適切な言かと思つた。全く寂しい、悲しい、苦しい生活の渦中にあるものゝ爲には、追懐が、殊に甘い、優しい幼年時代の追懐といふものが、如何に精神の上に露の滴のやうに慰安を與へるものであらう。たとへ小さい一つの思出でも、時には猶且懐しく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の上もなく快よいのである。私は今も殊に鮮明かな繪具をもつて、心に美しく描かれてゐるかのやうに、快い思出が殘つてゐるのは、私が十二の折に祖母に別れて、故郷を出た時の、悲しく、また嬉しく、得意であつたことである。

東京へ出立つ其秋の朝、祖母は未だ夜の明けない中から起きて、朝の食事の仕度などをして、さうして私を起した。私が目を覺した時は矢張まだ夜が明けてゐなかつた。祖母は寢卷のまゝの私を抱いて。

『さあ今日はいよ〳〵東京へ出立つんだよ……着いたら、一筆でもいゝから自分でお祖母さんに手紙を書いておよこしよ………』と、云ひながら、祖母はほろ〳〵と涙を落し、果ては堪へ兼ねて、私の肩に顏を當てゝ、ほい〳〵と聲を立てゝ泣出した。私も急に悲しくなつて直ぐ貰泣をして一所

瀬沼夏葉氏

に泣いてゐた。

それを二階に寢てゐた父が聞きつけて、目を覺して下へ降りて來て、『二人とも何を馬鹿な』と、頭から叱られた。が、祖母は私に着物を着せながら、又昨夜方から私につてもらつた餞別なんぞを包の中に入れたりしながら、又切りに簞笥の前をうろ〳〵しながら、たゞ泣いてゐたが、然し私は東の空が白んでだんだん夜が明けはなれて來た時には、私もさう東の空をさして今行くのであると、輝くやうな新しい希望に燃えて勇立つてゐた。尤も其頃には那樣小さな年で、東京へまで出て敎育を受けやうなんて云ふものは、まだ此の町ではなかつたから、猶更それが自慢であつた。

袷が三枚、綿入が三枚、羽織が三枚、帶が五本、襦袢が三枚、白いキャラコのシャツが三枚（其頃に女學生になるには是非とも白シャツがなくてはならぬものゝやうに人は思つてた。）皆新らしい仕立下しで、まる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で嫁入仕度のやうな包を、女中が持つて、父に連れられて家を出る時、停車場までも行き得ない祖母は、店の戸口に立つて、心一ぱいの悲しさを抑へて、遣瀬ないやうな顔をして見送つてゐたが、頓て其姿の見えなくなつた時分には、私はもう勝利に誇つた勇士のやうに、自分の足音にも愉快を感じながら、あの軒毎に暖簾の飜へつてゐるこの町も、あのぶつきらぼうのこゝの人間も私を見なさい、もうおさらばですと云つたやうな、得意な顔をして停車場に殆ど歩くのでなく跳ねながら行つた……………さも甚麽にか、光り輝くやうな明るい希望の國をさして旅立つかのやうに…………ああ思へば這麽希望と憧憬とは、もう到底私の生涯にはまたと來ない、さうして私の生活はもうオペラにあるやうな、アポテオズで終るやうなことさへもないのであらう……。

幼な顔

すみ子

自分は五つから七つの歳まで一時生地の松山市から十里ばかり離れた山里の寺村といふ所に暮しました。それは父が炭山の調進と云ふ仕事をやつて居たからでありました。

深山颪が身に染みて夕暮の色が此村を包みかけた時分、友達の家で遊び草臥れて、我が家へ馳け戻つた私は、表戸がピッタリと閉されてあるのに吃驚して、いくら叩いても誰も明けて呉れません。急に悲しくなつて、しく〳〵泣き乍ら其處に立つて居りました、隣りの豆腐や蒟蒻等造る家の男が「嬢さんの歸りが餘り遲いから父さんや母さん達は先きにお寺へお出でなされました。今連れて行つて上げますからもうそんなに御

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

泣きなさるな」と云つてなだめて寺の境内の村芝居のある處迄脊負つて來てくれました。今日は日清戰役の戰勝祝賀の爲に村の若衆達が芝居を催すので其招待を受けたのでした。今考へると舞臺は太功記十段目が初まつた處でありました。板敷の見物席は一杯の人でその前の方に若衆の面々は物々しく弓張を點けて誰か芝居の惡口でも云はふものならたゞではおかぬといふ勢です。役者は皆村の若衆や娘達、平常は眞黑になつて、肥料桶をかついだり、泥にまみれたりしてゐる人々が綺麗なお姫樣や威めしい武士になり濟ましてゐます。中にも初菊に扮した娘は仕樣から科白から、俄造へとは思はれぬ鮮かさ、誰れも〳〵あれが守子のお常かと驚歎する計りでありました。そうする中に手拭被つた久吉が出て來てよく徹る聲で「かみさん風呂の湯が沸きました」とか云つたその聲がまだ耳の底に殘つてゐるやうです。

池内すみ子氏

舊暦の三月十七日は此清盛寺の觀音樣の祭で村の者は年に二度のお祭り故大騷ぎを致します。丁度境内の釣鐘櫻が眞盛り、此櫻は、花瓣が雪の樣に白く、莖が眞靑で、此花といふ花、枝といふ枝が悉くうつぶせになつてゐる名の通り釣鐘の形をしたしだれ櫻でそれはそれは見事な他では見る事の出來ぬ村の名物でありました。

お祭りの時には此廣い境内に澤山店が出て、何時にない賑はひです。

お寺の椽のまはりには檀家の人か講中の人かの下駄で一杯。本堂の中には是等の人々がピッシリ座つてゐて、自分の樣な小娘も今日を晴れと着飾つて親達と來て居ります、そしてお菓子を貰つたり、折詰の御馳走になつたりしてゐるのが見えます。自分は友達と遊びに來てゐて、此人達が羨ましく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て〳〵たまらず、茫然立つて眺めてゐました。ふとそばに一つ一錢の大きな大福餅を賣つてゐる店がありましたので欲くなつて、貰つた御小使で夫れを買ひ、袂の中に入れて歸へりました、母に着物をたゝんで貰ふ時これを發見られて大變に笑はれました。「こんな下品なものを買つて喰べたの？　そして袂なんかへ入れて。お父さんがお歸りになつたらお話するよ」といはれました。父は丁度松山へ行つて留守でした。父にそれを言はれるがいやでいやで、どうぞ云はないでくれ、とひたすら頼みましたが、後になつても時々其話が持出されては冷やかされたものでした。此邊の小供は皆斯樣に物を買つては袂の中へ入れて喰べるのを何時しか見習つてしまつたのです。

　家から一町ばかり隔つた處に私の仲好の二つ年上のかずさんの家がありました、判然覺えて居りませんが、田舎によくある雜貨商だつた樣です。此家の離家に正代さんといふ四十ばかりの年増がゐました。色の青い、細りとした、時々咳をするをばさんで、ものごしが此邊には珍らしい粋な人でした。今考へればそれ者の果だつたのでせう。身體が弱いので此家の離家借りて村の小供や若い者達に三味や踊の手ほどきをしてゐました。大抵近所の娘は此人に三味を習つてゐるので、自分も習ひたくて母に度々せがみましたが、まだ三味は早過ぎるからといふので踊を習ふ事になつて、毎日一丁ばかりの堤道を手拭と扇子を持つていろんな身振をしながら通つたのでした。建仁寺垣の枝折戸をくゞると、薄暗い八疊ばかりの座敷に、お師匠さんが三味線をかゝへて、あごで招いて、たなの達磨さんや、夕暮等敎へてくれました。

　それでもどうしても三味線が欲しくて、とう〳〵父が松山へ行つた時、おもちやにしては念の入つた小供持のを買つて貰つたので、あまりの嬉しさに早速お師匠さんに見せに行つて歸りには駈け出した爲めに轉倒んで柄を折つて仕舞ひました。

　日清戰爭が大勝利で終つて、村から出征した若者達も目出度凱旋する事になりました。其時正代さんの踊

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の弟子の小娘達は奇麗に化粧して、冠の代りに新しい辨當行李を紫の打紐で結ひつけ、桃色の揃の裝束をまとひ、萬歳の姿に扮しました。そして大きい人達は三味ではやし乍ら村境まで迎ひに行きました。自分も母に松山から持て來た白粉や紅で念入りに化粧して貰つてその仲に交りました時に、皆から大變可愛くなつたとほめられて小さな胸が誇りに滿ちた事も覺えてゐます。

父は前申した通り、炭山の調進をして居りまして、深山から炭を此里の炭倉までかついで來る人足に酒や米や其他日常品を供給して仕事の賃金から差し引いてやる事をしてをりました。それ故毎日山から種々な人間が降りて家へ參ります。大抵は眞黒な鬼をもひしぐ荒くれ男でしたが、往々何か罪を犯して世を逃れる爲に斯ふ云ふ職業に身をおとしてゐる者もありました。そう云ふ者の娘や家内も參りましたがその中には雪のやうな肌をした不思議な位の美人もをりました。此中持に嘉市といふ親爺がありまして色の黒い、反つ歯の、鼻汁をこするので何時も鼻の下が赤くなつてゐる汚らしい爺でしたが小供が好きでよく私に美麗な花やお菓子等持て來てくれました。爺が毎日家へ來ては臺處で柳行李の辨當を喰べてゐました。その中には眞黄な唐もろこしの御飯に、炭の粉で黒ずんだ澤庵の幾切かゞ這入つて居りました。夫れをさもおいしさうにたべてゐますので、どんなにおいしいのだらうとたべて見たく、時々傍へ行つてのぞき込んでは「爺やおいしいかい」とたづねました。餘り欲しさうなので爺が「孃さんお上りるなら上げませう」と云つてくれました。好奇心に滿ちてゐる私は夫れを喰べて見て思つたよりは甘くないのに失望しました。あとで嘉市が母に此事を話したものですから歸つてから「あの鼻垂しの嘉市のお辨當を喰べるとは隨分意地の汚ない兒だこと」と又さん〲に笑はれました。

私等は三年の後此山里から再び松山市へ歸る事になりました。道中を父は徒歩で母は妹を抱へて駕籠に、兄は馬に、私は嘉市に脊負つて貰つて行きました。嘉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

市は道すがらいろ〳〵な草花を折つてくれたり、面白い話をしてくれたりして私を飽かせませんでした。其時は汚ない爺といふ事は少しも念頭にありませんでした。處がある旅宿へ着いた時に嘉市は脚を何かで踏み拔いて艱んでゐる事が分りました。忠實な彼は之を深く秘してゐたのでした。どうしても松山まで送つて行くと云ひましたけれ共、何分遠い山道の事ではあり、大分苦しさうなので、無理に中途から歸しました。彼はとうに死んだ事でせうが、何となく好きな爺でした。

此寺村といふ處はこんな邊僻な山奥でありましたけれども、自然の恩惠は却てあつく、春は淸盛寺の釣鐘櫻、野山のうどやわらび取り、よもぎ、土筆は心のまゝ、秋になりますと、程近い小宮山に椎の實や栗を拾ひに行つたりする樂みがありました。もうそれから二た昔經つた今日も、あの村、あの時代がなつかしくて、時々繪卷物のやうに、その光景の幻を繰り擴げるとえも云はれぬ神秘的な心持になります。(をはり)

米國の婦人選擧權運動者より

昨年十一月來遊中の米人ハアデング氏は本社を訪問され、日本の婦人運動を米國に紹介し、色々參考になる雜誌、チラシ類を送ることにしようと約して歸へられたが、去三月十四日、米國ワシントン・タコマの婦人選擧權會長エンマ・スミス・デボー夫人より左の手紙が來ました。

親愛なる西川文子様

ガアドネル・エル・ハアデング君の要求に從ひ、此の手紙と共に婦人選擧權用チラシを同封御送り致します。若し尙ほ御用がありましたら、直接に命じ下さい。悅こんで致します。明年七月八九十の三日間桑港にてパナマ太平洋博覽會の開設を機として、米國婦人選擧權者の大會を開きます。私共は此の會は成丈け萬國的に致したいのですから、貴國の代表者の御出席も希望致します。

エンマ・スミス・デボー夫人

此の手紙と共に送て下さつた數種のチラシを讀んで見ると此の會の運動方法は、英國の婦人選擧運動者等の運動方法と頗ぶる其の面目を異にし、努めて大仕掛な廣告的な方法を避けて、靜かに溫和に根氣よく運動して其の效を納めんとするにあるらしい。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

狸

伊藤あさ子

恒子さま。

先達ては失禮致しました。あの後一度御伺ひしたいと思ひながら、道がわるかつたり、風を引いたりして、つひ御無沙汰致しました。でも、去る二日の月曜日に文子樣とあぐり樣と三人で高安先生を御訪ひ致しまして、私は一足先へおいとま致し、其途中、時間が無いので長く御談しを伺ふことは出來ない迄も、一寸でもよいから、御目にかかりたいと存じまして、御宅の門口へ參りまして、四五度ばかり御免下さいまし〳〵と申しましたが、お内からは何の御答へもありませんでした。格子戸の中には、彼岸櫻が、まだいましめを解かれないまゝで、淋しげに壁によりかゝつて居ました。さうして先生は御留守ですよ、いくら呼んだつて駄目ですよと、云つたやうな顔をして居るのです、で、私は、さうですか、それではまた參りませうと、口の中で云ひながら、御いとま致しました。それから二三日たつて、あのすがりやさんが私の宅へ來ましたから、此次の月曜には、恒子樣を御訪ねしませうねと、約束はしましたものゝ、又雨が降るかどうかで、失禮致しました。狸のすきな方だなんて、厭やな方だと、初めには思つて居りましたが、(正直に告白致しますから、おおこり遊ばさないで頂戴)、度々御目にかゝつて見ます

伊藤あさ子氏

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と、厭やなどころでは無く、段々とすきになつて來ました。私がこんなことをすがりやさんに話しますと、『おやさう、尾崎さんも、伊藤さんがすき、私はあんな質の人がすきですよ、と云はれましたよ』と云ふのですもの、まあ私は本當に嬉しう御座いました。恒子さま、私達二人は、あのすがりやさんの媒介で、戀が成り立つたやうな譯ですね。これから中よく樂しい私達獨特なホームを作らうではありませんか。

恒子さま。

私はあなたのおすきな狸に因んだものを、何か差上げたいと思つて居ましたが、どうもこれと云ふものが、見つかりませんでした。處が、私は一昨夜丁度いゝものを見付けました。私の家はいつかも申し上げたやうに、畑の中の一軒家で、二戸續きの長家です。裏の川に添うて、薄暗い雜木林があります。闇の夜など全く狸が出さうな處です。一昨夜主人は或る會合へ出て留守でした。折柄お隣りの二人の書生さんが、奥さん私達はこれから戸を締めて。出掛けますから、留守を御賴みします、今に狸が出てあなたに嚙みつきますよと云ひすてゝ、すた〳〵と行かれました。意地の惡いことを云ふ人達だと思つて居ましたが、そんなことを云はれて見ると、何だかこわいものが出さうなやうな心地がしてなりませんから、まだ七時を過ぎたばかりなのに、周圍の雨戸を締めて仕舞ひました。かうして置けば大丈夫と思つて、それからお夕飯を頂き、しばらく讀書を致して居りましたが、何だか眠むくなつて來ましたから、炬燵に横になりますと、いつの間にかうとうとと致しました。すると恒子さま、本當に狸が出て來たのですよ。全身こげ茶色で、まんまるに太つて居て、耳と口とが際だつて尖つて居ました。それが私を見て、いきなり飛びかゝつて來たのです。私はあちらこちらと逃げ廻つて、戸棚の中へ這入つても、押入れの隅へ屈んでも、狸は必ず見付け出しては、こはい目をして、私をねめ付けて居るのです。私は絶對絶命、手に持つて居た二尺ばかりの竹片で、狸の頭をぴしやぴしやと打てやりましたが、それが狸にはちつともこ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たへない様子で、何處までも平氣な顔をして居るのです。さうして狸の方では、一尺五寸ばかりの刀を二本持つて、ともすれば私に切つてかゝるのです。私はもう困りきつて、どうしてもこちらから此狸を征服してやらなくてはならないと、決心致しました。すると不思議にも、必ず征服することが出來ると云ふ自信が起きて來ました。さうだ私にも武器がある、戀愛と云ふ武器を持つて居る、此武器ならば必ず征服することが出來ると思ひました。で、持つて居た竹片を投げすて、いきなり狸の手を取りて、につこり笑ひました。すると、狸はさも嬉しげににこ／＼と笑つて居るのです。さうして、今迄狸であつたのが、何時の間にか人間に變つて居るのです、よく／＼見ると、それが、夫の伊藤でした。折柄玄關の雨戸の開く音が致しましたから、飛び起きて見ますと、夫が歸つて來られたのでした。私が夫の顔を見てくす／＼と笑つて居ますと、何がそんなにをかしいのだと聞かれますから、今見た夢を話しましたら、それは面白い、『新眞婦人』にでも書いたらどうだ、と云はれますから、それではこれを雜誌に書いて、狸のすきな恒子さまに差上げませう、と申しました。この次の月曜には、是非お伺ひ致します。さようなら。

ゴムの鼻と千代結びの鬘

小口みち子

小石川白山下から三田行きの電車の中で、ゴムで造つた鼻と、千代結びの鬘とを、観破したのは恐らく私一人であつたであらう。

乗合せた人はボギー車に満員の人數だつた。けれども皆それ／＼思ふ事が異つて居るのと、安泰な様子をして目はボカリと明いて居ても空虚を見つめて居るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

でどんな物があつてもそれを發見する能力を缺いで居る私のやうに一種異つた人種とは、てんで畑が違ふのだから仕樣がない。

一體私と云ふ人間の而も此四五年間は、餘程どうかして居ると見える。

電車に乘つたり劇場へ行たり、兎角人ごみの中へ行くと、大勢の人達ちの身なりや髮かたち、口のき丶方、表情のあんばい等が氣になつて〳〵仕樣がない。

殊に技巧一つで生きて居るやうな年若い又は中年の女を見ると、私の病と癖とは最早「つ丶しみの」堤を突き破つて、つい何處で何を云ひ出すやら又仕出すやら、先づ一種の氣狂と見て置いたら間違はないであらふ。

かう云つたやうな氣狂の私が、ある一日電車の中で、ゴムで造つた鼻を顏の眞中に安置させて取り澄して居る四十女と、お召とちりめんと羽二重にくるまつて、金とプラチナとダイヤと眞珠を、五體の各所にちりばめて、思ひ驕つた孔雀のやうな三十女の、頭に頂いた千代結びの鬘を發見した時の其私の過度の驚愕はまあどんな物であつたでせう。

其夜私はおち〳〵眠る事が出來なかつた。

小口みち子

萌黄色の風呂敷包みを持つて、身體を眞直ぐに顏を正面向けて、黄がかつた色の立縞の着物に同じ物の羽織、銀鼠の中古の半襟、總髮の銀杏返し、ギヨロリとしたいやな目つき、妾と旦那の間を廿日鼠のやうに往來して、或時は猫のやうになつたり、又或る時は狼のやうになつたりして、淺草へ行て安天麩羅を喰べ、三友館の活動寫眞を見ことが大方此人の日課であらうか。

そしてあのゴムの鼻の來歴は………。

餓えた時には烏許りに限らない、可愛らしい小鳥でも、毛虫や芋虫や尺取虫を必ずたべないとは請合はれないから。

存外あのゴムの鼻にも勿體ないやうな物語りがないとはどうして請合ふ事が出來やう。

あゝしてたゞ驚いて見て別れて終つたことを名殘り惜しく思ふやうになつた時、時計は二時をうつた。

千代結びの髷に至ては私はもう考える事が出來ぬ。あれはたしか貴婦人の一人であつたであらう。

柄と、服裝と、頭とは、各々別種の人であつて、人間の鵺と云ふのが大方あんなであらう。（大正三、三、一四）

戀愛の經驗

西川文

西川文子

はしがき

私は新年號に、ざつとした深く立ち入らない思ひ出の一節を書きました、處が三四人の舊友から大變おもしろかつたから、引つゞき書く樣にと云つて來て下さいました。さなくとも、私は自ら自己の過去を内省する爲めに、追懷する爲めに、自己の樂しみとしても書いて見たいのであるから、ソレが少しでも他人の參考となるならば、たとへ恥かしい事でも忍んでかいて見たいと思ひ、曾てルソーの自傳を讀んだ時にも其の大膽な告白に對して尊敬の念こそ起れ、決して侮蔑する氣は起らなかつた如く、凡そ僞らざるものに對しては、人は敬虔の情を起さずには居られぬのであるから、構はずに書かうと自から勵ました、けれども又大偉人であるとか、大文豪であるとか云ふならば、あんな人にでもソンな事があつたか、それでは私もと云ふ奮發心を起させる導火線にもなるであらうが、さもない人が自白した處で、何んの效もない、のみならずやはりつまらない人だからつまらないのだといふ事になつて、徒らに恥のかき損になつて了ふ。して見るとそれよりは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

反對に手柄話でもした方がましかも知れぬとも考へるので躊躇した。併しながらモ一とつ深く考へて見ると、内的經驗と云ふものは個人的で、その人々銘々の實驗にまたなければならぬ丈け尊い。忘想や空想や想像の立派な手柄話よりどれ丈け徹底的で、後學の爲めになるかも知れないと思はれる。ソコで私は今後の男女殊に若い〳〵夢を見つづけて居る娘さんや、そうした娘を見守つて行かうとする人達への參考に、戀愛思想の經驗について書いて見ようと思ふのである。

戀愛の經驗

戀愛の經驗をかくと云つても、私は甘たるいものを描いて、喜ばうと云ふのではない。こんな事は誰れにもある、私の樣な粹でない男見たいなものでさへ、かうしたものだから、戀は猫も杓子もする事で、珍らしくも尊くもないが又それ丈け誤りも多くあるものだから、注意しなければならぬ。若い時にはたゞ戀を唯一の矜りとせずモット〳〵勉めなければならぬ事があると考へて貰ひたい。老いたる人々には一筋に爪はぢきすべきものとし、ソット臭いものに蓋する樣にしておかないで、性の教育、情の教育に心を用ひてほしいと思ふ。私は幸にして都合よく行つたからよい樣なものの、最初に一歩をあやまればそれこそ取返しのつかぬ淵に沈んで行つて仕舞つて居たことであらう。

私は元來自由戀愛とか自由結婚とか云ふものはいやなもので床しくもおもしろくも樂しくもない、趣味のないあつけないものに違ひない、舊式結婚によつて、見た事もない男女の寄る方が、人間生來の好奇心から云つても所を得たものである、又まだ異性を知らない男女が初めて逢つて、仲の惡くなり樣がない、結婚の其の日から日に〳〵親密を加へて行くものだと、單純に信じて居た。丁度近頃エレンケイの戀愛道徳を非難された先輩の御意見と同じ樣な事を考へて居た。思想はそんなに明白に戀愛を非難して居たにも拘はらず、戀愛感情はいろ〳〵さま〴〵の形で幼い時から私の心中に動いて居た。

稚い時に同じ遊び友達の中でも好きな人と嫌ひな人とあつたのが既にその芽しだと思ふ、けれどもそれ等

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は省略いて、高等小學の二年になつた(十一歳)時、新たに赴任して來た先生が初めて授業を參觀に來られたのを、一寸見た時、私は特別に好きな人の樣に感じた、いよ〳〵受持敎授となられた時、好きな先生に拙づいのを見られるのは無上に耻かしくてならなかつた爲めに、私はそれから打つて變つて學科がよく出來る樣になつたのを記憶して居る、先生は師範を出たばかりの人であつたらうから、今から思ふとまだ若かつたにちがひない當時小供であつた私は一端年とつた人の樣に思つたけれど。其の中に先生が結婚されたとか、妻君は八千代といふ名だとか、二人仲よささうに居られたとか云ふ評判がした、私は其の妻君ほど幸福な人はないと思つたこと、惜い樣にも思つたのを今でもおぼろに記憶して居る。其頃町で釋迦一代記のお繪解のあつたのを、二三の友達と見に行つた、すると奇麗な人が可愛子を抱いて見て居た。その子には桃色の肩掛まで一しよになつた帽をかぶせてあつた、私は桃坊主々々と笑談云つてついて歩いて居た事も覺えて居る。こんな些細な事でさへ未だに深い印象を殘して居る。戀ほど深いものはない、戀ほど人を征服するものはない。又これ位平凡な誰れにもあるものはない、我れ獨りが知れるものと矜りにすべきではない。自己が尊嚴に思ふ程人は他人の戀に敬意を拂ふものではない、私はこれを紀念として、いよ〳〵戀に別れやうと思ふ。

女學校では『近々さん』と云ふ語が流行した。當時は同性愛とは云はなかつた、無論意識しても居ない、その『近々さん』なるものが同級生とか、誰れに遠慮のない交際なれば公明正大であるが、上級生と下級生とが、一寸見た丈けで『あの人好き』『あの人嫌ひ』と云ふ交情は今よく云ふ同性愛の戀愛思想に支配されて居たもので、たま〳〵其の人々が廊下で行違ふ事があると『おめでたう〳〵』と人も云ひ其の人々も顔を眞赤にする、人に見られ相な場合にはわざと逢ふのをさけたりする、やがてはモー互に物を云つたり交際したり出來なくなつてそのまゝ遠ざかつて了ふのもあれば、一層大膽に姉妹の樣に一緒にばかり居る樣になる者も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あつた。感情に富んで居る私は可成り好き嫌ひが多くあつた方で、さうした友人も多く持つて居た、私はモーかう云ふ特殊な愛憎の情も去らねばならぬ。

先生に對しても『あの先生好き〳〵』と云ふ言葉が流行つて、私も同性の先生で好きで〳〵ならぬ先生があつた、私は優しい美しい女の先生が好きで、其の先生に成丈け多く逢ひたい爲めに、其の先生の當直の日にわざ〳〵外出した、(外出する出入の時に印を押して頂けるから)又似せ病になつて見舞に來て頂いたり、夜など其の先生の當直で廻つて來られる夜はその足音を聞く爲めにおそくまで、寢ないで耳をすまして居たり、わざ〳〵便所にいつて行き逢ふのが嬉しかつた、姉さんやお母さんの樣に甘えて見たいと思つても、耻かしくて親しめない隔りがあつた、これもまさしく戀の變形だつたと思はれる。戀に對する時ほど淸い美くしい情のあらわれはない。心の働きから云つても、顔のかゞやきから云つても、戀のない人ほど荒んであわれな無情なものはない。私の戀と云ふのは、あながち異性に對してのみではない、生れて母を戀ひ父を慕ひ、少年時代には友人に、先輩に師に形をかへ所を異にして、如何なる時にも戀なくしては人は生きて居られない。誰れにも追懷し解剖して見ればこんな經驗は數限りなくあらうと思ふ。私は私自身の經驗から戀とか性慾とか云ふものは年頃にならなければないと思ふのは大變な間違である。幼い時からあるものだからそれを善く導く爲めに性の研究、情の敎育の必要を切に認めて居る。戀は尊いもの戀なくして人生は居られぬものであるが、暗やみに〳〵と導いて行くくらい影のある戀はさけねばならぬ、明るいかゞやいた矜り得るものでなくしては幸福にはなれない。

たゞに人に對してのみではない、藝術に憧憬れ理想を慕ひ主義を思ふのは、より高くより淸くより深い戀であらう。

(これは學校時代の戀愛思想の變形をかいた丈けです)

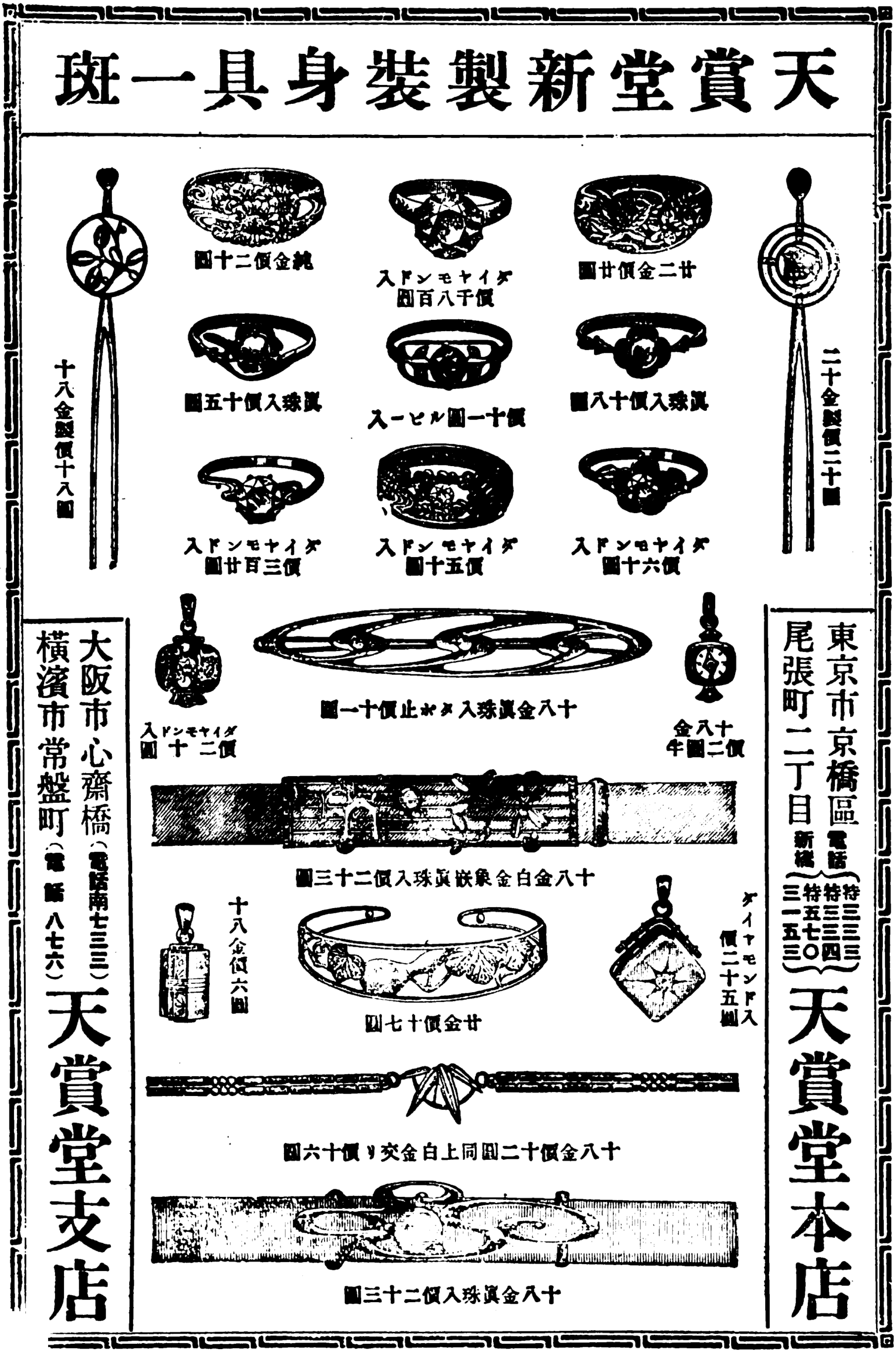
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母に別れた時

近藤なほ子

子供ににくきはないと云つても、人並に足らぬ者をあはれみて特別の愛を注ぐは親の情とやら、我母は多い子供の内、不容色なる私を一番に愛されたように思はれた、今は早十年の昔、私が始めて母につれられて小學に上つて二年目である、母はかりそめの病が不治の病となつて了つた。私は學校から歸るといつも母の枕邊で習つて來た事を語るのであつた、或日例の如くにお話しした後で「母さん母さんの病氣は治らないのですつて、今日さとちやんが言つてよ、だけどね母さん母さんにだけお話ししたんですから父さんに言つてはいけませんよ、又お心配なさるから」、此の時母は目をつぶつたまゝ何とも仰有らなかつた、常には私がお話すると樂しさうであつたのが、今日は樣子が違ふので、私が云つた事が惡るかつたのだなと氣が付くと何となく居難くなつて、音のしないようにそつと立ちのいて了つた。其の後で母は如何に泣かれた事であらうと、今に成つて母の心中を惟うては泣くのである。翌日學校から歸つて來ると二人の姉が母の許に居らしつて、常よりも何となく室が淋しく思はれた、私は恐る〳〵行くと、「あちらに居らつしやいと云はれるまゝに引返さうとすると、母がお呼びになつて、母さんはもう死んで了ひますよ……お前等はどうする、姉等は泣かれた、母の眼からあふれた淚は枕を濕ほした、私は心細く悲しい心の中で「私は幾才姉は又妹は幾つにして母なき子になるのだ、等考へて居た、それから一月ばかり、私と妹は母の生家にやられて居たが、或夜私は迎ひに來た者に負はれて歸つた、母の床を圍んで皆が泣いて居た、從姉が私の來た事を何度も告げられた、されど母の唇は動かなかつた、私は從姉の言葉を聞くと、私を愛して下すつた母はきつと私の事を何か仰有たのだらうと思つて、悲しくなつて泣き出したので、そばの者も皆貰ひ泣きした。葬儀が過ぎて淋しい部屋で姉が「お前がたは何故生れた、お前がたの爲めに母は何んなに御心配なすつたか……あゝ大切にしてと賴まれたのだつた、おゝよく生れたいゝ子早く大きくなつて母さんに御安心をさせるのだよ」つてつむりをなでて仰有つた。私の眼をあふれる淚をおさへつゝ姉も共に泣かるゝのであつた。一月前に考へた通り私は九つにして母亡き子となつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

コルク火鉢

足觸りが柔かで履き心地が最もよい
◎◎◎◎◎
藏前 コルク草履
は斬新で最も氣の利いたものであります實用向にはかようなものを

選擇せられよ！

▲彈力性コルク草履に就て

岡田醫學博士曰く履物としての衞生的なるものゝ**コルク**草履の如き彈力性に富んだものがよい殊に腦の惡い人や病後の步行等には最も適切である。猶公衆衞生から見て街道步行より危險なる病菌を履物の裏に含ませて屋内に搬入する恐があるが**コルク**草履は其恐がない、▲コルク草履は足觸が柔かで頗る履心地がよい、そして彈力性に富んで居るから他の履物に比べて足が疲れない、只今東京では大流行である。

▲コルク製品

下駄、火鉢、シガレットケース、花盛器、筆立、スタンプ臺其他種々あり

特約販賣御希望の方は 御申込み次第詳細御回答可仕候

■コルク草履定價

男物大形パナマ表付九十錢　女物同八十錢

小供物卅五錢より六十五錢迄　外に鼻緒十錢より五十錢まで御好に應ず。

東京市淺草區藏前南元町十二

電話下谷二一一九七番

山元屋

◎近來粗惡なる類似品を製作販賣するもの有之候間よく〳〵共盛社に御注意あれ

最近新式

陶玉萬年筆
人造水晶筆

定價

	壹本	壹打
特別箱入甲號	金貳拾錢	金貳圓
特別箱入乙號	金拾錢	金壹圓
普通	金五錢	金五拾錢

一抑も此筆は理學的最新發明品にして學理の應用實地研究の結果製造したる便利と經濟とを兼備する新發明品なり

一此筆は和洋紙を問はず簿記又は細字圖引等には使用輕便自由自在にして從來使用し來れる(ペン)先烏口等の遠く及ばざる所なり

一此筆は使用後洗滌容易なるが故に壹本の筆にて諸色(インキ)墨等を取換使用し得る便利を有す

一此筆は金屬質と異なり如何なる(インキ)墨を用ゆるとも筆先の腐蝕及磨滅する恐更になし以上の特色を有するが故に發賣以來非常の好評を博しつゝあり江湖の諸君是非御試用御用命賜はらん事を

發賣元

東京市淺草區駒形町四十三番地

合資會社 **共盛社營業部**

電話下谷六千十九番

振替口座東京七二四三番

◎取次販賣又は行商望の方は本社又は特約販賣店に申込あれ

◎本社へ照會は(往復はがき)に限る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眞正なる婦人の生活を求めよ

女子文壇

一冊 十五錢 郵税一錢五厘 ◀四月號▶ 一ヶ年分 一圓七十四錢

◎過去の夢と未來の日……今井國三

■階上の書齋より……水野葉舟

■萬物と共に踊る(詩)……高橋光太郎

△藝術座の分離(時評)……藤安行男

△海(小說)……福士幸二郎

▶◀結婚と性と愛と(一)

文學士 下田次郎

女子大學校長 成瀨仁藏

慶應義塾教授 向軍次

△花時計……すみれ

△新譯源氏を評す……日向きむ

■歌……原田琴子 若山きし子

■求める力なきものは何物をも與へられず(問と答)……記者

■婦人讀書室……記者

◎少女の知らねばならぬ事……千清太郎

東京丸の內

婦人文藝社

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

純正の主義と最も新らしき思想

世界之日本

毎月一回一日發行 ▷四月號◁ 定價一部金十錢

■新時代の要求する政治家……社説
■これでも立憲國か……貴族院議員 仲小路廉
■輿論と政黨……村島歸之
■信用機關の不備……猪川耐
■『人形の家』と山本内閣……立憲青年黨幹事 長橋重兵衛
■歐洲と日本の政黨……代議士 齋藤隆夫
■朝鮮統治の弊を論ず……靜山生
■長谷場純孝氏を憶ふ……社長 橋本徹馬
■次に來るべき御即位内閣……伯爵 大木遠吉
□世界の大勢□
■英雄とは何ぞや(青年奮闘論其三)……立憲青年黨幹事長 橋本徹馬
□社會日誌□
■シーメンス事件と國際關係……元海軍主計大監 片桐酉次郎
■福島事件の回顧……愛澤寧堅
■早稲田擬國會の記……野入倪堂
■東京大正博覽會記……一記者
■噫賄賂國……代議士 菊池武德
■今の新しい女はだめ……下田歌子
■啄木歌集を讀む……山地白雨
■政治の傷痕……(歌)……人形と我子……(歌)
■擧國一致此幽靈を退治せよ……伯爵 大隈重信

東京市神田區仲猿樂町十七 世界之日本社 振替東京二六八六 電話本局五二一四

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内田魯庵先生新著

沈默の饒舌

（『大正文庫』第十二編）

三六判美本
定價八拾錢
郵稅八錢

維摩の一默その聲雷の如しといふ今や日本文壇の老維摩内田魯庵先生が沈默の境中に一大獅子吼を試み婦人を濟ひ文士を度し靈肉の調和を說き生活の難易を敎ふその言の懇切なるその論の穩健なる誠に人間處世の好南針たりこれを目して饒舌となしこれを評して咄哉と云はむは蓋し未だ方丈の妙諦に參する能はざるもの

『大正文庫』十二册にてこれ全部完成す 書目進呈

東京小石川原町六 振東京一五六八六 丙午出版社
東京小石川原町六 振替東京一三五三 鷄聲堂

創刊四月號

反響

定價 拾五錢
郵税 壹錢

○評論……阿部次郎
○評論……小宮豐隆
○評論……安部能成
○評論……和辻哲郎
○評論……江部鴨村
○教界時評……安藤枯山
○新刊批評の意義……生田長江
○三月の雜誌……生田長江
○論評……岡田耕三
○監獄記事……奥英一
○評論……堺枯川
○森田生田兩氏へ……伊藤證信
○評論……沼波瓊音
○小説一篇……鈴木三重吉

○永久の良人（ドストイフスキー）……中村古峡
○日記の一節……岩野泡鳴
○婚禮の詩……生田春月
○おもひで……植竹新月
○鳥の瞳の歌……藤井黎白
○闘鷄……大谷照耀
○小説一篇……佐藤春夫
○小説一篇……大平野虹
○小説一篇……萬造寺齊
○『サニン』『イフィゲニイ』其他……森田草平
○小説一篇……森田草平
○漱石氏の『社會と自分』……德田秋江
○題未定……夏目漱石

序 夏目漱石氏 森鷗外氏 小宮豐隆氏

森田草平氏

縮刷

煤煙

四卷合本

新式大形袖珍本
全六號活字組
定價八十錢
郵税八錢

盛春第一の好讀物

内容に於て、草平先生が代表作
價格に於て、從來の四分の一の廉價
装幀に於て、可憐に美しき册子

編輯所 反響社
東京市本郷區西須賀町二番地

發行所 植竹書院
振替一二九五三 電話下谷三四一九
東京神田佐久間町四ノ廿三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本一の歌舞音樂雜誌

遊藝畫報

□當世常盤津大見立…………杵屋六左衛門
□勸進帳の呼吸と苦心…………杵屋六左衛門
□各音樂會の內幕…………劍馬道人
□娘道成寺の唄ひ方踊方…………川田杵男
□花と女と問題の人々…………みどりの舍
□義太夫界無駄話…………珍竹樓人
□樓と淨瑠璃と芝居…………次郞冠者
□少女我家へ火を放つ…………記者
□晉聲は三味線である…………鶴亭子
□江戶淨瑠璃のはなし…………龍居文學士
□よし町藝妓總まくり…………右の字
□女水滸傳…………吉丁字
□呪はれた東京の女…………忍外史
□小說白つばき…………井上枯窓

第四卷三月號

大懸賞當物あり

□長唄の仕込み方…………杵屋榮蔵
□滑稽千里眼…………紅々子
□吾妻市之丞と木村操…………棧敷の人
□豫猿しい女…………春星里人
□花と競ふ新橋の音丸…………須原里村
□博覽會と遊藝…………記者
□古今心中史…………島田弔雨
□女優玉乘り〳〵…………ゴロ〳〵樣
□講談竹本讀太夫…………桃川如燕
□あはれ剛安喜三郞…………木午生
□遊藝と各座狂言…………記者
▽讀者文藝……ハガキ……遊藝問答

毎月一回一日發行）一部十七錢（郵稅一錢五厘）

東京市日本橋區濱町二 遊藝畫報社

▲本號の讀物 は上記の通り頗る面白い趣味あるものばかりで御座います遊藝畫報は日本にタッターツしかない歌舞音樂界のキカン雜誌でありますから唄や三味線や踊りを習つておいでの方は是非共讀んで頂き度いと存じます本誌を一讀される方は

▲忽ち大通人 になれます本誌は專門家にも向き又ドナタがお讀みになつても面白い記事が澤山にのつて居ます

▲寫眞 は數十葉美しいキバッなものばかりお俊ひ演奏會、花柳家元の新舞臺ぼんたの舞ひ振り、 吉藏の都々逸振り女優の玉乘り美しい藝妓の踊り姿等

大福袋

江湖諸氏御引立に酬ゆるため今回新たに月極の講讀者諸氏を本社內歌舞音樂協會會員として優待し大割引の本誌前金

一、半ケ年分　金九十錢（郵稅共）

一、壹ケ年分　金一圓七十錢（同　上）

を御拂込みと同時に發展記念の大福袋を進呈すその中には美顏料ホーカー液（一壜廿五錢）カシミヤ香水（三十五錢）ケーパ石鹼（四十錢）モデル齒みがき（大袋十五錢）金鳥香水などが入つて居ります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實驗證明（田中博士▽荒井學士▽田村學士／小林學士▽高橋學士▽井上學士）

化粧品中斯く多數の
醫學者より證明を得し品なし
之れしんばし花月洗粉が
學術的衞生的にして
他品と異る特長ある證據なり
しんばし花月洗粉を使用せざる人は
美を欲せざる人なり

東京市京橋區宗十郎町十番地
花月堂化粧品部
電話二七五四振替東京二〇六〇五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ツ當り

八方醜婦

此春先、木の芽立頃、氣候のせいにや、私は少々頭がのぼせて、何事も朦朧としてハッキリよく解らなくて困つて居りますが、二月十五日發行の「婦人評論」に出て居りました、峰岸孝作とか申す方の、「職業的婦人」と申す一文の如き特に其感じが致します、初めはバーナード、ショウなどの言を引いて、之れに賛成されるかと思ふと、中頃になると大に之れに不賛成を表せらるゝ樣にも聞え、又おしまいには家庭生活でもよし、社會生活でもよし、自己生活でもよしと、云つた樣な、捕へ所のないことも云つて居らるゝ、何が何やら、サッパリ判らない事、夥しいのであります、思ふに甚だ失禮ながら同氏も私と同じ樣に、氣候のせいで、少々頭りがのぼせて朦朧として居らるゝのではありますまいか、尤も其贊成な所は、私共と同意見と思はれますから、別に何にも申す必要がないとして、其不贊成と見る所の同氏の意見を少しく調べて見たいと思ひます。

●第一、同氏は「職業的婦人とは家婦たる事を拒む婦人であります」と云はれて居ります、果して然らば早い話が夫婦共稼をなする婦人は職業的婦人ではないのでせうか、そんな狹まい意味に此術語を解釋する人は、恐らく峰岸氏一人位のものではないでせうか、從つて其結論が途方もない事になるのも無理はありませぬ、未婚と既婚とを問はず、又其動機の如何に關せず、總て家庭的仕事の外に、如何なる職業にも、從事して居る婦人は總て職業的婦人として考へられたらば、餘程御說も違ふ事であらうと思ひます。

●第二、同氏は今日、職業的婦人の起る動機を單に舊來の因襲に反抗せんとして起るものの樣に說いて居られます、果して然らば夫婦共稼の動機は何と說明さるゝのでせうか又昔は婦人は專ら家庭内に在つて、手足の勞働に從事し居りましたが、文明進步、世情變化に連れて、舊來多く家庭内の仕事たりし事が今は殆んど家庭外に去り、婦人も亦た其跡を追うて家庭外に行かざるを得ざる時勢となり、昔は婦人は專ら手足の勞働にのみ從事せしも、今は世の變化と共に手足の勞働が變じて、智的の勞働と化し、婦人も亦た其智的の勞働に服せざるを得ざる時代となり、且つ近世の物質的文明が婦人をして家庭内に於ける其勞働の時間及び能力に不尠餘裕を生ぜしめし爲め、其時間及び能力を近世の變化に順應せしむる樣活動せしめざれば、終に是等の婦人をして、單に寄生的生涯を送らしめ、個人としては其墮落を招き、社會としては其衰亡の源因となりますが故に、かゝる家庭内に貴重なる時間と能力を空費せしめざる樣、大に婦人の職業を叫ぶものは、何れも皆決して反抗的運動に其動機を發したるものではありま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せぬ、成程澤山の職業的婦人の内には反抗的動機から起ちし人もありませう、しかし更らにそれよりも多きは、私の今述べた善良有益なる動機から思立ちました婦人であらうと思ひます、何れに致せ第一に於て同氏の解釋の狹きな非難せし如く第二に於ても同氏の眼界の狹きを指摘したいのであります。

●●第三、同氏は「女が、因襲や義務といふ籠の中にゐた鳥のやうに思つて何でも彼でも籠さへ出れば、自由が得られる如く考へてゐるのな、あまりに幼稚な空想だと思ふのでありますと、云うて居られますが、今日の職業に志ざす婦人を誰でも彼でもそんな幼稚な空想ばかり抱いて居るものの樣に考へて居らるゝ峰岸氏の空想の幼稚なるには驚かざるを得ないのであります、そんな幼稚な空想をお抱きなされながら、今日駸々として進歩しつつある私共婦人の心裡を洞察して之れに勝手な解釋を下さんとせらるゝ同氏の大膽に呆れざるを得ないのであります、日比谷に國民大會があつたとして、それは單に暴民の寄合である、二三策士に煽動された愚民の集りであると一笑に附して國民思想の變化進歩の潮流が其底に流れ居るに氣付ざる爲政者と何等異る所がない樣な人だと私は正直に同氏の事を思ひます、同氏は「因襲を以つて一槪に人間を囚へる惡窟の如く心得て終ふ雷同者連に於ておやでありま す、その輕佻もまた甚しいではありませぬか」と云うて居られますが、私共もそれ位な事は承知してをります、何も同氏より殊更にそんな御講釋を承るまでもない事でありさす。

●●第四、同氏は又婦人の從順とか溫雅とか云ふ德は、依然として女らしい性質として其保存を勸められて居らるゝ樣にも同氏の文は解釋されますが、此上今日の進歩變化しつゝある社會の婦人に、從順だとか溫雅とかを敎へて、どうなさるのでせう、之れは一層の事、餘り御上品ならざる御同性の男子方にお勸めなしては如何です、而して私共婦人に對しては、今日の時勢に處する爲めモット活潑になれ、進歩せよ、積極的になれと申された方が、よくはありますまいか。

●●第五、「因襲を飽くまで惡德な性質を帶びた籠の如く思ひ做し、その籠の外に自由がぶら下つてゐる如く考へるのは、眞に幼稚な空想であります」、と、峰岸氏は申されて居ります、が、さうしたら、どうしたら同氏は滿足せらるゝのでせうか、因襲を籠と假りに想像したとして、其想像がナゼ惡いのでせう、因襲の籠の裡に私共が望む自由があると思ひなさるのでせうか、それとも因襲の籠以外に自由はないのでせうか、その籠以外にその自由が同氏が嘲けり云はるゝ如く「ぶら下つて」ゐるか、飛んでゐるか、跳ねてゐるか、その存在の狀態は如何なるにしても、兎に角、因襲以外に自由が存在してゐると考へるのが、何んで幼稚な空想でありますか、而して私共の日夜に望んで居ます「自由が得られたところで、どれだけの價値があるでありませうか」、と、同氏はけなして居られますが、同氏は自由の何物たるを知らぬ方でありませうか、果して然らば只々呆れかへるの外ありませぬ、そんな淺薄なる智識と心持で今日の職業的婦人を評せんと欲せ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らるゝは思はざるの甚しきものであります、英國民の歴史は此自由を獲得せんとせし努力の歴史であります、米國の獨立、その奴隷廢止の二大戰後は、是れ亦た自由の戰であります、我國維新の業、明治民權の歴史は皆自由の思想の發現に外ならぬのであります、而して是等の事業の爲めに身命を賭して働きし少壯者は何れも皆「幼稚なる空想家」でありました、而かも是等の幼稚なる空想家が身命を賭して其獲得發展に竭くし吳れました爲めに今日の世人は無限の恩澤に浴して居るのではありませぬか、昔妻を娶らず一家をなさずして只だ天國は近かづけり」、と、恰かも天國を眼前に彷彿したる確信を以つて絕叫止まず、終に十字架上に磔殺せらるゝも厭はずして其所信を貫かんとせし耶蘇は確かに幼稚なる空想家でありました、而かし爾來の歐米人が其道德を維持し、又貧しき者、苦しめる者、失敗せる者等が無窮の慰藉を彼れに發見したる事は誰も否む者はないのであります、之れに反して身一國の王家に生れ、妻を娶り子を生み、珍寶四方を圍繞して、人世の樂しみ家庭の幸福に於て、何等其不足を感じませなんだ王子も一たび人生のあぢきなきを深く感じまするや、決然として妻子珍寶及び王位を捨てゝ山中にかくれ以て勤行沈思多年の間人生の秘義を探ぐり、終に之れを得たりと信じまするや、再び世俗の間に交はりて、之れを宣傳せし釋迦は實に幼稚なる空想家でありました、而かも此幼稚なる空想家の敎によりまして、過去數千年間亞細亞十億の民衆の道德は維持せられ、其慰藉は與へられましたのであります、其他天下の志士と稱し改革者を以つて任じたる數多の先覺者は何れも皆其當時の人々よりは幼稚なる空想家と擯斥せられ、或は迫害せられ或は終に燒殺さるゝ迄に至りましたが世評の如何に關らす人道の先鋒は今日迄思想の自由の戰に於て着々偉大なる勝利を得又得つゝあるのであります。

要之　私は失禮ながら峯岸氏に、今一層の御研究と、更らに廣く且つ深き御思索の上、職業的婦人に關する御意見を發表せられん事を切望するのであります。

此批評は案外長くなりました、其理由二つあります、その一つは「婦人評論」は黑岩氏御主宰の下に成る我國第一流の婦人雜誌の一つであります、而して其目的とせらるゝ所ろは、私共も大同小異と信んじて居ります殊に峰岸氏の文は殆んど其社說とも見る可き所に掲載されてあります、之れに對し其批評稍々精細に渉りましたのは、同評論及び黑岩氏に對する當然の禮儀と思ひます、又二つには三越や白木屋で、何か新規の肩掛でも賣始めますと、奧方もお神さんも、お姬樣も娘さんも。猫も杓子も、之れを買ひ之れを卷いて得々とし、之れを掛けざる者は餘程時勢後れの者の樣に見下げモット見こみのある、上品なるものを纏ふ事を心掛ざる、一種浮つぺらな、上つ調子な氣風が私共婦人間の一部にあります如く、我國に一兩年前より婦人論が盛んになり始めま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

してから、誰れか「ノラ」や「マグダ」やらな婦人問題と關聯して其批評に上ぼす樣になりますと是等な批評する事が、婦人論で、其外には婦人論のないものの樣に心得、あちらでも「ノラ」こちらでも「マグダ」と、薄つぺらな、上つ調子な、齒の浮く樣な議論のみなして、得意がつて居られる方々のあるのを見て、此方々にモツト根本的に婦人問題を研究して、深く私共婦人の心裡を察して頂きたいと思つて居りました矢先、峯岸氏の文を見まして、ツイ平素の不平やら希望やらが一時に突發した譯で、同氏に對しては少々御氣の毒を致しました、それに、勝手氣儘の書流し振りは嘸かし同氏の御氣にも障りましたらうが、之れは「八ツ當り」の初號にも斷つて置きました通り、治外法權は此欄の持前で、少々惡口を申した所ろが、私は顏こそ醜婦でありますが、心は案外正直淡泊の者であります、決して氣に掛けて下さらぬ樣御願も致しますし、又そんな事なトント氣にしない雅量のある男子方をノロ氣ではありませぬが、私は好くのであります。

右書終りました處へ三月一日發行の「婦人評論」が參りましたが、これは又案外で、湯原元一氏の「結婚と女子職業教育」、谷紀三郞氏の「若き女の行く道」の二文の如き、全く私共と同意見で峯岸氏の文とは殆んど正反對とも見る可きもので、誠に愉快に耐へませぬ、前者は專ら生活難の點から婦人の職業教育を鼓吹し、後者は婦人の技能發展の爲めに大に之れを文藝の方に用ひんことを勸められたものです、前者は「位牌に貞操だてするのは女の道であらうが位牌は妻子の口を糊してはくれない」などの警句を以つて滿ちて居ります、此一文を一讀しても「職業的婦人とは家婦たる事を拒む婦人である」とか、彼等婦人の起る動機は單に將來の問題に反抗せんとして起るものだとか云ふ峯岸氏の突飛の議論の如何に幼稚な實際的ならざる議論であるかが判かるのであります、それに湯原氏は專ら經濟上から婦人の職業の必要を說かれましたが、之れは峯岸氏の一文を批評する時にも申しました通り婦人の技能を發揮せしむる點又寄生的生活から婦人を救ひ其人格を尊貴せしむる手段としても是非婦人の職業的觀念を鼓吹したいのであります、又技能を開發發展せしむる爲めには只に文藝のみならず、何なりとも婦人が個々別々に其欲し又有する技能に從ふて其職務又は職業を撰擇するの自由な男子同樣に婦人にも與へたいのであります、峯岸氏の御議論で鬱屈した氣分が湯原、谷兩氏の御名論でスッカリ發散してしまいましたのは愉快に耐へませぬ、男子方が時々溜飮が下がると云はるゝのはこんな時の感じであるかと思はれます。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人俳句

すみ子選

○人妻となりて日淺し春の雨　稻葉茂子

新妻と春雨、艶なるところにどこやら捨て難きふしあり、格別珍らしといふにあらねど。

○窓近き杉苗畑や春の雨　同

原句「窓の前」。唯すら〳〵としたるをとる。

○杉苗に眞直に降るや春の雨　同

○濃き淡き灯影亂るゝ春の宵　澤村園子

朧夜のそゞろ歩きに町の方を眺める時、灯の美しさを今更乍ら感じます。

○神の灯に白梅寒く浮びけり　同

修辭と云ひ、取材といひ缺點なき句と思ひます。

○七浦の蛤育つかすみ哉　同

霞の中に蛤が育つといふ處面白し。

○壺焼や葭簀を洩れて火花散る　同

實景

○春風に紺屋の藍の匂ひけり　片桐くみ子

類句がある樣にも思はれますが好きな句です。

○桃さくや麓に五戸の模範村　同

少し陳腐。

うしほ會詠草

出代りの犬追ひ返す別れかな　猶一

軟かに廊の灯包む霞かな　同

一丘の皆石にして陽炎す　同

窓を洩る香の烟や木蓮花　同

遊戯所に患者碁囲む日永かな　柳處

ぬれ枝に沿うて昇るや春の月　同

田の畔の石炭殼や花すみれ　同

若水や夜の寂破る桔槹　同

掌に刻む豆腐や緋桃散る　卜硯

思ふほど夜櫻見たり目せき笠　同

窓押せば花舞ひ込むや化粧室　同

裸鶏吊るす厨の春寒し　同

喝食の腕くらべする日永かな　耳子

若草の野末に赤き華表かな　とみ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古池に蟇戀ひ渡る朧かな　とみ子
物賣を船から呼ばう春日かな　同
雨はれて早蕨匂ふ裾野かな　同
影黒き内裏車やほとゝぎす　つや女
木犀や破れ垣洩るゝ夕ともし　同
散る花ものせて歸るや御所車　直人

新眞婦人短歌

小口みち子選

東京　近藤なほ子

師の君は苦をなやみ居る者とのみ、いたみ給ひぬ歌おもふ子を、
やわらかうそよ吹く風にそのかみの、春の野見えて悲しみのわく、
人のめずる父の誇りのよき子なり、するどく折をねらひ居る子は、
許したまへ悲しさ綴るしゆんかんが、心なぐさむ時なるが故、

大阪　夕子

此春も君とふたりで故郷の野にまろび寢て笛吹かむかな、
君をおもひ若草もゆる野に出でて、ひとり淋しく笛吹きてある、
人は死し地は海となりくつがへれ、かゝるその世に君もしまさば、
あか〳〵とうすらにけぶり暮れて行く宵海原の落日の色、

東京　正親町ゆみ子

みをつくしさみしく暮るゝみなと江の、月にぬれつゝ愁ひたえずも、
夕さればまたるゝごとき心地して、暮春の野邊に又泣きにゆく、
しをらしくすゞしろの花咲きそめて、わが戀ごころとりとめもなし、

選者

みそらには星の花さくさんらんと、よゝと女のうちなく夜半も、
素はだしの漂浪者が春雨に、ふくれてうたをうたひて歩く、
よろこびの春のあしたのおもひ出は、白きさくらの花びらのこと、

次號の豫告

母性の完結	中尾済太郎
カシタンカ	瀬沼夏葉
墓地の印象	日向きむ
S子さんへ	井淵生迷
新らしき女新らしき男	平澤稲子
敗衂せし者より	吉澤波留子

右原稿は是非本號に掲載する筈でしたが同人の追懐記を載せる爲めに止むをえず次號に廻はす事になりました、原稿を御寄せ下さつた方に御詫いたします。

尚本誌はいよ〳〵二歳になりましたから來月號よりは層一層記事を精選して勉强する事にいたしましやう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第四回蛙聲會の記

第三回蛙聲會兼第一回夫婦會は二月二十七日午後一時から駒込林町の西川文子さんの處でひらかれました。書記役殿のコの字事小口みち子さんの御出席がない。

あぐりが『全然出席の時を得ず遺憾に堪へず』と横にかいたミストル鳥林(西洋式によびます)の名刺と二人連れで馳けつけた時は最早二時に近かつたのですが埴原桑喜代さんと主婦役の文子さんとそれから壁際に謹んで座した一青年と三人ぎりでした、その青年は此間の路傍活動の時に水天宮前や新橋あたりに出没自在と見えた淑女畫報の寫眞師でした、今日の會の事を誰が知らせたのでせう？と文子さんはいつていらしつた、そのうちに伊藤朝子さん御夫婦、文子さんの御良人、岩崎愛子さん(御良人御缺席)尾崎恒子さん丹いね子さん吉川民子さん(是もお一人)などつゞいて御出席。

所謂落語の岩崎さんと狸庵有髮尼の君とよぶ尾崎さんとが銀杏返しに上げていらしつたのはめづらしくも又江戸の匂ひがしました。さきの壁際の青年に今一人寫眞タイムスとかゝらの人と二人庭へまはつて道具建をする、私達はすわつたまゝ紀念だか何だかわからぬ撮影をする。けふは御出席の少ない爲か一向に氣焰もあがらず、要するに平凡、淑女畫報に青鞜社のらいてう氏の共同生活の寫眞があつたので、自由戀愛や試婚とかいふ様な話しが少し頭をもたげる、母子とか兄妹とか姉弟とかいふ形式の下に戀人同士が同棲する事が因はれてゐない最自然ないき方だと一般に承認されてそれがもし門並になつたら、夫婦といふ特種な、交り氣なしの、名稱のもとに公然とふれまで廻して誰憚からず徹底的な共同生活をするものは隨分大膽な囚はれないものと見えるかもしれない、ことに當にならない未來までも見越して殆んど誓つてしまふなんて、よほど大した信と愛だなんて感心されたりめづらしがられたりするでせう恰萬目たゞ紅といふ秋の山にたえ〴〵の松杉がめづらしく見える様に、などといふ話も出ました、K、S女史に誘惑されて危く女優になる處であつたのを一日大崎田圃をひとり散歩して自然の美を感じ家庭に對する責任を恐つて止まる事が出來たといふ、Tさんの告白は、皆を笑はせたりひやひやさせたり、安心させたりしました。

ほそくながくといふさいさきもよいおそばを御馳走になつて、それからTさんがある音樂家から今教へられつゝあるといふ非常にいゝ歌を少し歌はれました。

Zerusalem Zerusalem thou that killest the prophets, thou that stonest them which are sent un to thee, stonest them which are sent un to thee; How often would ihave gather'd to me children and ye would not, and ye would not Zerusalem Zerusalem, thou that killest the prophets thou that stonest them which are sent un to thee Zerusalem Zerusalem.

其詞—其おもひで！靜かに瞬いて何事か聞きすます様な銀の星の下で聞きたい歌、うたひたい歌、やさしいお母様が涙ぐんで獨寂しく待つてゐるのを想像した子の様に里ごころが急について——御先へ失禮したので後の事しらす……。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

おあきさんの仕事振り

婦人記者

花ぐもりには少し早過ぎるけれども、兎も角も餘り寒くない曇つた一日下谷のおあきさんの仕事場を訪れた。

お行儀のよい小僧さんは丁寧に取次いで呉れた、小間物屋さんでもずつとハイカラな店飾りで、横の方に一枚がらすの戸が四枚、金文字で上品に「婦人髮結師、佐藤あき」と書いて在る。

私の見た髮結さんの中では、此おあきさんの家が一等ハイカラでキビ〳〵として居て氣持ちがよい。

欅のかまちがふき込んであつて、這入ると直ぐ立派な梯子段があつて、昇り口の所に電話があつて、其又電話の忙しい事、小僧さんの口のきゝ方の丁寧な事。

店には和洋取り雜ぜた婦人用小間物化粧品が、手際よく幾多の飾り戸棚に幷べられて、なかなか氣のきいたよい店だと思つた。

福々とした四十餘りの年頃の御主人に逢つたおあきさんは二階の仕事場で仕事をして居られるからそこで會ふ事にして、梯子段を昇ると、

仕事をするために設計をした十疊計りの部屋は天井も高く光線の工合も申分なく建つてから間もないらしい、木口のよい、普請だと思つた。

土地の姐さん連中が三四人、思つたよりは少なくてそして靜かであつた。

おあきさんは小柄な四十そこ〳〵の、生粋の江戸ッ兒らしい處のある（そうではない筈だがそう見えた）しつかりとした、厭味のないい方のやうに私は直覺をした。

「ま御免下さいましよ」

と一寸私に挨拶をして、丸髷、島田、いてふ返し、ハイカラと代る〳〵傍目もふらずに其人其人の好に向くやうに結ひ上る。

「博覽會の餘興の下相談やらお稽古やらで手の空かぬ人が多いので、今日は此通り靜かです」との事だつた。

外はいつの間にか雨になつて、何處からともなく下方の、太鼓の音笛のかすかな音も聞えて來る。

「姐さんに傘を出しておあげな」

と一々指圖をしい〳〵、根加減や前髮の出し工合を丁寧にきゝながら――八方に氣を配る。

よい加減な人間には一寸あの眞似は出來ないと、お茶を飮みながらおあきさんの手許をじつと見て居る。

三時過ぎに一先づ手が一寸空いたので、お愛想のよいおあきさんは、土地の姐さん達ちの丈の長いよい髮計りを結つて居る手で、「貴女のお髮を一つ」と云つてそゝけ髮の代なしの私の毛を、ふうわりとしたよい恰好の束髮にあげて下さつた。

お蔭で二日計りちやんと整つた形の頭をして居られた事が嬉しかつた。

「女の方の毛をハイカラに結ふ事をどうか止める工夫はない物かと思ひます、油をつけず亂れ放題にして置く事が、まわりの毛の切れぎれになる第一のわけなので」

と成程理窟を聞けば其通り、折を見ておあきさんが結ひあげた恰好のよい髮のかたちを御紹介致しませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

春のお化粧さま〴〵

遠藤はつ子

ぬか袋の事

お化粧をいたしますには下地が肝要で御座います、先づ石鹸でお洗ひになるのと、ぬかでお洗ひになるのとは、翌朝にお試しになると分ります、どうしても米ぬかの無砂ものを、襟裏や肩あてにいたしました麻布の袋でおなでにならなければなりません、ぬかで洗ふとおできが出來ると仰しやる方が御座いますが、ソレは木綿の金巾でやはらかい皮膚のお顔をゴシ〳〵おみがきになるからです、ぬか袋に麻のよろしい事は今始まつた事では御座いません、昔から御殿女中なども皆さうだつたのです、無砂のぬかはなか〳〵手に入れられませんので、私は田舍でわざ〳〵水車で米をついて貰つて、ぬかを送て貰ふ事にして居ります。

白粉の事

春さきの白粉は手でつけてはなりません、手の油が出てどうしても油がうきますから、日頃は手で遊ばす方でも、春さきは屹度やはらかいはけでなくては、油のうくのを防ぐ事は出來ませぬ。先づ粉白粉をつけて、クリームほんの少々耳かきに半分ほどつけて、その上に水白粉をつけるのです、油のない方でも春は鼻の側などはたまりませんから、粉白粉で仕上げ、薄化粧ならばそのまゝ水おしろいをつけ、濃化粧ならばクリームを少々施してから水白粉をつけるのです、クリームをつかふと白粉がよると云ふ方がありますがそれは使ひ過ぎるからです、ほんの少しでよろしい、ほこりがついたからとて、度々洗ふのは悪いのです、毛孔が大きくなつて終ひに脂肪がふせぎ切れなくなります。パフかセリピットが極く油の強い方はシャミスキングでふき取ると、ほこりを取りながら白粉もついていつも奇麗で居られます、何もお化粧は一時間もする必要はないのです、或御夫人などは月に二三回は美顔術を必ずなさいますが、それでもその間の御手當がお上手なので、實に御奇麗で皺も少しもない。

殊に春さきはポンピヤンとライラックとを解き交ぜてつけるとよい、(油のない方には少し強すぎるが)その上をはたきばけで粉白粉をつけその上を水ばけをつかふときれいになります

はたけの出來るわけ

はたけの出來るのはぬれた處に風があたるからですから、冬は誰方もお寒いのでよくかはいたのでふきますが、あたゝかになるとつい水をふききらないからです、お顔をお洗になつたら必ずガーゼでふき取らねばなりません、ガーゼを三重位にしてふくとふきよい、白粉は流しが肝心で、きれいにながしておかないと油が出てむら〳〵になるので薄水の様なのから四五度にもつけて、奇麗にふき取つて了へば、時がたつほどきれいになる、私などのいたしますのは念を入れますから、四五時間してからますます奇麗になります。

頬紅のつけ方

頬紅の用ゐ方はなか〳〵むつかしいもので、普通おしろいの後からつけるからむかしいので手前の方ではぢかに頬紅をつけ、その上におしろいをつけるから、何度も〳〵はけがあたつて全體にボツトぼけるから、丁度白の下に赤を重ねて召した様になつて何とも云へぬおうつくしさになります、頬紅の用ゐ方を私はよほど研究いたして居りますが、丸顔を細く見せるのも、丸顔に見せるのも、頬紅のつけ方一つでどうにでもなります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東西南北

▲淺香桃香様より　『路傍活動の記、自信を得ました、』とを讀みまして男泣きに泣きました、感謝します、われら東北の貧兒にはあなた方はエンセルであります、私はあなた方の美しい活動を少年詩國の數へ子どもに知らせましたら、泪をためて聞いてゐました、あなた方は現代に於ける最も強い女であると思ひます。』

▲廣田兵吉様より　眞面目にして熱烈なる御社の活動東京より送り來る新聞紙上にてくはしく拜承仕候、實に婦人問題、たゞに婦女子の方のみならず吾々男子の幸福と眞實意義ある生活を望まんとするもの丶感謝に堪えざる次第眞に人生の光明の魁たる社界改良の大業を遂せられ度此上層一層の御奮勵あらん事を切に來祈上候(旅順にて)

▲近藤なほ子様より　先夜は突然參上いたし御相談にあづかり誠に有がたく存じました上京後自らの思を語りましたのは始めてゞあります、嬉しさに、彼夜は眠り得ぬ程でした家に歸りましてもよくその勇氣があつたとてほめられました、常には遲れがちなしづんだ人と御話も出來ぬ樣な子に見られて居りますのですから。

▲平澤福子様より　私も地方の友の愛讀者なつのるつもりで居ります、何卒か益々發展致すやう、及ばずながら幾分御つくり申上たいと存じて居ります。

▲高橋里子様より　扨て何から申し上げてよろしいか其後は誠に申譯の無い御無沙汰で御座いましたが、いつも小口樣から御話なうかがつて皆樣の相變らぬ御奮闘振を承る度毎に御存じの身體とは申しながら殆んど沒頭して夜具の内で吐てばつかし居る自分は何といふ體質だらう、といやになつてしまひます、昨今でも一日に一度乃至二度位は必ず日課の樣になつて居りますが、然しおかげ樣で別に異狀は御座いませんから御安心下さいまし、東北の同胞救助の御仕事は實に結構で御座いました、同人諸姉が寒氣と戰つてあれ程迄の御仕事なして下さつたのはレプタ二個の精神の發揚は素よりの事、今迄青鞜社同樣の集りと誤解して居た一派の人々が驚愕の目を以つて我新眞婦人の精神の幾分を見たであらふと誠に〳〵痛快でたまりません。私は此長い〳〵惡阻病で多少考へた事もありますから次號からまた御邪魔樣になる事と存じます。

▲中島誠子様より　前略何は兎も角もと貴論より拜見仕候御尤に存じ候まゝ、私も大に辛抱して貰ふべく候、思出の御記事拜見一しほ故鄕なつかしく御年若かりし御おもかげ拜見致し候ては其當時の事ども昨年の事の樣に目の前に浮び候て、今の第二高女の昔のおもかげなつかしう存ぜられ候、私も其の當時の仰の如く随分現世には崇拜すべき方々も多くある事と存じて少し道理らしく、こむづかしい顏して話さるとすぐ其話にのまれたり、雜誌などもよむのでなくよまれたり致し居候事只今より思出せば誠にはづかしき次第に御座候、廿二三歲の頃より早く卅五六ともなり候はゞ人よりもうやまはるゝ丈の年頃よと相待ち居候ひしも、いよ〳〵近頃其のぞみ居候ひし年に相當致し見ればいやはや先の想は反對にて一日も年老はぬ樣若かれと念じ候心のなかしさ、これも世なのみこみ候まゝ大に猶これより向上せんとの志より起る慾よと御聞きゆるし被下度、私も今東上致し候はばさぞ『まあ中島さんどこの田舍の奧さんかと思ひましたよ』位の挨拶なうけ候事なるべくと存じ居候へども、私は相變らずかまはずやの理窟云ひに候まゝ、鐵砲袖絣の袖口引出し大におし

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やべり致し度と存じ居候。

▲伊藤絹枝樣より　あゝなつかしい文子さんよ、私はどんなにあなたの事を思ひ出しておつたか知れませんよ、けれども其後すつかり御文通さへえせずどうしてお暮しかと絶えず懸しう思つて居りました、あなたにもやはり私の事は忘れず居て下さつたと見え、御發刊の雜誌を送つて下さつた事とうれしくてたまりません、實は私も只今はまだ小供は小さく家の内外自分一人でやりきらればならぬので忙がしくて〳〵方々から廣告や雜誌が澤山參つて居りましても新年早々は來客やらいろ〳〵で見る事も得せずやつと此頃に至つて少し暇になりましたので、昨夜何んの氣なしに新眞婦人とか申候を手に取り何れから送り來しものかと一二枚目を通しますと思ひがけないあなたの學校時代の寫眞でしやう、まあ日頃心にして居たあなたがと知らず〳〵聲を出しました子供は何か〳〵と申しますから、お母さんの學校時代のそら近々さんと云ふ人よと申し、記事を拜見してそれからそれへと昔の事が浮びまして、ほんとうにおなつかしくてなりませんのよ後略。

同氏は三十九年の三月御良人樣が御死亡になり、四人の遺見を引受けて、責任重いお母さんの務をつくして居られます。どんなに物質には缺く事がなくても、早く夫に別れ父を失つた方々は眞に御同情に堪えません。（文）

▲横濱白耳義總領事館より　本年五六月の交白耳義國アントワープ市に開催せらるゝ白耳義婦人技藝博覽會の文藝部に於て單に白國婦人の手になる著書又は定期刊行物のみならず普く世界各國に於ける婦人の手になる刊行物を蒐集展覽に供する筈に有之、貴社御發刊の新眞婦人の如き新日本婦人の經營になる定期刊行物として、日本代表的雜誌と心得候間御贊同の上御送附願度候。

新刊紹介

婦人解放論に對して

▲東京朝日の批評　婦人解放の聲は今や世界の聲なり日本の新しき女が一隅に現はれしは偶然にあらず唯新しきをいふ多く矯激に失し言行共に病弊に陷るを憾とす著者は此點に於て最も穩健なる議論を抱持し其の言、其の文、共に人を首肯せしむるに足ると稱せらる所謂眞新婦人會中にありても特に健全にして明確の思想を有ししかも貞淑の名ある人、本書は蓋し此の點に於て最も進歩せる本邦婦人論の代表的なるものとも見るべし。

▲高野重三先生より　拜啓先日は貴著御惠貽難有奉存候早速一讀面白く奉存候其内諸處シユライネル女史の所論御引用頗る滿足に奉存候大體に於て同女史の議論は小生が今日迄研究致候内にて理窟に相叶居候樣に愚考仕候只御引用の内グリシヤにて男女の同情が隔離致候節男色が流行致候樣記載有之候が若し最初小生が男色と申候へばそれは誤譯にて「同性の愛」と譯したる方正しと存候男色も其一部には相違無くも婦人は婦人を愛するの意味も有之候に付「同性の愛」の方宜敷御座候後日御再版の節は御訂正希望仕候。

△西川夫人の婦人開放論を讀む（有田倭文子）

西川の奥さんの婦人解放論が出版になつたと云ふことを聞いてすぐ讀んで見ました仲々内容も豐富で面白うございました讀んで仕舞つた時私はホツト安心致しましたそれは私がずーと以前から思つて憧憬してゐた理想的なもので誰れかが早く公にして女の眞の心の叫びを社會の人に聞かせたいとあせつて居たからです、私は同じ新眞婦人社の者だ

らと云つて無暗矢鱈と肩を持つと云ふ様な事は一切よして只ありのまゝ見ただけの事を遠慮なく告白し以て諸姉の批評を促したいのである、で不躾な處は幾重にも西川夫人に斷はつて置かなければならない、第一に女史は戀愛問題から是認して遂に性慾は少なくとも食慾同様に重んぜればならぬと言つて居られる、全體として習俗に捕へられた女性の觀念とは極めて離れたもので少なくも日本婦人の論として此二十世紀に於ても如何にも生氣ある且つ價値あるものと思はれた、此書中には幾多の豐富なる例證がある、遠くはギリシヤ時代の男女關係より說き及ぼして國家、社會が女性の爲めに如何に作用せられたか、また幾多の英雄科學者、藝術家が如何に才能ある女性を要求したか普く其理由と事例とを示して將來の社會狀態及現代の女性の生活の進路を照して居る、今迄淺薄な女性の思想にのみ接して居た私には何うしても女史なるものが余程所謂男性的の人であつて女史と云ふものを知らずに讀んだならば何人も著者が男子であらふと斷定するであらうと思はれる、然し乍ら斯の如き觀念も矢張一般の人が女性は男子に比してはるかに劣つて居ると云ふ先天的印象に左右せらる結果であらふと思ふ、然し乍ら女史の云はれる通り男女は其價値に於て本來同等であるかも知れないが矢張智識が事實上男子に比して劣つて居るのは今日の社會狀態としては余義ない事情である、何も私ばかりが男子の肩を持つて云ふのぢやないが一般に人が認めている事だらうと思ふ、而し例外は決して甚だ稀でない、それは例外であると云つて女子は全然智力的動的でないと斷定するのは早計であつて決して嚴格な論ではない、多數者〳〵と云つて少數者の天才を馬鹿にするならば其人は歷史を知らぬ人である、世界歷史は此少數者が創造して來たと云ふのは今更云ふ迄もあるまい、而も其少數者には。果して女性は全然肉的の動物であつたろうか若し然だとすればまた如何なる程度迄其少數者の生活を左右したか、是れ等の疑問を解決しなくても、單獨に女性が男子の後援者とならずして其事業の見るべきものがないとは斷言が出來ないのである、また女子なるものが男子に有益にあらずして害があつたとすれば同様に婦人問題は焦眉の急にして一層早く處理しなくてはならないのである、一般の人士はあまりに婦人問題を輕視して居る、然し乍ら現今の社會の物質的方面より觀測するも、或は精神的方面の欲求より思考するも、恐らく眞面目に事物を判斷するの冷靜と、現代の不完全なる制度、習慣に依つて起る日々の悲慘なる事件とを衷心より同情する溫かい心を持つた人は必ずや此問題が實に現代に於て最初に解決せざる不可ざる重大問題たるを意識しなければならぬ筈である。而して此運動を目して無意味なるものとして且冷笑する一般の世人は如何彼等自己の生活の何たるやを理解せず、また溫い感情を有しないのがわかる、即ち習俗に支配せられ一種淺薄なる冷笑を以て否寧ろ冷笑そのものを誇示して暗々裡に自己が如何に深刻なる理性が欠乏して居る事を示すのである。是等の捕はれたる冷笑に屈服する事なく一直線に進行して自己の確立を計るは正に勇者の事業である。

本書は一般女子の淺薄なる情緒に投ずるを目的としたのではなく少しく現代を理解した人間に向つて其の解決を與へたものである。而して此解放論は其出發點を略し而して新らしい人間の有する直感より出發したので其反對論者には少しく解り難い點もあらふ。また餘りに例證が豐富である爲め其表出に於て情緒的で無い、然し乍ら此の幾多の例證の裡に深い靜止的な味と、理性に深刻でない人をも教化さす可きを持つて居る、兎に角現代の女性として斯の如くまとまつた考へを持つて居る人は極めて稀で而も著書としては女性の人になる第一流として推薦したいものである、日本の女學校でも此位のものを教科書として用ふる時代になる樣に進歩しなければ駄目である。（をはり）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社の相談部

本社は相談部を設け。

（1）職業を求むる御婦人。

（2）職業の選擇に迷ふ御婦人。

（3）家庭及び一身上に苦悶ある御婦人。

（4）結婚の事。

の爲めに、御相談相手となりて、出來得る限り力を竭し皆樣の親友になりたいと思ひますから、右の中の件で誰かに相談したいが生憎相談相手がないと云ふ方は遠慮なく本社相談部へ申込んで下さい。本社相談部の主任に面會したいと云ふ場合には午後六時過ぎにお出で下さい。若し又夜お出の出來ぬ方は、豫じめ時間の都合を聞合せての後に御出で下さい。

新眞婦人社

本社の相談部にいろ〳〵の方が相談に來て下さいます、中にも或女學校を卒業して、琴曲は奥儀も許され、生花、茶の湯も一通稽古し、西洋料理も簡易なものは學んだ獨身の御婦人があります、會話稽古の爲めにもなりますから、西洋人の家庭ならば猶結構ですがさもなくとも上流家庭であまり勞働を要しない事務につきたいと云ふ人があります、こんな御婦人の必要な方は御知らせ下さい。（姓名在社）

▲裁縫受持で家庭に這入りたいと思ふ御婦人は、御申込下さい

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一册	（郵税共）	拾壹錢
半年分	（郵税共前金）	六拾錢
一年分	（郵税共前金）	壹圓拾錢

御注意 ●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず『盡』の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵劵代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年三月廿八日印刷納本
大正三年四月一日發行

發行兼編輯人及印刷人　本鄉區駒込林町二〇六番地　西川文子

印刷所　本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄉區駒込林町二百六番地　新眞婦人社
郵便振替貯金口座　東京二四五五六

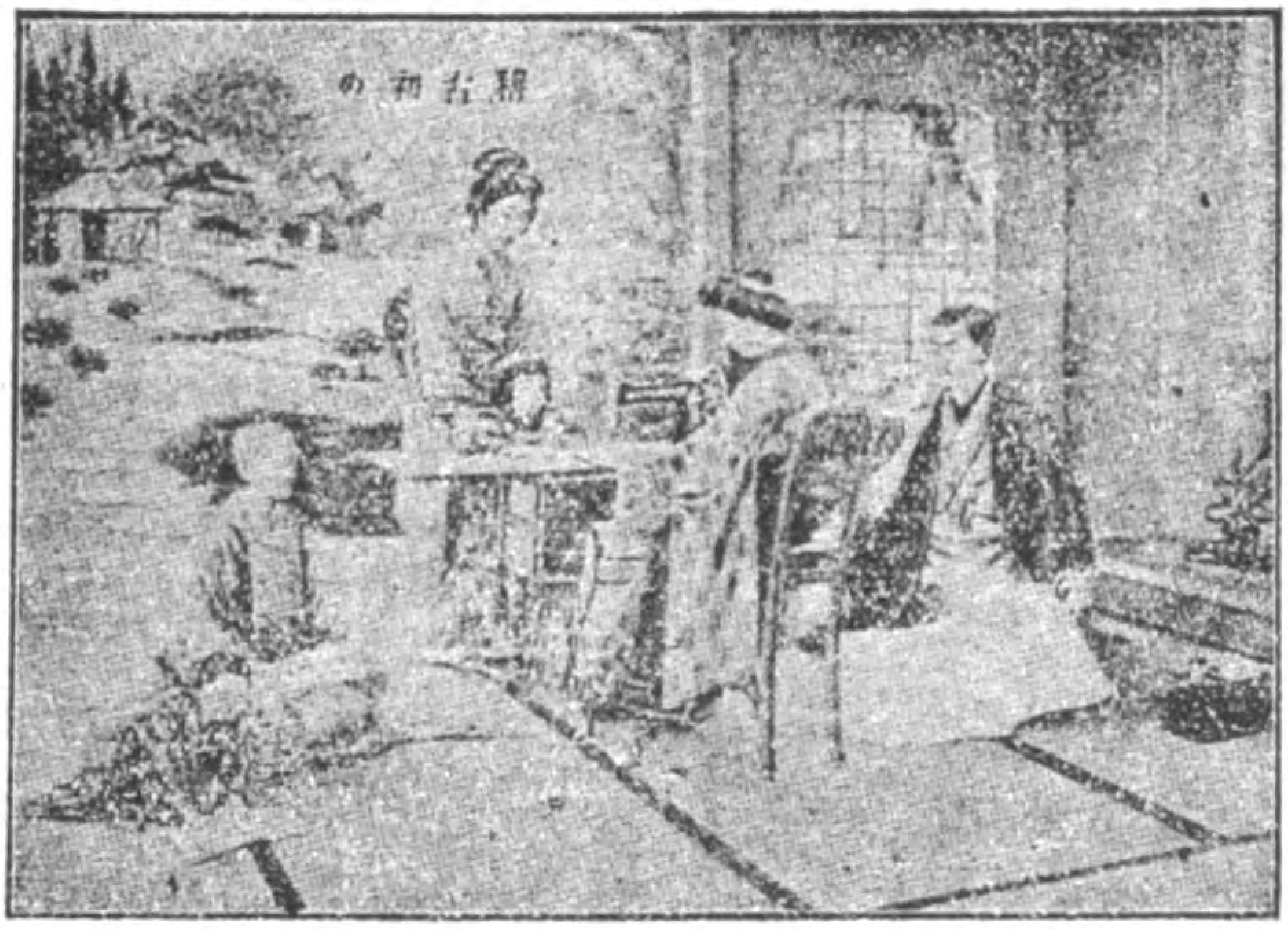
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭とミシン

○大正三年に處する御婦人は家庭内で年中衣服の仕立物ばかりして居られるでしやうか、政治家でも商人でも學者でも宗教家でも官吏でも夫の業務を理解する丈けの知識を持て、之れに同情し、之れを補佐しなければならぬ事はありはせんでしやうか。

○して見ると家族の衣服の仕立を何とか從前よりは輕便に簡易にしなければならぬが、それには機械によるより外に道はありますまい、その機械は何んでしやう、ミシンぢやありませんか。

○世界各國を調べて見ますると手縫の發達して居る國は皆衰微して行つて居ます、ソレは世界中で最も手縫の發達したる國が、エジプトと支那と朝鮮なのでも分ります。何ぜソウなるかと云ふに手縫が發達して居ると外國からも手縫を依頼されますので、ソレがいよ〳〵上達して、時間のかゝる賃銀の安い仕事に婦人がかゝり切りになる結果、その國は衰へるのです。其の反對にミシンの盛なる國に限り富國强兵になります



例へば婦人が一月かゝつてする仕事がミシンを使へば五日で出來ると、後の廿五日は他の事業に働くことが出來るのです、これまで二十圓の仕事の出來た婦人は五十圓もの仕事が出來るのです。一家一人の婦人でさへさうであるとして見ると、三千萬人の婦人にして見ると大變な餘裕か生じて來るわけで、日本の外債位はミシンを使用した餘裕の婦人の仕事丈けでも返却することが出來る樣になります。

○凡て御婦人方の多數は保守的で、新らしいものに着手する勇氣と決斷が乏しいので、善いとは承知して居ても容易に新らしいものには手を出しませぬが、ソンな風は早く止めて、これからは何でも仕事の時間を節約する工夫をして、知識を發達さす時間を拵へればなりません。就ては一般の御婦人が使用法を御知りになると云ふ事が一番肝要なのです。そこで弊店では熟練なる女敎師をして、當店へ御出での方に、又は御家庭へ出張もさせまして、無料御敎授をさせて居ります。

○代價は手ミシン四十圓より五十六圓位。
足踏臺ミシン六十五圓より百五十圓位。
その他格安品も澤山準備しております。

東京市日本橋區本町二丁目九十番地
シンガーミシン會社
東京販賣部
電話本局一九八〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

(電話番町二二五七番)

神田産婆看護婦會本部

神田助産所

東京市神田區裏猿樂町六番地
電話本局千五百三十七番

一神田助産所は遠近を問はず往診、宅診。入所分娩の時は分娩迄、食費丈。分娩後は尤も輕便に特別、實費。理由ある方は施料

一看護婦は遠近に拘らず迅速に御用命に應ず

應招案内

御家庭に於ける御一族の御集會、御宴席の餘興、工場慰安會其他各種講演會等に利用せらるゝ娯樂機關は其の趣味と實益とを兼備し且通俗教育普及上簡易にして適切なるの點に於て活動寫眞の右に出づるもの無之と奉存候弊社は今般業務刷新の一端として左の如き便法の下に最も清新優良なる内外の寫眞を撰拔して大方の御招聘に應じ可申候間何卒續々御用命あらんことを希上候

特種	壹夜映寫料	金貳拾五圓以上
甲種	同	金貳拾圓
乙種	同	金拾五圓

但三日間以上連續御招聘の場合は特に割引の御相談可申上候

注意

一、寫眞數　喜劇、悲劇、風俗、滑稽、奇術、歷史、地理、軍事、衛生、宗教等拾二種（全長八千呎内外、一夜三時間映寫し得）
但し御開會の二三日前寫眞目錄に簡單なる筋書を添へ御送り可申上候

二、出張員　辯士壹名、技師壹名（若くは貳名）荷物運搬夫壹名

三、藥品　電氣の御設備なき場所は弊社より酸素瓦斯發生器壹式携帶可仕之れに要する各種藥品は弊社にて負擔可仕候又電氣は百ボールド三十アンペア（直流、交流何れにても宜敷候）を要し申候此の場合はカーボンを弊社より携帶仕候

四、運搬費　器械其他附屬品の運搬費は市内は全部弊社にて負擔仕候得共市外は實費を申受候

東京市日本橋區檜物町廿六番地

日本活動寫眞株式會社營業部

電話本局　特長 三四九二、四六五一
長 四六五〇、三五四四
二八七九、五二一四
五二一五、（販賣貸附係專用）

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二
理容館
電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肉體色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして生來色黑き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體**白色**となり肌を滑にし皺を伸しあれ及吹出物を治し**艶美**の容貌となる卓効を有す世上種々雑多の色白薬を用ひて奏効なき人は速にゝ劑を試よ偉大なる奇効完全に顯る價並製壹劑壹圓廿錢特別製壹劑貳圓貳拾錢

色白飲薬

英國輸入の全身清血劑にして飲んで體内の悪血毒血悪液を體外に排泄し血液を清淨にし完全に肉色を**白色艶美**ならしむる奇効顯著薬なり價壹劑貳圓九拾錢參劑七圓九拾錢五劑拾貳圓五拾錢色白新劑と内外双方併用せば偉大の奏効迅速に顯る着金即刻送薬す

腋臭治剤（わきがひつじざい）

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せられたる**斯病唯一**の理想的卓効新薬にて本劑の作用により其病原汗腺を根底より變質せしむるを以て如何なる難症腋臭も完全に治癒す故に他薬にて全治せざる患者は早く試み病原を去り**苦悩を脱**せよ難重症は特別製を用ゆれば完全著効を奏す薬價輕症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

最新發見奇薬

陰萎病

特効新薬

本劑（薬名トニチン）は最近發見に係る陰萎病**唯一**の特効新劑にして其主治適應症を擧れば種々の原因より來る**陰萎病**生殖器障害。遺精。早漏。腎虚。夢精。元氣衰弱。萎縮症。快味感覺減少。發育不全。勃起力衰弱。不妊娠。精液欠乏。冷症。過淫手淫の害。記臆力思考力減退。不眠症。精神過勞等に卓越絶倫なる奇効あり荷も精力を旺盛にし生殖機能強健ならしめ人生の快樂を保全せんと欲する人は早く試よ的確偉大なる特効顯著なり薬價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓五拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金即刻小包密送す

月やくしらべ通經劑

本劑は胃腸を害せず子宮を痛めず月經とまりを迅速に**通經**す長き滞り及び血塊には特製分を用ひよ極安全に快通**流經**し且つ月經不順より起る子宮病血の道を治癒し悪血古血を一掃す患者は早く試み卓絶偉大なる**特効**を知られよ近時無効類似偽薬多し御注意を乞ふ價は壹劑七拾錢貳劑壹圓廿錢參劑壹圓七拾錢特別製分貳圓卅錢頑固症用特別製分四圓卅錢郵券代用貳割増し

婦人病の福音

本劑は最新の學理と多年の實驗とにより發見せられたる婦人病薬唯一の靈劑なるを以て頑固なる月經閉止及血塊抔と稱へ永年經水なきを快通流下するは勿論月經不調に基因して繼發する逆上頭痛眩暈腰或は子宮に痛ある人腹子宮部の癥攣等に用ひ偉大なる卓効顯著なり早く試よ

（奇効顯著薬）

毛はへ新薬（けはへしんやく）

本劑（薬名ヘアーグロース）は多年研究實驗の結果發見したる**毛髪速生薬**なり即ち男女共禿頭病の人各種の病氣にて脱毛する人頭髪及はゑぎわの薄き人陰部毛なき人まゆげ口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髪着々と**速生**する**特効**あり本劑は世にありふれたる種々雑多の毛はへ薬とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み卓絶偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓廿錢着金即刻送薬す郵券代用必ず二割増しの事

やせる薬

壹劑參圓廿錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

本劑（薬名ヨードチリン錠）は學理實驗に徵したる唯一の**痩身劑**にて血ぶとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顔赤くほてり。のぼせ症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人に用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を適度に脱し**美容健康**を保ち程よくやせる特効薬なり故に彼の見苦しくふとりたる諸君は速に本劑を用ひ其峻烈偉大なる卓効を知られよ

以上七薬專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館薬房

電話下谷五百四十六番
振替東京一九二四六番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

驚くべき洗濯石鹼界の大恐慌普通棒石鹼の半額

太陽印 洗濯 コナ石鹼

本品の特色

◎普通「シヤボン」の半額なり ◎悪臭なく使用便なり ◎洗濯用として實用的なり ◎普通「シヤボン」の如く洗濯物に班點を殘すことなし ◎品質を損せず手荒ず ◎白衣油衣に特効あり ◎消毒を兼備し衛生に適す ◎食器を洗ふに便なり ◎如何程汚れ居る衣類も過度の分量を要せす ◎一度使用せし水も泡の立つ内は効力あり

定價

ボール箱入 大箱 金拾錢 小箱 金五錢

家庭徳用品 壹〆匁入 金九拾五錢 市内送料無料 地方送料廿八錢

五百匁入 金五拾錢 市内送料無料 地方送料十六錢

◎販賣處ハ全國到ル所小間物化粧品雑貨賣藥店ニアリ

◎販賣希望ノ方ハ申込アリタシ

◎注意近頃類似ノ粗悪品アリ太陽印コナ石鹼ノ商標ニ注意アリタシ

赤坂區青山北町二丁目六番地

太陽印コナ石鹼 發賣元 合資會社 柳屋商會

電話芝二八八四番 振替東京五二七四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

最新發見治療及豫防方法書を濟生の爲小包料八錢送れば秘密送呈す

東京下谷車坂町五二一

福田秋水

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム専門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

ぢの薬

●イボ痔●裂痔●痒痔●痔出血●脱肛痔●痔瘻●不灼不切現狀の儘にて治癒奏効頗顯著の**家傳**靈妙藥あり「**ハガキ**」にて申込有ば病原理由自宅療法の説明書送呈す

京橋疊町小松盛林堂

リウマチス

▼全治 御望の方はハガキにて御症状を記し御申越あれば十數年不治とおあきらめなされたリウマチも實に驚く程よくナオル神秘靈劑……弊店家傳の秘藥を御知らせ致します御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音
仲見世。天勇横町 井筒屋油店
電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

最も人にきらはれる わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まるゝ御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三 中村喜三郎

腦神經 精神病

東京赤坂
帝國腦病院改
青山腦病院

院長 ドクトル メヂチーネ 齋藤紀一
醫學士三名
田澤醫學士
特長
電話芝二七四五
電話芝二六六五
電話芝三四〇六

タムシン

皮膚病一切
たむしの妙藥
東京市京橋區入舟町四丁目
本舗 橋本進世堂

●其愛兒のために

女兒には結婚費男子には修學費の爲めに、其の幼少の頃より心掛けてやらんと欲せらるゝ思慮深き親御樣達に最も確實にして且つ御便利なる御相談あり。

姓名在社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◀新しき時代の要求は此粋薬▶

外出がちの私の顔がこんなに美くしいのは此の化粧水？成美液よ！兄さんもお父さんも内々の愛用家なのよ

▲成美液を用ふる男女は何時も顔が艶麗で日にやけることもなく白美を保つは外用剤として完全なる化學的白色新剤なり 先一瓶を試せ

僕のにきび顔が斯く迄に綺麗になつたは矢張成美液の御蔭です、

定價小瓶十二錢◎中瓶廿五錢◎大五十錢◎特大壹圓◎送賃四錢

月やくを程よく下す薬

◎流經散（りうけいさん）

三日分十五錢◎七日分卅錢◎十五日分十六錢◎特製金壹圓送賃不要

此薬は月經を下すに胃腸を害する副作用なく安全に自由に流下致し升三四ケ月又は五六ケ月の閉止も特製を連服あれば必ず効があり升▲月經異狀の為に頭痛のぼせ又は腰腹痛み子宮筋ばり等奇妙にきく毎月三日分服しおけば月經止る事なし

◎愉快なる理想藥◎

外用 平和劑

大器入特製金貳圓中器入壹圓也小器入七十錢其半分入四十錢送料各二錢

進歩したる外國で賞用の粋薬に眞似て貴重なる原料を配合したる新薬なり付ければ忽ちむづかゆくなる心地する創傷や濕疹に不思議にきく其他効用多々 先づ用ひ見よ委細は言はず

◎毛の養生 發毛液 小瓶三十錢 中瓶五十錢

子宮サツク 甲種金壹圓 乙種七十五錢

男女下の病に關する治療薬何でもあり

説明書は切手三錢封送あれ送呈 ◉ 東京神田區五軒町壹番地 寶順堂薬房

〒電話下谷壹參貳壹番◉振替東京四六七壹番

陸軍曹長與藤久登著　鴨田脩治閲

第十版

最新長身肥滿法

せいの低き人本書に因て療養する時は忽ち高くなるやせたる人病後産後其他生れ付きの人も忽ち肉付強健となる不思議の療法也。

陸軍教授西野豐先生序　鴨田脩治著

郵券二十五錢送附あれ送本す

第三版

どもり矯正法

本書は彼の有名なる墺國醫學博士コオン氏のドモリ矯正法に則り著者が多年の研究に依り一二改良を加へ世に公にせるものなれば本書に就て矯正せば如何なる強きドモリの方にても數十日の練習にて正音を發し得るのみならず尚ほ雄辯の人となり得る事が出來ます、かゝる良書なればドモリにて苦む人は勿論小學校の敎員方や褓姆の職に在る方は是非一讀するの義務があります。

洋綴總クロース　金字入美本　正價金四十錢　無送料

醫學士高岡先生閲　鴨田脩治著

第三版

近視眼豫防及矯正法

今や文化の進歩と共に學生にして殆んど近視に侵されざる者あらず。近視を恐るゝは愚なり恐れざるも亦愚なり其理審かに本書にあり既に幾分にても其疾あるものは瞬時も早く本書に依て之を矯正し。幸ひに其患なきものは一日も早く本書を讀みて未然に防ぐことを怠る勿れ。

眼球解剖圖入り　正價金四十錢　送料免ず

醫學士佐々木金次郎序　鴨田脩治著

新刊

神経衰弱と其豫防療法

近時社會の状態益々複雜を加へ生存競争愈々劇しく生活難處世難の嘆聲は到る處に呼號反響し神經衰弱者の蔓延流行驚くに堪へたり警めざるべけんや。本書は卽ち時代の要求に應じて專ら自衛的療法を敎へん爲に現はる深切懇到親しく仁醫の治を受くるに異ならず同病の襲撃を豫防し及び自療の確効を收めんと欲するものは來つて本會に訴へよ。

洋綴總クロース　美本　正價金三十五錢　郵送料金四錢

米國醫學博士曾根操女史序　小舟女史　鴨田坦子著

現代女子の職業と其活要

一名女子の職業案内

現代女子は賢母良妻たるべきか、將た獨立自營すべきか本書は小學卒業後如何なる方面に將來の方針を採らんか、自己希望の職業に對する方法準備は果して如何に爲すべきか、獨立自營の女子の職業は如何にして獲らるべきものなりや、其方法、收入は果して如何之等現代女子の面前に横はる緊急なる大問題に關して、之が詳細明確なる論評と其方法を指示し現代及將來處世の方向選擇上に於ける忠實なる顧問として現代の要求に應じて生れたるものなり乞ふ世の姉妹方は勿論女子を持てる父兄は是非一本を購ひ其の家庭の幸福を得られよ。

洋綴總クロース　美本　特價三十五錢　送料金六錢

最新美顔と美髪

婦人畫報記者坂本易德先生序　與謝野晶子女史題詠　鴨田脩治著

美人ならざる人之を讀めば美人となる美人たる人之を讀めば愈々其美を發揮す本書は世界的文明的現代的として最も適切に最も穩健に眞正の美人となるべき要件を親切叮嚀に指導したるものにして一々實地に應用し得べき新法也時代に後れざらんとする人々は是非一本を備へざる可らず。

美顔美髪の寫眞入　美本　正價金四十錢　送料金四錢

新刊

惡癖矯正法

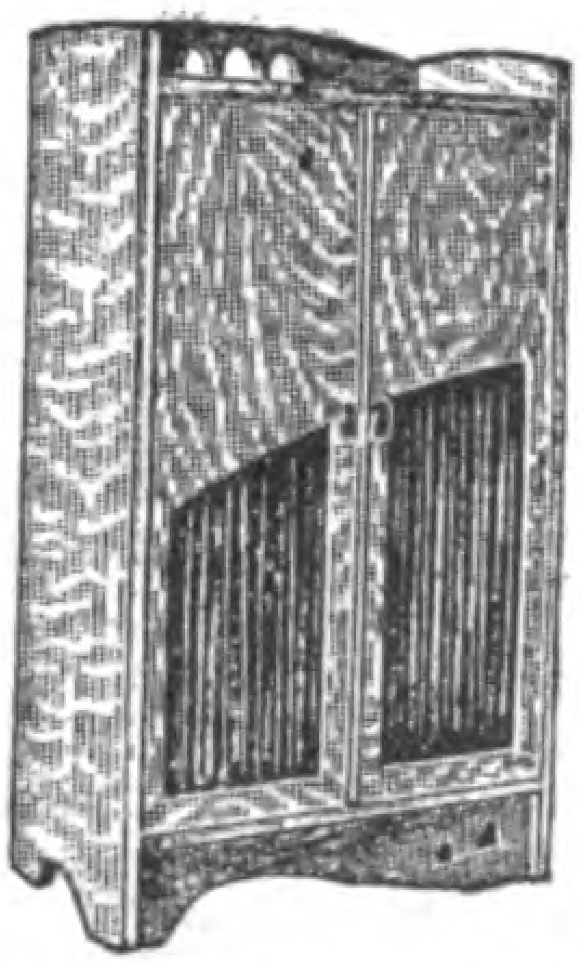
文學士鈴木觀月先生序　鴨田修治著

世には惡癖ある爲に向上發展を妨げられ一生を不遇に終る者多かるべし然らば惡癖は一クセ牛クセたりとも改めればならぬ本書は惡癖のあるとあらゆる者を捉へて一々之を原理に照し丁寧に其矯正を講明したるものなり現に惡癖に苦む人は勿論小兒及び他人の癖を矯正すべき必要ある人は是非一讀あれ。本書内容は酒、煙草、嘘つき、盗心、寢小便、放屁、座睡、朝寢坊等の諸癖より姦通やきもち燒の癖に至る目次總計百十餘件。

總クロース金文字入二百五十頁　正價金五十錢　送料金六錢

發行所　東京市本郷區丸山福山町四番地　日本藥學協會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



階上

先頃増築に伴ふて階上も亦廣くなり申候　異國情調の智識的實用向趣味的實用向の文房具が澤山陳列有之候御高覧お待受申上候

そのうちに檜材に白ラックを施し優雅清洒を極めたる机と本箱と本置臺などもあり殊に御高覧お待受申上候

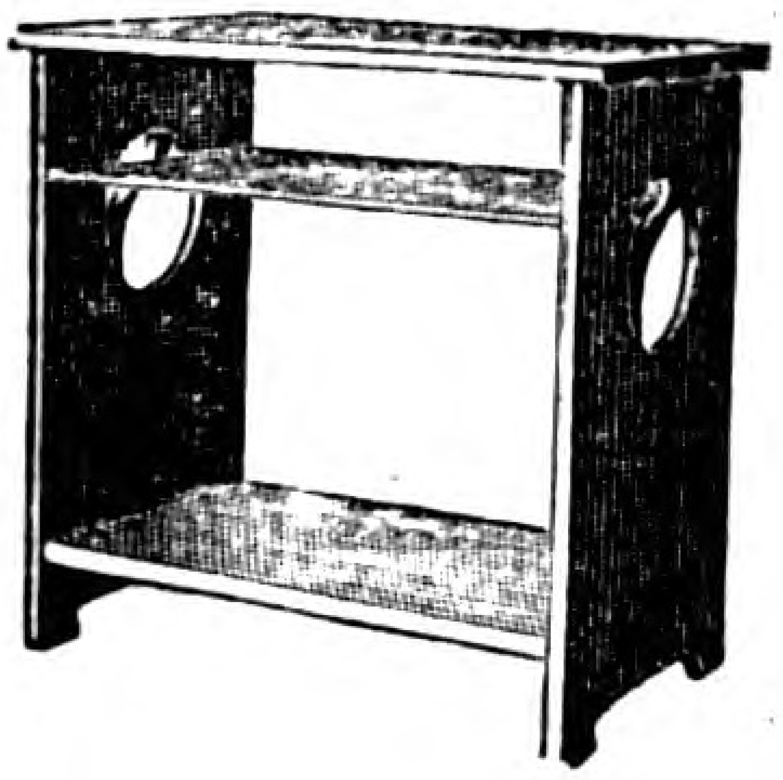
机	高一尺貳寸	間口貳尺四寸	奥行一尺三寸	金五圓也
本箱	高二尺六寸	間口一尺五寸	奥行九寸	金九圓五十錢
本置臺	高一尺三寸	間口一尺四寸	奥行八寸	金三圓五十錢

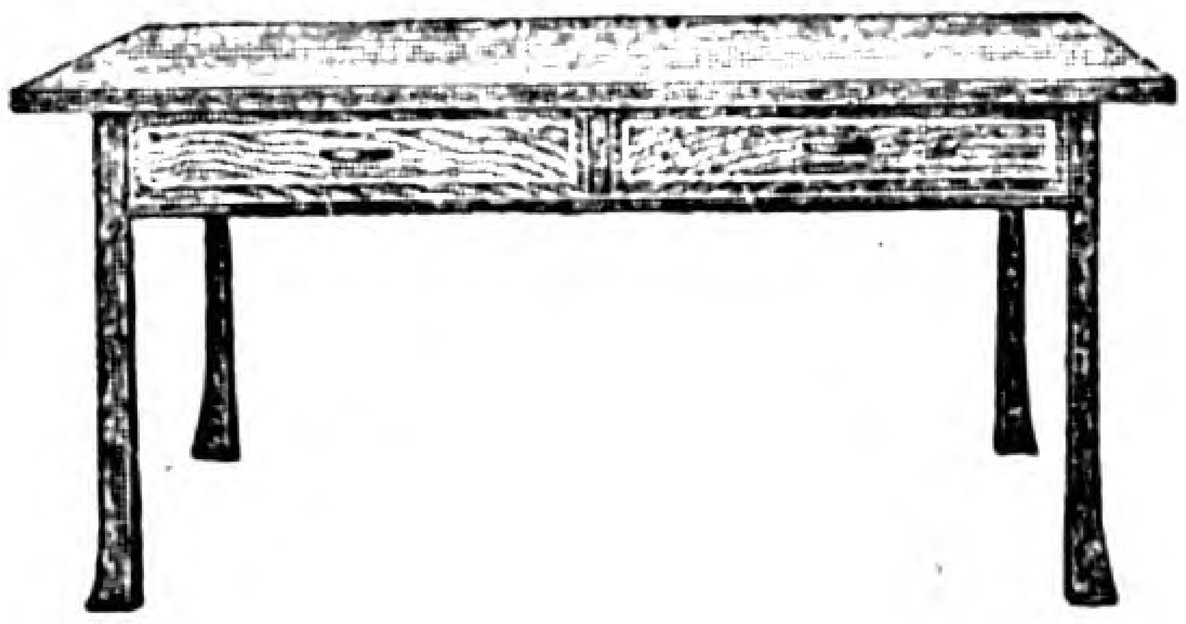
荷造費　机と本箱八十錢　本置臺三十錢

東京銀座

伊東屋

電話新橋　一三二九
　　　　　一七九六
振替口座　五一一一





四月中の三越

四月一日より

第廿七回新柄陳列會

寄切見切反物賣出し

四大畫伯作品展覽會

懸賞裾模樣圖案陳列

懸賞寫眞『こども』陳列

四月十五日より

五月人形賣出し

■東京駿河町■

三越呉服店

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年三月二十八日印刷納本
大正三年四月一日發行（毎月一回一日發行）

四月一日より

春季大賣出し

■新製品陳列會（四月一日より）

■五月人形陳列會（四月十日より）

■博覽會記念御みやげ物

■ハンカチーフ■風呂敷■手拭

■小間物■リボン■かんざし■玩具

■餘興 新題『上野の春』喜劇二場日々開演

東京日本橋

白木屋吳服店

復刻版　新真婦人　全6巻
付録1・別冊1

1994年10月31日　発行

本体揃価格　120、000円

発行者　船橋　治

発行所　不二出版
東京都文京区向丘1-2-12
〒113　☎03(3812)4433

印刷所　三進社

製本所　青木製本所

中性紙使用

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

GEISEL LIBRARY
UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
LA JOLLA, CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1036

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UNIVERSITY OF CALIFORNIA, SAN DIEGO
3 1822 02333 1036

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA